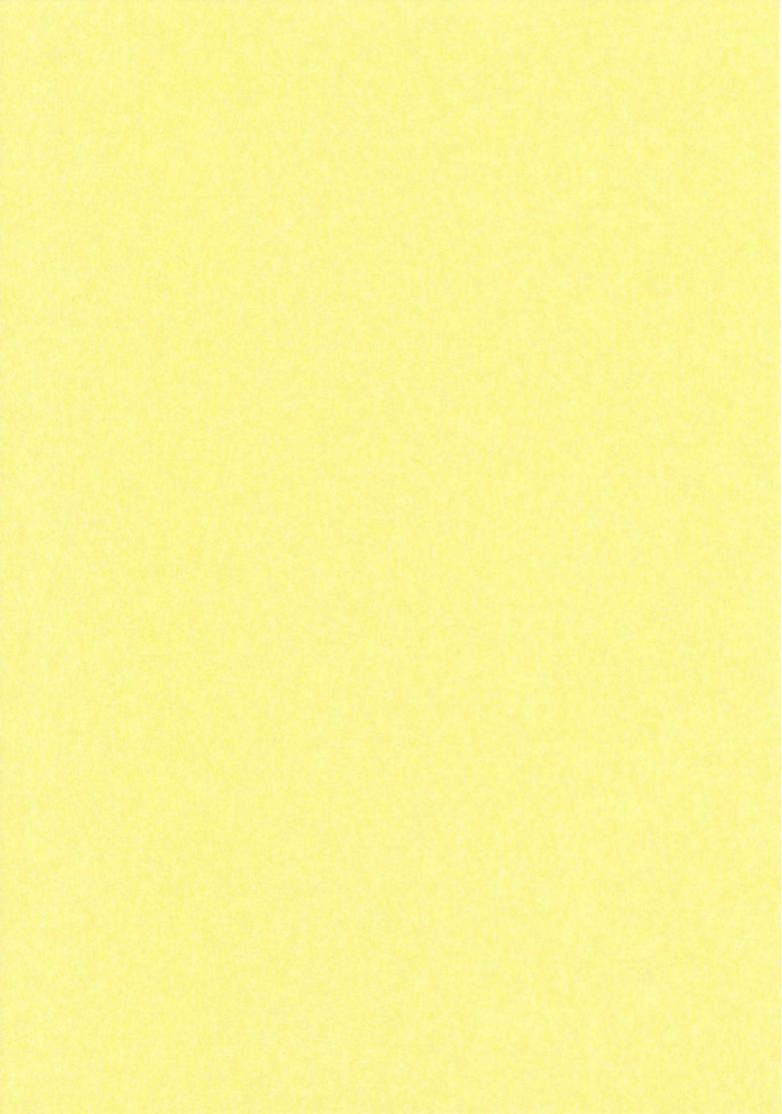
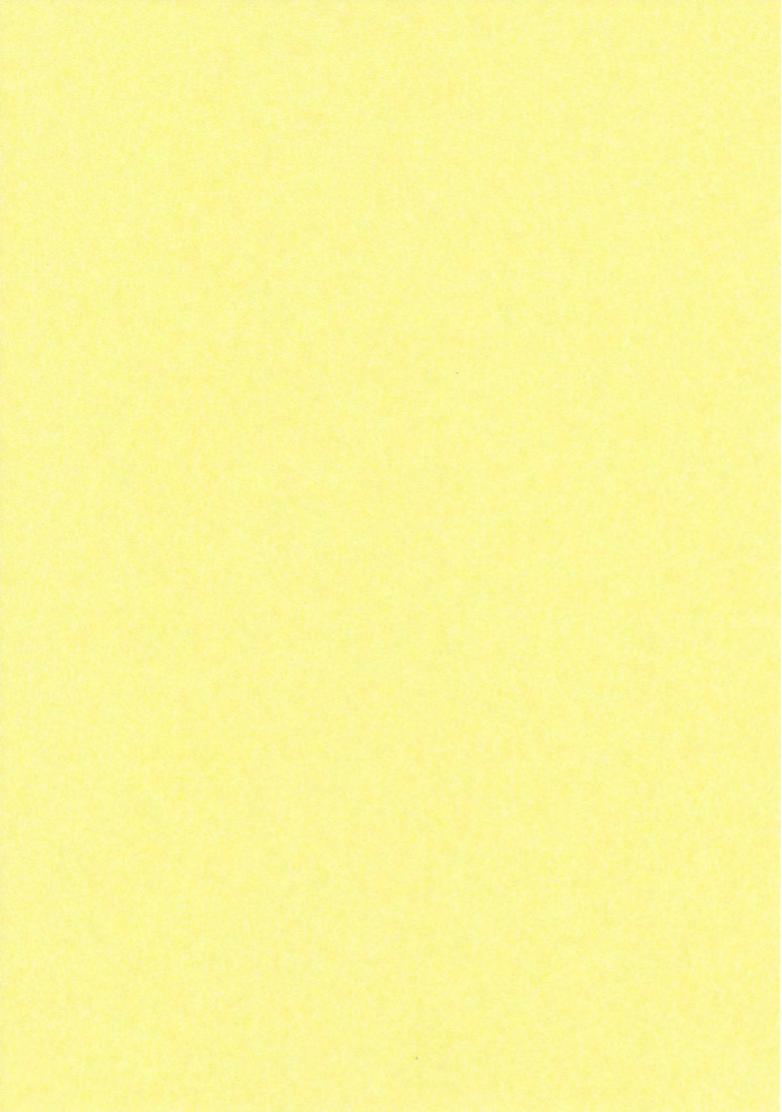
Fukuoka Art Museum Annual Report 2007







Fukuoka Art Museum Annual Report 2007

目次

凡例 ————	04
美術館日誌 ——————	05
展示活動	
特別企画展等 ——————	06
常設展 —————	11
常設企画展 ———————	14
展覧会関連記事 ——————	17
教育普及活動	
こどもアートアドベンチャー	21
夏休みこども美術館 ————	22
講座·講演会 ———————	23
開館記念事業 ——————	24
博物館実習 ————	24
職場体験学習 —————	25
読書室企画 ——————	25
ボランティア活動 ――――	26
出版物 —————	29
調査研究活動 ——————	31
収集活動	
美術資料 ————	32
図書・映像資料 ——————	39
美術資料の修復・貸出 ――――	40
市民による施設の利用	
展示室 ————————————————————————————————————	43
講堂 ————	49
教養講座室 ———————	49
実技講座室 —————————	52
版画印刷工房 ————————————————————————————————————	54
入場者数一覧	
展覧会観覧者数 ————————————————————————————————————	56
読書室利用者数 —————	57
名簿 ————	58

- 1 本冊子は福岡市美術館の平成19年4月1日から平成20年3月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH.19は平成19年の略字である。
- 2 「美術館日誌」は美術館主催の主要な事業を挙げた。
- 3 主催展覧会の観覧者数の明細は「観覧者数一覧」に別途記載している。 展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参 照のこと。
- 4 「収集活動」の「美術資料」は平成19年度に本市が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。なお、データの寸法(法量)は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3 (イメージサイズ)で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。例えば1-A-452は郷土作家の油彩画の452番である。

1	郷土作家(注1)	Α	油彩等(注2)	
2	日本作家	В	日本画等(注3)	
3	海外作家	С	水彩等(注4)	
4	黒田資料	D	素描	
5	東光院仏教美術資料	Е	版画	
6	松永コレクション	F	写真	
7	太田コレクション	G	彫刻等(注5)	
9	石村コレクション	Ha∼Hf	工芸(注6)	作品番号
11	森山コレクション	1	書跡	IF吅田与
12	三宅コレクション	J	文書	
13	山崎朝雲資料	K	その他	
14	一般古美術資料			
15	研究資料			
16	西本コレクション			
17	本多コレクション			
18	クスマコレクション			
19	藤森静雄資料			
20	森田コレクション			

注

1. 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。

2. A (油彩等) の分類には、大きさや形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわち、アクリル 絵の具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属などの特殊な素 材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版画技法を用い ていても 1 点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品 もまた A に分類した。

- 3. B (日本画等)の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
- 4. C (水彩等) の分類には、バステルなどの多色を基調とする作品も含む。
- 5. G (彫刻等) の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
- 6. H(工芸)は素材別に枝番号を付した。陶磁器は Ha、漆工は Hb、金工は Hc、染織は Hd、刀剣は He、その他は Hf とした。

なお作品名の[]は当館で作成した仮題である。

5 図版の*は藤本健八氏撮影のものである。

平成19年

美術館日誌

- 4月 1日(日) 「美のこころ 東洋の至宝 出光コレクション」展開催(5月13日まで)
- 4月 7日(土) 新規ギャラリーガイドボランティア研修開始
- 6月13日(水) 常設企画展「フランス・ビデオアートの先駆者 ロベール・カエン展」開催(ア月16日まで)
- 7月 1日(日) 夏期の開館時間延長開始(8月31日まで)
- 7月14日(土) 「大竹伸朗展-路上のニュー宇宙」開催、同展開会式(8月26日まで)
- 7月 21日 (土) 夏休みこども美術館2007こどもワークショップ 「あなたのかたち/わたしのかたち~体からかたちを見つけて描こう!~」(7月21日、8月11日の全2回)
- 7月 25日 (水) 平成18年度の美術資料寄贈者への感謝状贈呈式 中学校交流ワークショップ「福岡市美術館のキャッチコピーを作ろう!」(7月25日、7月26日の全2日)
- 8月 1日(水) 夏休みこども美術館2007「美術館探検」(8月1日、8月4日、8月8日、8月15日、8月18日、8月22日、8月29日の全7圏)
- 8月28日(火) 常設企画展「南方録と茶の心」開催(10月21日まで)
- 9月16日(日) 絵本カーニバルIN FUKUOKA 2007「ワークショップ 親子で作ろう名画で絵本」(9月16日、9月17日の全2回)
- 9月20日(木) 平成19年度第1回美術館協議会
- 9月30日(日) 「大応国師七百回忌記念特別展 大応国師と崇福寺」開催、同展開会式(11月4日まで)
- 10月 2日(火) 新規ギャラリーガイドボランティア活動開始
- 11月 3日(土) 開館記念日につき常設展示観覧料無料
 - 開館記念事業 図録フェア
- 11月 6日(火) 開館記念事業 クリスト&ジャンヌ=クロード講演会「《オーバー・ザ・リバー、コロラド州、アーカンサス川のプロジェクト》と《ザ・マスタバ、アラブ首長国連邦のプロジェクト》 |
- 12月28日(金) 仕事納め

平成20年

- 1月 4日(金) 仕事始め
- 1月 5日(土) 「美の求道者・安宅英一の眼 安宅コレクション」展開催、同展開会式(2月17日まで) 常設企画展「掌のほとけ インドシナ半島の塼仏」展開催(3月2日まで)

常設企画展『第8回21世紀の作家-福岡 和田千秋「障碍の美術X-祈り」』展開催(3月30日まで)

- 1月 6日(日) シンポジウム「中世禅における死と再生の痕跡」
- 2月22日(金) 「第42回福岡市美術展」入賞・入選者発表
- 2月23日(土) つくって!わかる?アート講座vol.3「これもデジタル・アート!?コマ撮り人間アニメを作ろう!」(2月23日、2月24日の全2日)
- 3月 4日(火) 「第42回福岡市美術展」開催(3月16日まで)
- 3月 6日(木) 美術資料収集審査会(古美術)
- 3月 8日(土) 第10回所蔵品によるアートセミナー「仙厓さんとなかよくなろう」(3月8日、3月15日、3月22日の全3回)
- 3月 9日(日) 「第42回福岡市美術展」表彰式
- 3月13日(木) 平成19年度の美術資料寄贈者への感謝状贈呈式
- 3月25日(火) 平成19年度第2回美術館協議会



▲平成18年度美術資料寄贈者への感謝状贈呈式



▲図録フェア

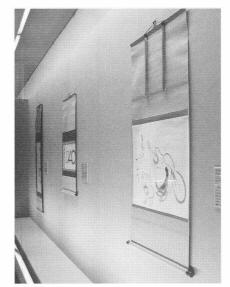
特別企画展等

美のこころ

東洋の至宝 出光コレクション



▲ポスターB2



会期: 平成19年4月1日(日)-5月13日(日)

会場:特別展示室A

▲会場風景

内容

出光興産の創業者である出光佐三氏 (1885~1981) の蒐集品を核に形 成された出光コレクションは、日本と中国の美術・工芸の分野においては 世界屈指のコレクションとして名を馳せている。この展覧会では、膨大な質 量を誇る出光コレクションの中から、やまと絵、漢画、文人画(南画)、書 跡、中国・日本の陶磁・漆工・金工など、幅広いジャンルから精選した約 72件(重要文化財14件、重要美術品6件を含む)を一堂に展観し、コレク ションの粋を紹介するとともに、その形成の歴史と出光美術館活動の意 義を辿った。

出品点数 72件

関連事業 ▶記念講演会

「静謐なる東洋陶磁」

 \Box 時: 平成19年4月14日(土) 午後2時~3時30分

講 師:荒川正明氏

(出光美術館主任学芸員)

場:講堂 会 聴講者数:163人

▶ 記念コンサート

[Music in Museum by 出光] 笛弥呼楽師 雅天空

時: 平成19年4月7日(土)

第1回公演

午後1時30分~2時40分

第2回公演

午後3時30分~4時40分

場:講堂 会

聴講者数:第1回公演 209人

第2回公演 228人

「出光絵画コレクションの魅力」

時: 平成19年4月21日(土)

午後2時~3時30分 師:黒田泰三氏

(出光美術館学芸課長)

場:講堂 会 聴講者数:183人

パフューム・ノーツ

時:平成19年4月8日(日)

第1回公演

午後1時30分~2時40分

第2回公演 午後3時30分~4時40分

場:講堂 会

聴講者数:第1回公演 201人

第2回公演 228人

主催等

催:福岡市美術館/西日本新聞社/TVQ九州放送

替:出光興産

後 援:福岡県/福岡県教育委員会/(財)福岡市文 化芸術振興財団/日本経済新聞社/西日本 リビング新聞社/CROSS FM/fm fukuoka/ LOVE FM/FREE WAVE TENJIN FM/西日本 鉄道/九州旅客鉄道/西日本文化サークル 連合/西日本天神文化サークル

観覧料

一般…1,300円 (1,100円) 高·大生…800円 (600円) 小·中生…500円 (300円)

※() 内は前売りおよび20人以上 の団体、シルバー手帳・身体障害 者手帳·精神障害者保健福祉手 帳·療育手帳所持者料金。

開催日数 37日

観覧者数 43,177人

印刷物

ポスター(B2·B3) チラシ (A4) 図録 (A4変形·168頁)

関連記事

p.17を参照。



大竹伸朗展-路上のニュー宇宙

会期: 平成19年7月14日(土)-8月26日(日)

会場:特別展示室A、ロビー





▲会場風景(撮影:中野正貴)

内 容

美術のみならずデザインや出版、音楽など広範な分野で影響力を持ち、 現在も精力的に活動を続ける画家・大竹伸朗の九州初個展。写真や廃 材、印刷物など様々な素材をスクラップする手法で制作される平面や立 体。そして多数の油彩画や木炭画、水彩画など、強烈な制作衝動に裏打 ちされた主要作や未発表作635点を時系列ではなくテーマ別に展示し、 大竹の多様な創造性の秘密に迫った。

出品点数 635点

関連事業

▶プレイベント

スペシャル対談 大竹伸朗(画家) × リリー・フランキー(作家、イラストレーター)

時: 平成19年5月26日(土) 午後3時より

場:講堂 聴講者数:267人

▶会期中イベント

アーティストトーク「大竹伸朗による大竹伸朗」

時: 平成19年7月14日(土) 午後2時~3時30分

会 場:講堂 聴講者数:221人

ジョイントライブ「内橋和久とダブ平&ニューシャネル(大竹伸朗)」

時:平成19年8月17日(金) 午後8時より*閉館後開催

場:特別展示室A

金:2,500円(展覧会観覧料込み) 料

聴講者数:146人

催:福岡市美術館/読売新聞西部本社/FBS福 岡放送

成:(財)野村国際文化財団/(財)福岡文化財団 由力

力:ベイスギャラリー 協

援:(財)福岡市文化芸術振興財団

観覧料

一般…1,200円 (1,000円) 高·大生…800円 (500円)

小·中生···無料

※()内は前売りおよび20人以上 の団体、シルバー手帳・身体障害 者手帳·精神隨害者保健福祉手 帳·療育手帳所持者料金。

開催日数 37日

観覧者数 7,331人

印刷物

ポスター(B1·B2) チラシ (A3変形2つ折り) プレイベントチラシ (A4) 図録 (A4変形·303頁)

関連記事

p.17を参照。



大応国師七百回忌記念特別展

日本純粋禅の祖 大応国師と崇福寺

会期:平成19年9月30日(日)-11月4日(日)

会場:特別展示室A







▲会場風景

内 容

鎌倉時代、福岡に三十数年とどまりながら全国にその禅風をなびかせた 大応国師(南浦紹明)の遺業をふりかえった。大応の弟子の大燈国師が 大徳寺を開き、その弟子関山慧玄が妙心寺を開き、その法灯は多くの臨 済禅の宗派の中でも、今日もっとも輝いている。その中から一休や沢庵と いった名僧があらわれた。大応国師の七百回忌の年にあたり、関係の国 宝、重要文化財など指定文化財25件ほか初公開資料約130点の文化財 を展示した。

出品点数 約130点

関連事業

▶講演会

「大応国師の高徳を慕いて 一休・白隠につらなる日本臨済宗の源流」

時:平成19年10月20日(土) 午後2時~3時30分 \Box

講 師:佐藤秀孝氏(駒澤大学教授)

会 場:講堂 聴講者数:146人

「中世の崇福寺と大応派の展開」

時:平成19年10月27日(土) 午後2時~3時30分

講 師:伊藤幸司氏(山口大学准教授)

会 場:講堂 聴講者数:119人

▶呈茶会

 \Box 時:会期中、毎週日曜日および祝日 午前10時~午後3時

会 場:教養講座室 費:500円

主催等

催:福岡市美術館/崇福寺/興徳寺/西日本新 聞社/TVQ九州放送

特別協力:大徳寺/建長寺/妙興寺/大徳寺派第九教区

援:福岡茶道文化連盟/(財)福岡観光コンベン ションビューロー/(財)福岡市文化芸術振興 財団/西日本鉄道株式会社

賛:(財)福岡文化財団

観覧料

一般…1,200円 (1,000円) 高·大生…800円 (500円) 小·中生···無料

※()内は前売りおよび20人以上 の団体、シルバー手帳・身体障害 者手帳·精神障害者保健福祉手 帳・療育手帳所持者の料金。

開催日数 31日

観覧者数 9,687人

印刷物

ポスター(B2) チラシ (A3変形2つ折) 図録 (23×23cm·240頁)

関連記事

p.18を参照。

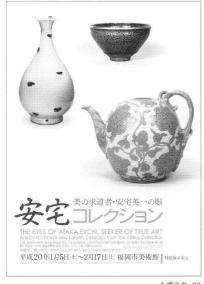


▲図録

美の求道者・安宅英一の眼 安宅コレクション

会期: 平成20年1月5日(土) -2月17日(日)

会場:特別展示室A





▲会場風景

▲ポスターB2

内容

中国・朝鮮の陶磁器など東洋陶磁の世界的コレクションとして知られる大 阪市立東洋陶磁美術館の中核をなす安宅コレクションから、国宝2件、重 要文化財15点を含む中国陶磁・朝鮮陶磁の名品203点を精選し、コレク ター安宅英一の類い稀なる審美の世界を紹介した。

出品点数 203点

関連事業

▶講演会

「安宅コレクションの歴史と特質」

 \Box 時: 平成20年1月5日(土) 午後3時30分~5時 講 師:伊藤郁太郎氏(大阪市立東洋陶磁美術館館長)

場:講堂 聴講者数:155人

主催等

催:福岡市美術館/読売新聞西部本社/FBS福 岡放送/大阪市立東洋陶磁美術館

援:(財)福岡市文化芸術振興財団

特別協賛:味の明太子ふくや

賛: 損保ジャパン/(財) 福岡文化財団

観覧料

一般…1,300円 (1,100円) 高·大生…900円 (700円)

小·中生···400円 (200円)

※()内は前売りおよび20人以上 の団体、シルバー手帳・身体障害 者手帳·精神障害者保健福祉手 帳・療育手帳所持者の料金。

開催日数 38日

観覧者数 17,043人

印刷物

ポスター(B2·B3) チラシ (A4) 図録(B5·271頁)

関連記事

p.19を参照。



▲図録

第42回福岡市美術展

会期:平成20年3月4日(火)-3月16日(日)

前 期:日本画・書・写真・デザイン 3月4日(火)-3月9日(日)

後 期:洋画·彫刻·工芸 3月11日(火)-3月16日(日)

会場:特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D







▲ギャラリートーク

内 容

美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と鑑 賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目 的に毎年開催している公募展。今回は、洋画等7部門で、1,138人(1,326 点) の応募があり、内676人(677点)が入選。このうち、市長賞など入賞作 品は70点であった。

展示点数 711点

関連事業

▶ 入賞·入選発表

日:平成20年2月22日(金)

場 所:1階ロビー

▶表彰式

日:平成20年3月9日(日) 期

場:講堂 会

賞:福岡市美術展特別賞1点、福岡市長賞7点、福岡市議会議 各 長賞2点、福岡市教育委員会賞、福岡県美術協会賞、福岡 文化連盟賞、福岡市文化芸術振興財団賞、九州日仏学館 賞各1点、西日本新聞社賞3点、福岡県美術協会奨励賞2 点、福岡市美術連盟奨励賞3点、奨励賞47点。

▶ ギャラリートーク

期:平成20年3月9日(日)午後2時より 前 期:平成20年3月16日(日)午後2時より

主催等

催:福岡市/福岡市教育委員会/福岡市美術展 運営委員会

援:九州日仏学館/福岡県、(社)福岡県美術協 会/福岡文化連盟/(財)福岡市文化芸術振 興財団/西日本新聞社/福岡市美術連盟

観覧料

一般···300円 高·大生···200円 小·中生···無料 ※障がい者手帳所持者は無料

開催日数 12日

観覧者数 7,055人

印刷物

ポスター(B2·2種) 開催要項(A32つ折) 図録 (A4変形·48頁)

関連記事

p.19を参照。



▲図録

出品・入賞・入選状況

	出品合語	計(応募)	展示			展示
部門	人員(人)・点数(点)		入賞·入選 人員(人)·点数(点)		招待 (人·点)	点数(点)
日本画	47	51	33	33	4	37
洋画	281	345	202	202	5	207
彫刻	10	10	7	7	5	12
工芸	106	130	59	59	4	63
書	228	232	126	126	6	132
写真	324	406	190	190	5	195
デザイン	142	152	59	60	5	65
合計	1,138	1,326	676	677	34	711

常設

常設展

■近現代美術

近現代美術室

世界・日本・九州の美術:20世紀から21世紀へ 会期:平成19年6月8日(金)-平成20年5月18日(日)

日本近代の洋画、シュルレアリスム、ポップアートなど、主に20世紀に登 場したさまざまな美術動向を代表する国内外の作品約60点を、時代 別、傾向別にわかりやすく展示。

- 1. ラファエル・コランと日本近代の洋画 (ラファエル・コラン、黒田清輝など)
- 2. 20世紀前半の具象絵画 (中村彝、レオナール・フジタ、モーリス・ユトリ
- 3. 詩情と幻想ーシュルレアリスムの影響(ポール・デルヴォー、三岸好太 郎、古賀春江など)
- 4. 聖なるイメージ (サルヴァドール・ダリ、マーク・ロスコ、松尾藤代、白髪一雄)
- 5. さまざまな抽象絵画 (ジャン・フォートリエ、フランク・ステラなど)
- 6. [2008年2月18日まで] 日常生活とアート (A.R.ペンク、アンディ・ウォー ホルなど)

[2008年2月19日から]ひとの姿・ひとの痕跡(高松次郎、阿部守など)

日本画工芸室

冨田溪仙展

会期:平成19年3月27日(火)-5月27日(日)

博多出身の冨田溪仙 (1879-1936) は、京都で都路華香に師事して絵 画修行を積み、明治末期から昭和のはじめまで院展や文展などを主な 発表の場として活躍した。自由で飄逸な作風で親しまれる、郷土を代 表する日本画家である。恒例の《御室の桜》や新収蔵の初期作品など 所蔵品から選りすぐりの14点を展示した。

郷土の日本画

会期:平成19年5月29日(火)-7月16日(日)

福岡を中心とする郷土にゆかりの日本画家を特集。戦前の中西耕石、上 田鉄耕、冨田溪仙から戦後に活躍した井上三綱、木原信まで12点を展示。

小早川清展

会期:平成19年7月18日(水)-9月2日(日)

博多生まれの日本画家・小早川清 (1899-1948)は、大正・昭和の時代に帝展 などの官展で活躍し、特に、妖艶、豊麗な美 人画を得意とした。芸者の市丸をモデルにし たといわれる《旗亭涼宵》(1933年・第14回 帝展)をはじめ、日本画・木版画23点を展 示。



小早川清《近代時世粧ノ内 六 口紅》1931年▶

秋の風物詩

会期:平成19年9月4日(火)-10月28日(日)

もの思いの秋、実りの秋。描かれた秋は どんな表情を見せてくれるのだろう。当 館所蔵の日本画・洋画15点により、秋 の情景や風物を描いた作品を特集し て展示し、描かれた秋の様々な表情を 紹介。



水上泰生《籠に菊》制作年不詳▶

モノクロームの美

会期:平成19年10月30日(火)-12月27日(木)

モノクロミー(単色法)は、ポリクロミー(多色法)と対比的に使われる美 術用語。単色により表現される代表的なものとしては、水墨画などが挙 げられる。こうした一つの色で表された絵画世界を、日本画や洋画など 13点を選んで紹介。

彫刻とオブジェ

会期:平成20年1月5日(土)-2月17日(日)

日本近代彫刻黎明期から現代に至るま での彫刻の流れと、戦後日本の前衛芸 術運動にはじまり現代美術のなかで変 化してきたオブジェのありようを紹介し た。木彫、ブロンズ彫刻やオブジェ作品 など計17点を展示。



山崎朝雲《牧童》1935年 * ▶

吉村忠夫展

会期: 平成20年2月19日(火) - 3月30日(日)

福岡県遠賀郡黒崎村(現在の北九州 市八幡西区黒崎) 出身の吉村忠夫 (1898-1952)は、東京美術学校で日本 画を学んで松岡映丘門下となり、やまと 絵風の歴史風俗画を描いた日本画家。 綿密な考証と精緻な描写に裏付けられ た、典雅な王朝の世界を漂わす10点を 展示した。



吉村忠夫《和光薫風》1930年▶

小作品室

小さな絵画一西本コレクションから

会期:平成19年3月27日(火)-6月10日(日)

小さな画布に描かれた、多種多様な世界。和歌山市の蒐集家・西本宏 氏の寄贈コレクションから、小さなサイズの油彩画を集めた展覧会。北川 民次、平野遼、織田廣喜らによる作品22点を展示した。

「大竹伸朗展-路上のニュー宇宙」関連企画 ウォーホルとホックニー

会期:平成19年7月18日(水)-9月2日(日)

同時期に特別展示室Aにて開催中した特別企画展「大竹伸朗展-路 上のニュー宇宙」に合わせた所蔵品展。大竹伸朗が画家を志した背景 には2人の美術家の影響があった。大竹が10代の頃に偶然見たアン ディ・ウォーホルの複製図版により、彼の前に現代美術の扉が開き、20 代の英国滞在中にはデイヴィッド・ホックニーに実際に会い、大きな刺 激を受けた。本展では、ウォーホルの《キャンベルスープ缶》の版画10点 と、ホックニーのフォトコラージュや版画6点を展示。これに加えて、大竹 伸朗が描いたホックニー、ウォーホルの肖像画2点、ホックニーを撮影し た写真4点、そして大竹が所蔵するホックニー作品2点を展示。合計23 点により、特別展示との関連をはかった。

草間彌生展

会期:平成19年9月4日(火)-10月28日(日)

国際的でダイナミックな活動を展開し続ける美術家、草間彌生 (1929-)。所蔵品の中から、この美術家の版画・ドローイング24点を展 示。無限に反復・増殖する水玉や網の目などのパターンに覆われた、鮮 烈でありながら繊細なめくるめく作品世界を紹介。

日記一野田哲也展

会期:平成19年10月30日(火)-12月27日(木)

熊本県生まれの版画家、野田哲也は1960年代から現在まで、版画連作「日記」を継続して制作している。身近な人や物、風景の写真をもとに、木版とシルクスクリーンの併用によって制作された「日記」は、何でもない日常の断片を暗示に富む作品へと変容させる。本展では、当館が所蔵する1960年代から80年代までの「日記」22点を紹介した。

版画で味わう日本の風景

会期:平成20年1月5日(土)-2月17日(日)

近現代美術の所蔵品から日本の風景をテーマとした版画30点を特集展示した。 坂本繁二郎《日本風景版画第六集 筑 紫之部》をはじめ、恩地孝四郎、川上澄 生、吉田博らの作品により、日本の風景 の魅力の再発見をねらった。



恩地孝四郎 《新東京百景創作版画 二重橋早春》1929年 ▶

加納光於展

会期: 平成20年2月19日(火)-3月30日(日)

1950年代の初めに、銅版画家としてその芸術活動を開始した加納光於 (1933-)。以来、絶えず技法の革新を試みながら旺盛な活動を展開し、その制作は油彩画や舞台美術などにも及んでいる。本展では、所蔵品の中からこの美術家の版画21点を紹介。

企画展示室

東郷青児と二科会の画家

会期:平成19年3月27日(火)-6月10日(日)

鹿児島生まれ、東京育ちの東郷青児は1916 (大正15) 年、19歳で二科展に出品し、初入選で二科賞を受賞した。ヨーロッパの前衛芸術を吸収したその先鋭的な作風は一躍画壇の注目を集め、新進画家として華やかな道を歩み始めた。パリ留学からの帰国後は「大衆にわかりやすい芸術」を目指し、叙情的な美人画を連作するなど二科会の中心作家として活躍した。本展では東郷青児の大作2点と、二科会の画家たちの絵画・彫刻13点を合わせて展示した。

夏休みこども美術館2007

こどもギャラリー 「見てみよう!ひとのかたち」

会期:平成19年7月18日(水)-9月2日(日)

私たちにとってもっとも身近なかたちである人物のかたちを、美術家たちがどのように表現してきたか、所蔵品15点をとおして紹介した。作品を見るときのヒントをパネルにしたり、ワークシートを配布して、こどもが楽しみながら作品を鑑賞できるようにした。



ルイ=ジョゼフ=ラファエル・コラン《若い娘》1894年 ▶

戦後福岡の画家

会期:平成19年9月4日(火)-10月28日(日)

福岡市域で戦後活躍してきた洋画家たちの作品を紹介し、昭和・平成の福岡の洋画界を振り返る展覧会。青木寿、伊藤研之から、今泉憲治、村上勝まで27点を展示。

結成50周年記念 シリーズ「九州派再訪ー2」

会期:平成19年10月30日(火)-12月27日(木)

昨年度の「九州派再訪ー1」に引き続き、今年で結成50周年を迎える福岡市の前衛美術集団「九州派」の活動を振り返った。今回は、1959年末の大分裂後、東京進出で立て直しをはかる1960(昭和35)年から、1968(昭和43)年の解散までの時代を射程に入れ、所蔵作品と関係資料により彼らの活動とその時代を「再訪」した。所蔵品・寄託品に加え、作家より借用した作品29点で構成。

■古美術

古美術企画展示室

新収蔵品展

会期:平成19年3月27日(火)-5月27日(日)

平成14年度から平成18年度の間に収蔵した作品のなかから、代表的な作品を紹介。本多弘氏から寄贈された東南アジア陶磁器、エイコ・クスマ氏から寄贈されたインドネシアのバティックなどの大型寄贈コレクションの一部および、絵画、漆工、刀剣など合計39点を展示。



有田焼(柿右衛門様式) 色絵梅樹人物六角壺▶

田中丸コレクション コーナー展示 会期:平成19年3月27日(火)-8月26日(日)

福岡市美術館に寄託されている田中丸コレクションは、唐津、高取、上野、八代、小代、薩摩、現川など、九州の主要な窯を網羅した近世陶器で構成されている。これらの中から13点を選んで展観した。

太田コレクション展

会期:平成19年5月29日(火)-7月22日(日)

太田コレクションは、浮世絵コレクターとして知られる太田清蔵氏が、地元福岡に浮世絵以外の美術品を寄贈されたものである。伝・周文筆「山水図」や、伝・狩野元信筆「豊干・寒山拾得図」など絵画の名品のほか、工芸など19点を展示。

本多コレクションーベトナムの陶磁

会期: 平成19年7月24日(火)-8月26日(日)

中国陶磁を手本としながら独特の味わいをもつベトナム陶磁の魅力 を、東南アジア古陶磁の一大蒐集で知られる本多コレクションの五彩、 青花、青磁などの優品56点により紹介。

田中丸コレクション陶器名品展

唐津・八代・小代を中心に

会期:平成19年10月23日(火)-12月27日(木)

福岡市美術館には九州陶磁の一大コレクションとして知られる田中丸コレクションのうち、陶器約200点が寄託されている。その中から肥前の唐津焼と肥後の八代・小代の作品57点を展示。



八代 三島手陶枕 江戸時代▶

仙厓展-悟りと笑い-

会期:平成20年3月4日(火)-4月5日(日)

仙厓は江戸時代、博多の聖福寺の住持となった禅僧である。多くの書画を描き、絵は簡単な線でありながら、仏や祖師をはじめ、博多の風物などさまざまな主題をユーモアを交えて描いた。仙厓の絵を通じて禅の悟りや庶民の笑いの表現を見出す。

松永記念館室

春の名品展

会期:平成19年3月27日(火)-5月27日(日)

松永記念館室前に常時展示中の野々村仁清作「色絵吉野山図茶壺」 (重要文化財)にあわせて、『黒織部筒茶碗 銘「さわらび」』や「志野あや め絵鉢」など、心躍る春の時節に相応しい茶道具を精選し、さらに「黒絵 式アンフォラ」をはじめとする外国工芸の名品も紹介。全20点を展示。

奈良・平安の美

会期:平成19年5月29日(火)-7月22日(日)

大陸から伝来した仏教文化の隆盛を背景に、華やかな古典の美を開花させた奈良時代。それを受け継ぎ、わが国独自の麗しき美の世界を創り出した平安時代。松永コレクションには、古代日本の文化を形成したこの二つの時代の優品が含まれている。本展ではそれらの中から、仏像、板絵、鏡像、仏具、公家調度など20点を紹介。



帝釈天立像 平安時代*▶

床飾りの楽しみ

会期:平成19年7月24日(火)-8月26日(日)

茶の湯では床の間は茶室の秩序を構成する中心的存在であり、床には 茶道具で最も重要視される掛物をはじめ、花入、香炉が飾られる。松永 コレクションから様々な組み合わせで掛物、花入、香炉など20点を展示。

秋の名品展

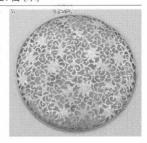
会期:平成19年8月28日(火)-10月21日(日)

侘び茶の世界で愛された茶道具を中心に、古来日本人が殊更に愛してきた秋の季節に相応しい絵画、陶器、工芸の名品15点を展示した。

松永耳庵と仏教美術

会期:平成19年10月23日(火)-12月27日(木)

茶道はもともと禅と深い関わりをもって 発展したこともあり、茶道研究にも人一 倍熱心に取り組んだ耳庵の茶道具に は、仏具としても第一級のものが多く含 まれる。松永コレクションから掛物、香 炉、荘厳具など19点を展示。



金銀鍍透彫華籠 鎌倉時代*▶

新春名品展

会期: 平成20年1月5日(土) -2月17日(日)

耳庵・松永安左工門は、茶の湯を始めて間もない頃から、正月の席には伝・本阿弥光悦書、尾形光琳筆の「金銀泥梅花図」と「古雲鶴筒茶碗」を用いてきた。このほか、新春にふさわしい作品20点を展示した。

点前座の世界

会期:平成20年2月19日(火)-4月5日(日)

てまえる

点前座は、茶席の席主が客人を前にして茶を点てる場所であり、まさしく茶席の表舞台といえる。本展は、その空間を構成する茶道具に焦点をあて、茶碗、茶入、茶杓、水指、釜など17点を展示。



黒織部筒茶碗 銘「さわらび」 桃山時代▶

東光院仏教美術室

薬師如来と十二神将立像 (藤原時代・南北朝時代) ほか、東光院伝来の 仏教彫刻を常時展示。

東光院の仏画-涅槃図ほか(コーナー展示)

会期:平成20年1月5日(土)-2月17日(日)

ねはんえ

涅槃会の時節にちなみ、東光院伝来の仏涅槃図を展示し、あわせて県指定文化財の絹本着色十二天像のうち四幅を、コーナー展示にて紹介した。

観 覧 料: 一般200円(150円)、高・大生150円(100円)、小・中生 無料。ただし、福岡市発行のシルバー手帳および北九州 市発行の年長者施設利用証・療育手帳・身体障害者手 帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。())内は

20人以上の団体料金。

観覧者数: p.56を参照。 関連記事: p.20を参照。

掌のほとけ インドシナ半島の導仏

会期: 平成20年1月5日(土) -3月2日(日)

会場:古美術企画展示室





▲会場風景

内 容

塼仏とは、仏教をはじめとする宗教尊像を浮き彫り状に型抜いた粘土製 の仏像である。東南アジアにおける塼仏の歴史は長く、仏塔への奉納仏 や念持仏として、インドシナ半島のタイ、カンボジア、ミャンマーの領域に 分布した。本展では、108件(140点)の塼仏及びその型の遺例によって、 かつてインドシナ半島を舞台に華麗な仏教美術の華を咲かせた各王朝 の時代の塼仏の造形を体系的に紹介した。

出品点数 140点

関連事業

▶講演会

「塼仏を旅する~タイ・カンボジア・ミャンマー」

時:平成20年2月17日(日)午後2時~3時30分 \Box

講 師:後藤恒(福岡市美術館学芸員)

場:教養講座室

聴講者数:60人

催:福岡市美術館

援:財団法人ポーラ美術振興財団

観覧料

常設展観覧料 (p.13を参照)

開催日数 51日

観覧者数

常設展示観覧者数 (p.56を参照)

印刷物

ポスター(B2) チラシ (A4)

図録 (A4変形·144頁)



▲図録

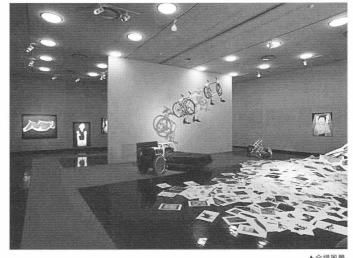
第8回21世紀の作家一福岡

和田千秋「障碍の美術Xー祈り」

会期: 平成20年1月5日(土)-3月30日(日)

会場:企画展示室





内容

「21世紀の作家一福岡」シリーズ8回目となる本展では、福岡市在住の美 術家である和田千秋を取り上げた。和田は、1957 (昭和32)年大分市生 まれ。長男が脳障碍をもって生まれたことをきっかけに、1992年から「障 碍の美術」シリーズの発表を始めた。

本展では、「障碍の美術X-祈り」と題した新作インスタレーションを展開 し、このシリーズの開始15年目にして辿り着いた新境地を見せた。

出品点数 20点の作品によるインスタレーション

関連事業

▶ 和田千秋アーティスト・トーク

H 時:平成20年2月9日(土) 午後2時より

講 師:和田千秋氏(美術家)

場:教養講座室

聴講者数:72人

催:福岡市美術館

力:INTIME福岡(パラマウントベッド株式会社)

観覧料

常設展観覧料 (p.13を参照)

開催日数 75日

常設展示観覧者数 (p.56 を参照)

印刷物

ポスター(B2) チラシ (A4)

図録 (A4変形·64頁)

関連記事

p.19を参照。



▲図録

立花実山三百回忌記念展

[千利休秘伝書]南方録と茶の心





▲会場風景

内容

『南方録』は千利休の茶法をその弟子南坊宗啓がまとめた重要な茶書 である。利休没後、百年ほど経て、福岡藩の藩士立花実山がその存在を 知り、写した本によって今日に伝わっている。立花実山は家老家に生ま れ、茶道に関心が深く、そのほかにも詩、和歌、書画、学問にもすぐれた。 立花実山の三百回忌にあたり、福岡の江戸時代の文化について、改めて 実山の活動、とくに『南方録』をとおしてふり返った。

出品点数 51点

会期:平成19年8月28日(火)-10月21日(日) 会場:古美術企画展示室

主催:福岡市美術館

協替:東林寺

協力:圓覚寺/櫛田神社/茶道南坊流南坊会

後援:福岡茶道文化連盟/(財)福岡観光コンベンション ビューロー/RKB毎日放送/西日本新聞社

観覧料:常設展観覧料(p.13を参照)

開催日数:48日

観覧者数:常設展示観覧者数

(p.56を参照)

印刷物:ポスター(B2)チラシ(A4) 図録 (A4変形・100頁)

関連記事:p.19を参照。



関連事業

▶講演会

「実山と南方録」

時:平成19年9月2日(日)午後2時~3時

講 師:龍淵孔道師(圓覚寺老師) 会 場:講堂 聴講者数: 219人

「南方録の成立」

時:平成19年9月15日(土)午後2時~4時 日

講 師:戸田勝久氏(裏千家戸田即日庵) 場:講堂 聴講者数: 173人 会

「立花実山の実像」

 \Box 時:平成19年10月6日(十) 午後2時~3時30分

師:松岡博和氏(福岡県地方史研究会) 場:講堂 聴講者数:164人 会

▶呈茶会

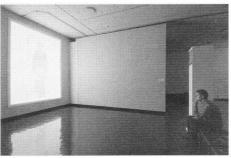
日 時:会期中、毎週日曜日および祝日 午前10時~午後3時

会 場:教養講座室 会 費:500円

フランス・ビデオアートの先駆者

ロベール・カエン展





▲会場風景

内容

フランスのビデオアートの先駆者であるアーティスト、ロベール・カエン (1945年生まれ)の展覧会。スローモーションを多用した独特の映像の中に 詩的世界を表現してきたカエンの過去の主要作と近作を、ビデオインスタ レーションとして展示。2004年の上海ビエンナーレで発表された作品など 今日までのロベール・カエンの最も重要な作品を通覧する機会となった。

出品点数 8点

会場:企画展示室、小作品室、ブックショップ前

▶ ロベール・カエン&サンドラ・リスキによるギャラリー・ツアー

会期: 平成19年6月13日(水)-7月16日(月·祝)

日時: 平成19年6月13日(水)午後4時より

会場:企画展示室·小作品室 聴講者数:150人

▶講演会「ロベール・カエン 時の息吹」

日時: 平成19年6月14日(木) 午後7時より

講師:サンドラ・リスキ氏(ピサ大学教授)

会場:九州日仏学館 聴講者数:80人

主催:九州日仏学館/福岡市美術館

後援:FRAC Alsace

観覧料:常設展観覧料

(p.13を参照)

開催日数:30日

観覧者数:4,212人 印刷物:チラシ(A5変形)

図録(A5·41頁)

関連記事:p.20を参照。



▲図録

展覧会関連記事

美のこころ 東洋の至宝 出光コレクション

西日本新聞(朝刊)	H19.3.7	来月1日開幕「美のこころ」記念/無料音楽会を開催/来月7、8日オカリナやハープ
西日本新聞(朝刊)	H19.3.8	本社の事業/美のこころ-東洋の至宝 出光コレクション/佐三氏収集の重要文化財など72件/来月1日から 福岡市美術館で
西日本新聞(朝刊)	H19.3.19	美のこころ-東洋の至宝 出光コレクション展/輝き放つ逸品たち/4月1日-5月13日 福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H19.3.24	古き良き「美」のフルコース/東洋の至宝 出光コレクション 美のこころ/福岡市美術館学芸員 後藤恒
西日本新聞(朝刊)	H19.3.27	東洋の至宝 出光コレクション(1)/桜下弾弦図屏風 江戸時代寛永期(17世紀前半)/遊女の姿態に強い関心/福岡
		市美術館学芸員·岩永悦子
西日本新聞(朝刊)	H19.3.28	東洋の至宝 出光コレクション(2)/絵唐津柿文三耳壺 桃山時代/簡略化した図柄に強さ/福岡市美術館学芸員・尾崎直人
西日本新聞(朝刊)	H19.3.29	東洋の至宝 出光コレクション(3)/酒井抱一 風神雷神図屛風 江戸時代(19世紀)/ひょうきんで人間臭く/福岡市美
		術館学芸員·岩永悦子
西日本新聞(朝刊)	H19.3.30	東洋の至宝 出光コレクション(4)/堆黒双鳳牡丹文盤 中国・元時代(14世紀)/厚い彫りで写実美実現/福岡市美術
		館学芸員・後藤恒
西日本新聞(朝刊)	H19.4.1	きょうから「美のこころ 東洋の至宝 出光コレクション」展
西日本新聞(朝刊)	H19.4.3	東洋の至宝 出光コレクション(5)/俵屋宗達 西行物語絵巻 第一巻 江戸時代 1639(寛永7)年/的確な線で模写起
		える/福岡市美術館学芸員・岩永悦子
西日本新聞(朝刊)	H19.4.3	14、21日「美のこころ」講演会/参加者を募集/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H19.4.8	「美のこころ」展記念/「雅天空」がコンサート
毎日新聞(夕刊)	H19.4.10	ときめきアート/よりユーモラスに/渡辺亮-
西日本新聞(夕刊)	H19.4.14	「美のこころ 東洋の至宝 出光コレクション」5月13日まで、福岡市美術館/世界に誇る東洋古美術の殿堂/重要文化
		財14件重要美術品7件を含む精選の72作品
西日本新聞(朝刊)	H19.4.19	「美のこころ」展入場1万人突破/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H19.4.20	東洋の美に恋する/出光コレクション展/来月13日まで福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H19.4.22	「美のこころ 出光コレクション」展/記念講演で魅力紹介/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H19.4.25	「美のこころ」展の後期作品展示開始/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H19.4.26	美のこころを見て(1)/「真言八祖行状図」の「第八祖―空海」/神秘へと誘う緋色/福岡市長・吉田 宏さん
西日本新聞(朝刊)	H19.4.27	美のこころを見て(2)/「〇△□(まるさんかくしかく)」/仙崖作品の真骨頂/聖福寺老師・細川白峰さん
西日本新聞(朝刊)	H19.4.28	美のこころを見て(3)/「桜下弾弦図屛風」/物憂げな遊女2人/講談師・神田 紅さん
西日本新聞(朝刊)	H19.4.30	美のこころ展/2万人目の入場者は北九州市の岡田さん/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H19.5.2	美のこころを見て(4)/「筑後切 後撰和歌集 断簡」/流れるような運筆/書道家・吉村宣枝さん
西日本新聞(朝刊)	H19.5.3	美のこころを見て(5)/「麦・芥子図屛風」/曲線と直線の調和/雅楽師・東儀秀樹さん
西日本新聞(朝刊)	H19.5.8	「美のこころ」展に寄せて 黒田泰三/絵と自分探し/等伯の屏風に、動物の情愛みる/(くろだ・たいぞう=出光美術館学芸課長)
西日本新聞(朝刊)	H19.5.8	気流
西日本新聞(朝刊)	H19.5.9	入場者3万人突破/福岡市美術館「美のこころ展」
西日本新聞(朝刊)	H19.5.12	「美のこころ」あすまで開催/先着20人に記念品
西日本新聞(朝刊)	H19.5.13	入場者4万人を突破/「美のこころ展」今日閉幕

大竹伸朗展一路上のニュー宇宙

毎日新聞(朝刊)	H19.5.27	絶妙なトーク楽しむ/作家・リリーさん 画家・大竹さん/松下英志
西日本新聞(朝刊)	H19.6.4	文化/現代美術家・大竹伸朗さん/「最終形分からぬまま突き進む」/リリー・フランキーさんと対談/来月、福岡市で大規模個展
読売新聞(朝刊)	H19.7.15	「大竹ワールド」堪能/福岡市美術館
読売新聞(朝刊)	H19.7.15	奇抜なデザイン635点/福岡 大竹伸朗さん九州初個展
毎日新聞(朝刊)	H19.7.15	大竹伸朗さん、九州個展始まる
読売新聞(朝刊)	H19.7.27	文化/大竹伸朗展 路上のニュー宇宙/日常から「拾ったもの」/異様な迫力と静けさ/岩永芳人
読売新聞(朝刊)	H19.8.3	ようこそ路上のニュー宇宙へ(1)/「黒い」「紫電改」(1964年)/福岡市美術館学芸員 山口洋三
朝日新聞(夕刊)	H19.8.3	ART&CULTURE/美術 批評!/大竹伸朗展 路上のニュー宇宙/いつもの風景変える「魔法」/中村共子
読売新聞(朝刊)	H19.8.4	ようこそ路上のニュー宇宙へ(2)/Mr.ピーナッツ(1978~81年)/福岡市美術館学芸員 山口洋三
読売新聞(朝刊)	H19.8.7	ようこそ路上のニュー宇宙へ(3)/ジャリおじさん(表紙) (1993年)/福岡市美術館学芸員 山口洋三
日本経済新聞(夕刊)	H19.8.7	プロムナード/絵とトークのツンドラ地帯一大竹伸朗
読売新聞(朝刊)	H19.8.8	ようこそ路上のニュー宇宙へ(4)/宇和島駅 (1997年) /福岡市美術館学芸員 山口洋三
読売新聞(朝刊)	H19.8.10	ようこそ路上のニュー宇宙へ(5)/ダブ平&ニューシャネル (1999年) /福岡市美術館学芸員 山口洋三

読売新聞(朝刊)	H19.8.10	ベスト展 7月/前野ウリウえ (詩人) /★中村彩個展「ユウレイとセックス」(IAF SHOP=福岡) /★大竹伸朗展「路上のニュー宇宙、
西日本新聞(朝刊)	H19.8.14	文化/「既にそこにあるもの」への美学/展覧会/大竹伸朗「路上のニュー宇宙」/平原奈央子
西日本新聞(朝刊)	H19.8.16	都市圏ふくおか/「今日感じたことを形に残したい」/廃棄物でコラージュ/現代美術作家 大竹さん個展
毎日新聞(朝刊)	H19.8.18	土曜文化/現代美術2作家 九州で大規模個展/大竹伸朗展/息づく少年時代の夢/ヤノベケンジ展/ユーモアでく
		るむ社会性/渡辺亮一
読売新聞(朝刊)	H19.8.24	大竹伸朗展 好評/福岡市美術館で26日まで
『月刊リトル・ママ』vol.06	4, 2007,	今月のイベントREPORT! / 「路上のニュー宇宙」対談/大竹伸朗×リリー・フランキー
(株)リトル・ママ発行		
『Wa』vol.34, 2007, (財)	福岡市文化	大竹伸朗「ヘンリー・ダーガーに思うこと」
芸術振興財団発行		
『シティ情報ふくおかCLASS』		今月のエンタテイメント/Art/大竹伸朗展 路上のニュー宇宙/東京で5万人を震撼させたアーティスト、待望の九州初個展
2007, July. No.667, (株)	秀巧社発行	
"fah Thai", July / August	2007,	Manami Okazaki, "Cut and Past", 'Takes a journey through the mind and creations of prolific japanese artist Shinro Otake'
Bangkok Airways発行		
『博多のうわさ』2007年7	月号、	お客様横丁
うわさ社発行		
『美術手帖』7月号, vol.5	9, No.896,	BT Recommends!今月のイチ押し展覧会!/展覧会未発表作を多数含む約600点/大竹伸朗 路上のニュー宇宙」/福
美術出版社発行		岡市美術館
『九州ウォーカー』2007, N	lo.15	KWイチオシ!アート/個展 大竹伸朗展-路上のニュー宇宙-/現代美術の旗手としていま最も注目されている大竹伸朗
(株)角川クロスメディア発	巻行	九州初の個展では、未発表作品を含む約600点を大公開!
『NIKKEI DESIGN』2007年8月号,		展覧会&コンペ/「大竹伸朗展 路上のニュー宇宙」/同時代の作家の生き様に見る現代/text_by 井上良太
日経BP社発行		
『エスクァイヤ日本版』20	07年10月号	旅の終わりの居酒屋。/大竹伸朗と巡る九州、居酒屋の夜。
vol.21, No.10		

大応国師と崇福寺

西日本新聞(夕刊)	H19.9.27	PICK UP「大応国師と崇福寺」展/30日から、福岡市/日本禅宗の祖の偉業振り返る
西日本新聞(朝刊)	H19.10.1	日本の禅の基礎を作る/大応国師の偉業回顧/福岡市美術館で来月4日まで展示/ゆかりの品130点
西日本新聞(夕刊)	H19.10.1	博多の禅風「大応国師と崇福寺」展より 上/大応国師像 白隠彗鶴筆(江戸時代)/最新文化の窓口を担う/福岡市
		美術館学芸員 渡辺雄二
西日本新聞(夕刊)	H19.10.2	博多の禅風「大応国師と崇福寺」展より 中/馬頭観音像 (室町時代) 海蔵寺蔵/京都の仏師による優品/福岡市美術
		館学芸員 渡辺雄二
西日本新聞(夕刊)	H19.10.3	博多の禅風「大応国師と崇福寺」展より 下/黒田長政参禅の図 春屋宗園賛 (江戸時代) 福岡市博物館蔵/参禅する
		初代藩主描 福岡市美術館学芸員 渡辺雄二</td
西日本新聞(朝刊)	H19.10.13	感動MUSEUM/禅宗文化への貢献振り返る/大応国師七百回忌記念特別展「日本純粋禅の祖 大応国師と崇福寺」
		(11月4日まで福岡市美術館)/福岡市美術館学芸員 渡辺雄二
西日本新聞(夕刊)	H19.10.13	臨済宗"禅祖"大応国師の偉業/日本純粋禅の祖 大応国師と崇福寺/来月4日まで 福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H19.10.18	「大応国師と崇福寺」展に寄せて/開かれた港の開かれた禅僧/渡辺雄二(わたなべ・ゆうじ=福岡市美術館学芸員
西日本新聞(朝刊)	H19.10.19	「大応国師」展に合わせ崇福寺の境内22日から公開/福岡市
『博多のうわさ』10月号	うわさ社発行	お客様横丁

美の求道者・安宅英一の眼 安宅コレクション展

読売新聞(朝刊)	H19.11.26	東洋陶磁の名品200点/安宅コレクション/福岡で1~2月
読売新聞(朝刊)	H19.12.16	安宅英一の眼 安宅コレクション/来年1月5日から/福岡市美術館/極みの美200点/東洋陶磁の名品主義貫く
読売新聞(朝刊)	H19.12.31	名品入手の逸話も紹介/安宅英一の眼 2月17日まで
読売新聞(朝刊)	H20.1.6	東洋陶磁の名品並ぶ/福岡 安宅コレクション展
西日本新聞(朝刊)	H20.1.6	安宅コレクション展/優美な東洋陶磁203点/福岡市美術館国宝の茶わんも
読売新聞(朝刊)	H20.1.6	初日ファンらで盛況/福岡市美術館「安宅コレクション」展
読売新聞(朝刊)	H20.1.21	2008読売新聞社 主な事業/貴重な陶磁"最後"の巡回展/「安宅英一の眼」来月17日まで福岡市美術館
読売新聞(朝刊)	H20.1.22	美の求道者・安宅英一の眼 安宅コレクション(1)/青磁刻花 牡丹唐草文 瓶 重要文化財(北宗時代、11~12世紀)/
		福岡市美術館学芸課長 尾崎直人
読売新聞(朝刊)	H20.1.25	美の求道者・安宅英一の眼 安宅コレクション(2)/青花 蓮池魚藻文 壺 重要文化財(元時代、14世紀)/福岡市美術
		館学芸課長 尾崎直人
読売新聞(朝刊)	H20.1.26	文化west/徹底した美意識 安宅コレクション
読売新聞(朝刊)	H20.1.28	名品に映る美への執念/「安宅英一の眼」福岡市美術館・来月17日まで/
読売新聞(朝刊)	H20.1.29	美の求道者・安宅英一の眼 安宅コレクション(3)/青花窓絵草花文面取壺(朝鮮時代、18世紀前半)/福岡市美術館
		学芸課長 尾崎直人
読売新聞(朝刊)	H20.1.30	美の求道者・安宅英一の眼 安宅コレクション(4)/青磁陽刻牡丹蓮花文鶴首瓶(高麗時代、12世紀前半)/福岡市美
		術館学芸課長 尾崎直人
読売新聞(朝刊)	H20.1.31	美の求道者・安宅英一の眼 安宅コレクション(5)/粉青粉引祭器(朝鮮時代、16世紀)/福岡市美術館学芸課長 尾崎直人
朝日新聞(夕刊)	H20.2.1	東洋陶磁の名品200点 安宅コレクション展
朝日新聞(夕刊)	H20.2.5	偏西風/フランケン/社会・神谷裕司
西日本新聞(朝刊)	H20.2.11	文化/「収集」切り口に意欲的な企画/安宅コレクション展/17日まで、福岡市美術館/北里晋
『博多のうわさ』2008年1	月号 うわさ社発行	お客様横丁/安宅コレクション一美の求道者・安宅英一の眼」展

第42回福岡市美術展

西日本新聞(朝刊)	H20.2.22	福岡市美術展/福迫さん(彫刻)に最高賞/来月4日から展示 入賞・入選677点
毎日新聞(朝刊)	H20.2.22	福岡市美術展/特別賞に福迫さん(福教大2年)/7部門に応募1326点/入賞70人、入選606人
西日本新聞(朝刊)	H20.2.23	福岡市美術展入選者
読売新聞(朝刊)	H20.2.23	福迫さん(福教大2年)彫刻 最高賞/福岡市美術展 入賞・入選677点決まる
西日本新聞(朝刊)	H20.2.26	福岡市美術展入選者
朝日新聞(朝刊)	H20.3.1	福教大の福迫さん 福岡市美術展最高賞

第8回21世紀の作家一福岡 和田千秋「障碍の美術X一祈り」

読売新聞(夕刊)	H20.1.11	文化west/障碍の美術 新たな地平/和田千秋個展/矢田民也
西日本新聞(朝刊)	H20.1.17	障害ある愛息への20年・・・/思いや願い作品に込め/福岡市の美術家・和田さん個展/祈りテーマに肖像画など展示
毎日新聞(朝刊)	H20.2.4	息子への思い作品に/福岡市美術館/和田千秋「障碍の美術」/高橋咲子
朝日新聞(夕刊)	H20.2.8	息子の生きる姿 作品に/同じ境遇の作家から刺激/和田千秋 障碍の美術
毎日新聞(朝刊)	H20.2.16	土曜 文化/荘厳な「祈り」の空間/和田千秋「障碍の美術X」展/福岡市美術館/愛情と時間、量感で示す「泉」/渡辺亮-
西日本新聞(朝刊)	H20.2.23	感動MUSEUM/異なる人生に重なり合わせ/第8回21世紀の作家-福岡 和田千秋「障碍の美術X-祈り」(3月30日ま
		で福岡市美術館)/福岡市美術館学芸員・三谷理華

南方録と茶の心

西日本新聞(朝刊)	H19.8.23	輝け城のまち 福岡築城400年/旧福岡藩家臣 茶道南坊流/立花実山の書画一堂に/28日から福岡市美術館/
		300回忌、功績に光
朝日新聞(夕刊)	H19.9.14	偏西風/秘伝書のなぞ/山盛英司
西日本新聞(朝刊)	H19.10.1	茶道「南坊流」中興の祖/立花実山300回忌で法要/墓所の東林寺 南坊会理事長が「供茶」
『博多のうわさ』2007年	9月号 うわさ社発行	す お客様横丁/立花実山三百回忌記念展 南方録と茶の心

フランス・ビデオアートの先駆者 ロベール・カエン展

読売新聞(朝刊) H19.6.20 人間世界と異界の境界/福岡市美術館でカエン展/日山誠
 毎日新聞 H19.7.7 仏ビデオアートの先駆者 カエン展/一命の連環、死に至る恍惚の時ー/渡辺亮ー
 『シティ情報ふくおかCLASS』2007年6月 フランス・ビデオアートの先駆者 ロベール・カエン展/電子音楽を融合させた。詩的な映像世界(株)秀巧社発行
 『九州ウォーカー』2007, No.13 インスタレーション/フランス・ビデオアートの先駆者 ロベール・カエン展
 (株)角川クロスメディア発行

夏休みこども美術館2007

読売新聞(夕刊)	H19.8.8	夏こそアートこどもにPR/美術館知恵絞る/イラスト小冊子■絵本テーマ
西日本新聞(朝刊)	H19.8.29	花時計/庭木

戦後福岡の画家

読売新聞(朝刊)	H19.9.16	見に行こう/「戦後福岡の画家」展/切磋琢磨 地方美術の系譜/臼山誠
毎日新聞(夕刊)	H19.9.25	ときめきアート/現代に得難い原初的魅力/渡辺亮一

結成50周年記念 シリーズ「九州派再訪ー2」

西日本新聞(朝刊)	H19.11.19	文化/変革の祭から、個の探究へ/九州派結成から50年-二つの展覧会/菊畑茂久馬と物語るオブジェ(福岡県立美
		術館)/九州派再訪-2(福岡市美術館)/岩田直仁

こどもアートアドベンチャー

こどもたちと美術とのより良い出会いの場を提供する事を目的に、平成9年度より展開している市内小・中学校を主な対象とした教育普及活動。学校と連携し、児童・生徒が美術館を利用できる機会を増やすとともに、こどもたちがより美術に興味を持ち、深く理解できるよう、ボランティアのギャラリートークを始め、小・中学校の教員とともにワークショップなどを行っている。

市内の小・中学校等に対するギャラリーツアー(スクールツアー・プログラム)

学校団体への常設展示鑑賞のサポートとして、教師との事前打ち合わせなどをもとに、ギャラリーガイドボランティアによる ギャラリートークを行っている。平成19年度の学校利用は以下の通り。

スクールツアープログラムの利用学校

平成19年			
	(水) 小呂中学校1、2年生	生徒6人	引率3人*
5月 2日	(水) 東光中学校2年生	生徒64人	引率5人*
6月15日	(金) 姪浜中学校2年生	生徒314人	引率15人*
6月21日	(木) 南当仁小学校4年生	児童18人	引率1人
6月29日	(金) 柏原小学校6年生	児童107人	引率3人
7月 3日	(火) 西福岡中学校1年生	生徒160人	引率10人*
7月19日	(木) 警固中学校3年生	生徒25人	
7月29日	(日) 多々良中学校美術部	生徒5人	引率1人
8月24日	(金) 下山門中学校美術部	生徒10人	引率1人
9月14日	(金) 当仁小学校3年生	児童105人	引率3人
10月 4日	(木) 城香中学校1年生	生徒124人	引率8人*
10月17日	(水) 佐須奈中学校2年生	生徒5人	引率2人
10月23日	(火) 筥松小学校2年生	児童80人	
10月30日	(火) 北崎中学校1、2年生	生徒41人	引率7人*
11月 7日	(水) 宮竹中学校2年生	生徒132人	引率7人*
11月 8日	(木) 花畑小学校4年生	児童91人	引率4人
11月13日	(火) 愛宕浜小学校6年生	児童96人	引率3人
11月14日	(水) 野多目小学校6年生	児童126人	引率5人
11月15日	(木) 舞鶴中学校2年生	生徒72人	引率5人*
11月27日	(火) 福岡雙葉小学校5年生	児童109人	引率3人
12月 4日	(火) 大利小学校6年生	児童152人	引率5人
12月 5日	(水) 香椎小学校6年生	児童96人	引率4人
12月11日	(火) 周船寺小学校5年生	児童81人	引率3人
12月12日	(水) 周船寺小学校5年生	児童78人	引率3人

平成20

平成20年		
1月11日 (金) 那珂南小学校5年生	児童81人	引率3人
1月16日(水)花畑小学校3年生	児童100人	
1月18日 (金) 城南中学校2年生	生徒228人	引率14人*
1月25日(金)東箱崎小学校5年生	児童68人	
1月25日 (金) 当仁小学校 (クラブ活動)	児童12人	引率3人
1月30日 (水) 那珂南小学校6年生	児童75人	引率3人
1月30日 (水) 玄洋小学校5年生	児童111人	引率3人
2月 5日 (火) 高取小学校5年生	児童160人	
2月 7日 (木) ゆなの木保育園	園児12人	引率2人
2月 7日 (木) 松崎中学校1年生	生徒117人	引率6人*
2月 8日 (金) 赤坂幼稚園	園児76人	引率13人
2月13日 (水) 堤丘小学校5年生	児童54人	引率3人
2月14日 (木) 屋形原特別支援学校中学部	生徒22人	引率7人
2月20日(水)花畑小学校5年生	児童103人	引率4人
2月21日 (木) 東花畑小学校5年生	児童66人	引率2人
2月21日 (木) 弥生小学校5年生	児童73人	引率2人
2月22日(金)大原小学校6年生	児童81人	引率4人
2月26日 (火) 七隈小学校5年生	児童85人	引率3人
2月27日 (水) 有田小学校	児童90人	引率4人
2月28日(木)京町保育所	園児22人	引率4人
2月28日 (木) 田隈中学校1年生	生徒238人	引率10人*
2月29日 (金) 今津小学校全学年	児童146人	
2月29日(金)玉川小学校5年生	児童105人	引率3人
3月 5日 (水) 香住ヶ丘小学校	児童164	引率5人
3月 7日 (金) 南当仁小学校4年生	児童125人	引率2人
	-1.1 + /+ E4 A4 33 1-	上乙址的抗

*は体験学習による来館校

中学校交流ワークショップ2007「福岡市美術館のキャッチコピーを作ろう!」

期 日:平成19年7月25日(水)、26日(木)

参加校:警固中学校、舞鶴中学校、城香中学校、東住吉中学校、香椎第一中学校(全て福岡市立)

講師:栗原景子氏(フリーアナウンサー)

主 催:福岡市中学校美術教育研究会、福岡市美術館

内 容: 福岡市美術館の来館者に、お気に入りの作品や場所を見つけてもらい、そこにキャッチコピーをつけてもらうという企 画。参加中学生が、学校が異なる生徒同士グループを作り、交流をはかりながら、どのように来館者を導くかを考え、 館内や所蔵作品を紹介した。最終的に114のキャッチコピーが集まり、1部を館内口ビーに展示した。

夏休みこども美術館2007

こどもたちに、当館の所蔵品を知り、またそれらに親しんでもらうための、展示・ワークショップ・ギャラリートークを組み合わせた複合的な教育普及プログラム。平成19年度は「ひとのかたち」をテーマにした企画を行なった。

【こどもギャラリー 「見てみよう!ひとのかたち」

会 期:平成19年7月18日(水)-9月2日(日)

会 場:企画展示室 出品点数:15点

内 容:私たちにとって最も身近なかたちである「ひとのかたち」をテーマにし、 その表現方法の異なる作品を、こども向けに展示をアレンジして紹介 した。会場では作品鑑賞のヒントとなるワークシートを配布したり、「発 表してみよう!コーナー」では人物の影を描いた作品をとりあげ、その顔

を想像して思い思いの顔を来場者に描いてもらい、パネルに展示した。



こどもワークショップ 「あなたのかたち/わたしのかたち~体からかたちを見つけて描こう!~」

日 時:平成19年7月21日(土)、8月11日(土) 午後1時30分~4時

請師:大浦こころ氏(美術家) 対象:小学生とその保護者15組

参 加 費:1人500円

参加者数:7月21日 37人、8月11日 19人 展示期間:平成19年8月14日(火)~19日(日)

内 容:こどもギャラリーの展示作品と講師の作品画像によって、「ひとのかたち」をモチーフにした作品の鑑賞をおこなった後、参加者全員が大きな模造紙の上でさまざまなポーズをとり、お互いのからだの輪郭をその人のイメージの色でなぞっていった。からだのかたちを幾重にも重ねたりして、一枚の大きな作品を仕上げた。作品は実技講座室に展示した。



美術館探検

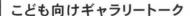
日 時: 平成19年8月の毎週水曜日と8月4日(土)、8月18日(土) いずれも1日2回、午前10時と午後1時から、それぞれ1時間程度。

対 象:小学生(保護者も参加可能) 参加者数:245人(うち保護者81人)

学生アシスタント:井口奈美、池田有子、市川靖子、佐藤 茜、澤田 愛、下川可保梨、上杉 恵、豊田亜衣加、橋爪優子、細江琴美、松吉有希、宮澤 藍

内 容: 学生アシスタントとともに美術館のバックヤードを探検しながら、こどもた ちに美術館が持っている作品保存や展示の機能を知ってもらうというも

の。その後、こどもギャラリーにてギャラリートークを行った。なお、バックヤードツアーには、学生アシスタントと参加したこどもたちとの親密なコミュニケーションをはかり、その後のギャラリートークをより効果的にするという意味もある。



日 時:平成19年7月18日(水)~9月2日(日)の休館日(月曜日)を除く毎日、 午後2時30分から40分程度。

参加者数:158人

内 容: 当館ギャラリーガイドボランティアによるトーク。こどもギャラリー以外の作品を3点、対話型のトークで紹介した。なお、こどもだけでなく、大人の参加も可とした。



講座·講演会

つくって!わかる?アート講座Vol.3 「これもデジタル・アート!?コマ撮り人間アニメを作ろう!」

日 時:平成20年2月23日(土)、24日(日) いずれも午後1時30分~4時30分

講師:黒岩俊哉氏(九州産業大学准教授)

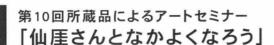
場 所:教養講座室、ロビー

参加費:1人500円 参加者数:18人

内 容:デジタル・カメラを使ったアニメーション作品を制作。特殊な技術が必要と

思われがちなデジタル・アートであるが、デジタルカメラとパソコンの編集ソフトを使って、初心者でも作品制作が可能なこと、それを通して映像作品の面白さを身近に感じてもらうことを目的とした。最終的にはタイトルやエンド

ロール、自作の音楽もつけて1作品30秒程度の作品に仕上げた。



▶ 3回連続講座

第1回「博多の仙厓」

日 時:平成20年3月8日(土)午後2時~3時30分

請師:森弘子氏(太宰府市教育委員)

会 場:教養講座室、古美術企画展示室

参加者数:32人

第2回「禅僧僊厓義梵」

日 時: 平成20年3月15日(土) 午後2時~3時30分

講師:細川白峰師(聖福寺老師) 会場:聖福寺(坐禅も行った。)

参加者数:29人

 \Box

第3回「仙厓書画の意味と魅力」

時:平成20年3月22日(土) 午後2時~3時30分

講師:衛藤吉則氏(広島大学准教授)

会 場:教養講座室

参加者数:30人

受講料:300円

内 容: 江戸時代の博多の禅僧仙厓 (1750~1837) は日本最初の禅寺聖福寺の住職で、多くの書画を残す。その作品は 禅宗の師や仏教的な内容ばかりでなく、庶民の生活にも触れ、描写もユーモアや慈愛にあふれている。セミナーで は、仙厓について講師の講義を聞き、福岡市美術館や聖福寺が所蔵する仙厓作品を鑑賞した。

絵本カーニバル IN FUKUOKA 2007 「ワークショップ 親子で作ろう名画で絵本」

日 時:平成19年9月16日(日)、17日(月·祝) 各午前10時~午後3時

講師:下原美保氏(鹿児島大学准教授)

場 所:実技講座室

対 象:小学生とその保護者15組

参 加 費:500円

参加者数:9月16日 18人、9月17日 24人

内 容: 絵本をテーマに福岡県下12の施設が連携して行なった「絵本カーニバル IN FUKUOKA 2007」の関連企画。当館では所蔵品を使った親子向けのワークショップを開催した。常設展示作品を鑑賞し、それらの作品を組み合わせたり、自分自身も登場させながら参加者独自の物語をつくり、絵巻に仕上げた。日本の伝統的な「絵本」である絵巻を作ることで、こどもたちが触れることが少ない「古美術」作品に親しむことも意図した。





シンポジウム 「中世禅における死と再生の痕跡」

日 時:平成20年1月6日(日)午後1時30分~5時

会場:講堂聴講者数:48人

主 催:特定領域研究·文化交流研究部門調整班、九州藝術学会、福岡市美術館

内 容:文部科学省特定領域研究「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成ー 寧波を焦点とする学際的創生」の研究の一環として、「禅と美術」をテーマに 講演会、パネルディスカッションを行った。

公開講演「禅の美術 Art of Zen, Art in Zen」
 講師:ヘルムート・ブリンカー氏(チューリッヒ大学名誉教授) 通訳:ライジンガー氏

2. パネルディスカッション

司会: 井手誠之輔氏 (九州大学教授) パネラー: ヘルムート・ブリンカー氏、山川 暁氏 (京都国立博物館研究員)、根立研介氏 (京都大学教授) 島尾 新氏 (多摩美術大学教授)、渡邊 雄二 (福岡市美術館学芸員)



開館記念事業

図録フェア

日 時:平成19年11月3日(土·祝)午前10時~午後5時

会 場:2階ロビー

内 容:平成18年度までに当館で開催された展覧会図録で在庫のあるものを定価の2~5割引きで販売した。

クリスト&ジャンヌ=クロード講演会

「《オーバー・ザ・リバー、コロラド州、アーカンサス川のプロジェクト》と 《ザ・マスタバ、アラブ首長国連邦のプロジェクト》」

日 時:平成19年11月6日(火)午後6時30分~8時30分 ※閉館後開催

会 場: 講堂 聴講者数: 246 人 主 催: 福岡市美術館

企画協力:札幌宮の森美術館/NPO法人芸術文化事業支援機構 (CAPSS)/モマ・コンテンポラリー MALIZON×BLD Inc.

内 容: 1960年代から欧米を中心に屋外での大プロジェクトを手がけてきたクリスト&ジャンヌ=クロードが、過去の主要なプロジェクトを振り返りながら、現在進行中の2つのプロジェクト、《オーバー・ザ・リバー、コロラド州、アーカンサス川のプロジェクト》と《ザ・マスタバ、アラブ首長国連邦のプロジェクト》について講演。講演後、活発な質疑応答が交わされた。



博物館実習

学芸員資格取得のための実習を平成19年5月8日から同年11月30日の日程で所定の2週間の実習を行った。

- ■福岡教育大学 1名 山本春菜 生涯スポーツ芸術課程 芸術コース
- ■西南学院大学 2名 田川麻美 文学部英文科 4年 矢部綾乃 文学部外国語学科 4年
- ■福岡大学 1名 阿部麻生 人文学部 文化学科
- ■八州学園大学 1名 清家尚美 生涯学習学部 人間開発教育課程

- ■福岡女学園大学 1名 土屋葉紗 人間関係学部人間関係学科 4年
- ■八州学園大学 1名 榎本純子 生涯学習学部 人間開発教育課程
- ■九州産業大学 1名 伊東久美 芸術学部写真学科 4年
- ■筑紫女学園大学 1名 龍頭茉莉 文学部日本語·日本文学科 4年

■インターンシップ受入れ

金沢大学大学院の依頼により下記のように学生のインターンシップ受け入れを行った。

学生氏名:金沢大学大学院人間社会環境研究科 人間文化専攻 1年 マクロスキー芽衣子

期 間:平成19年8月17日(金)~27日(月)

内 容:美術館企画展のための調査および展示構成など展示の行程について、具体的な作業を通して実習した。

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館でも本年度3校を受け入れて、常設展示の受付、監視等の体験学習を行った。

平成19年7月5日(木)	福岡市立片江中学校	3名
平成19年7月12日(木)	福岡市立原北中学校	1名
平成19年9月11日(火)	福岡市立城南中学校	3名

読書室企画

読書室の一角に当館開催の展覧会等に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、 資料を通しての普及啓蒙活動を行った。

■常設展関連図書特集

常設展示室での各展示に関連した図書を特集した。

■特別展関連図書特集

- ・平成19年3月27日(火)—5月13日(日)「美のこころ—東洋の至宝 出光コレクション」関連
- ・平成19年7月10日(火)-8月26日(日)「大竹伸朗展-路上のニュー宇宙」関連
- ・平成19年9月26日(水)-11月4日(日)「大応国師と崇福寺」関連
- ・平成20年1月5日(土) ―2月17日(日)「美の求道者・安宅英一の眼―安宅コレクション」関連

■読書室企画図書特集

夏休みこどもとしょかん 「よんでみよう!みてみよう!人のかたち」

会 期:平成19年7月18日(水)—9月2日(日)

内 容: 夏休みこども美術館2007こどもギャラリー「見てみよう!人のかたち」の開催に関連して、美術について興味を持ち、理解を深めてもらえるよう、美術の歴史や美術作品の鑑賞のヒントが書かれている児童書やこどもたちにとって比較的身近な存在である絵本など23冊を特集した。ここで特集した本のリストは同展のワークシートの巻末に記載した。



ボランティア活動

■ボランティアについて

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。新聞スクラップから始まったボランティア活動は、現在では大きくギャラリーガイドボランティアと美術情報ボランティアの二つのセクションに分かれ、「美術館の活動を支援し、且つ、自らのスキルを社会に還元すること」を目標に、美術館の活動を支える重要な柱の一つとなっている。なお、美術情報ボランティアは、さらに新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアと分かれる。

■各ボランティアの活動

ギャラリーガイドボランティア

平成19年度の登録人数:73人

・ギャラリーツアー

開館日に午前11時からと午後2時からギャラリーツアーを行っている。ボランティア自身が決めたテーマにそって、常設展示の作品を40分間で3点、参加者との対話を通して紹介する。(夏休みこども美術館期間中は、こども向けギャラリートークのため、午後のツアーはお休み)

参加者数:649人

団体向けツアー

常設ギャラリーツアーとは別に、申し込みがあれば団体向けのツアーも行なっている。参加団体は下記の通り。なお、市内の学校団体向けのツアーについては「こどもアートアドベンチャー」の項目 (p.21) を参照のこと。

平成19年

平成19)年	
5月23日	(水)つくば開成高校福岡開成館	生徒17人 引率3人
5月26日	(土) 与論中学校	生徒70人 引率8人
5月31日	(木)つくば開成高校福岡開成館	生徒45人 引率5人
6月 9日	(土) 筑紫学園高校1~3年生	生徒45人 引率4人
6月12日	(火)米国カリフォルニア州立大学フラートン校	学生10人 引率1人
6月14日	(木)つくば開成高校福岡開成館	生徒40人 引率5人
6月23日	(土) 九州産業大学シニア・アート・アカデミア	35人
7月12日	(木) 北九州市立西門司小学校6年生	児童118人 引率4人
7月31日	(火) グリーンズこどもクラブ	児童23人 引率2人
8月 4日	(土)福岡教育大学附属小倉中学校美術部	生徒18人 引率1人
8月 7日	(火) NHK福岡文化センター	23人
9月15日	(土) 志免中学校	生徒15人 引率2人

9月27日	(木) 長崎市立北陽小学校6年生	児童5人 引率1人
10月25日	(木) 西障がい者フレンドホーム	25名
11月 2日	(金) NHK北九州文化センター	9人
11月13日	(火) 箱根カルチャー	20人
11月23日	(金)福津市有弥の里	30人
12月 4日	(火) 明治学園小学校	児童123人 引率5人
12月14日	(金)釜山博物館ボランティア	10人
12月21日	(金) 九州産業大学芸術学部博物館学履修生	学生15人
平成20)年	
1月18日	(金)福津市立上西郷小学校	児童22人 引率2人
1月20日	(日) 青空の里 (デイサービス)	20人
1月27日	(日) 青空の里 (デイサービス)	20人

·研修旅行

作品の案内などの技術向上と、ボランティアに関する様々な情報交換のために、他館のギャラリーガイドボランティアの活動を見学、またそのボランティアとの交流をおこなう研修旅行を実施した。今回は、長崎県美術館、長崎歴史文化博物館におもむき、見学・交流を行った。期日:平成19年6月17日(日)

場所:長崎県美術館、長崎歴史文化博物館

・新規ギャラリーガイドボランティアの研修

平成18年度に募集した新規ギャラリーガイドボランティアの研修を4月~9月まで実施し、10月から活動に参加している。

1.美術館の概要についての研修

第1回 平成19年4月7日(土)午前10時~12時

内容:(1)館長挨拶と職員紹介(2)福岡市美術館の歴史・設立趣旨(3)ボランティアの基本情報(4)館内施設案内

講師:(2)尾崎直人(3)管理課職員(4)管理課職員、山本香瑞子

第2回 平成19年4月14日(土)午前10時~12時

内容:(1)福岡市美術館におけるボランティアとは?(2)ギャラリーガイドボランティアの役割(3)美術館の役割-展示

講師:(1)(2)鬼本佳代子(3)山口洋三

*講師は、第8回の(2)以外は福岡市美術館職員

第3回 平成19年4月21日(土)午前10時~12時

内容:(1)美術館の役割―調査・研究(2)美術館の役割―保存

講師:(1)渡邊雄二(2)三谷理華

第4回 平成19年4月28日(土)午前10時~12時

内容:(1)美術家の役割--収集(2)福岡市美術館の所蔵品について-現代 美術について

講師:(1)尾崎直人(2)山口洋三

動

第7回 平成19年5月26日(土)午前10時~12時 内容:(1)福岡市美術館の所蔵品について-陶磁器について

(2)福岡市美術館の所蔵品について一彫刻について

講師:(1)尾崎直人(2)後藤 恒

第6回 平成19年5月19日(土)午前10時~12時

第5回 平成19年5月12日午前10時~12時

内容:(1)福岡市美術館の所蔵品について-古美術・絵画について(2)福岡

内容:(1)福岡市美術館の所蔵品について-フランスを中心に近現代美術について(2)福岡市美術館の所蔵品について-日本近代美術について

市美術館の所蔵品について-染織・工芸について

講師:(1)渡邊雄二(2)岩永悦子

講師:(1)三谷理華(2)山本香瑞子

第8回 平成19年6月2日(土)午前10時~12時

内容:(1)美術館の役割-教育普及(2)福岡市美術館の利用者について-利用者の立場から「美術館へ行きたい!~わたしたちのニーズ」

講師:(1)鬼本佳代子(2)松尾さち氏、濱田庄司氏、石田陽介氏(各氏とも ギャラリーコンパメンバー)

*講師は、各回とも鬼本佳代子(福岡市美術館学芸員)

第5回 平成19年7月29日(日)午後1時30分~3時30分 内容:前回割り当てられた古美術作品について、ギャラリートーク形式で 3分間の発表。

第6回 平成19年8月5日(日)午後1時30分~3時30分 内容:発声練習および各人のガイドツアーをデモンストレーションするための準備。

第7回 平成19年9月5日(水)~9日(日) 内容:各々40分のツアーデモンストレーションを行なう。

2.ギャラリーガイドボランティア専門研修

第1回 平成19年6月16日 (土) 午前10時~12時 内容: ガイドデモンストレーション、グループによる作品鑑賞とディスカッション。読書室の使い方を学ぶ。

第2回 平成19年6月23日(土)午後1時30分~3時30分 内容:調べたことをもとにグループでトークの内容をまとめ、その後発表。

第3回 平成19年6月30日(土)午後1時30分~4時 内容:各人に割当られた作品について鑑賞と調査を行なう。

第4回 平成19年7月14日午前10時~12時 内容:前回割り当てられた近現代美術作品について、ギャラリートーク形 式で3分間の発表。

新聞情報ボランティア

平成19年度の登録人数:33人

·活動日

基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及びファイル作業などを行う。

月曜日:毎日新聞、火曜日:読売新聞、水曜日:西日本新聞、木曜日:朝日新聞、土曜日:日本経済新聞

·活動内容

月に2回共同作業日 (原則毎月10日前後と月末の金曜日) を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。平成14年度から始めた、新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる「おすすめ新聞美術記事」を、今年度も月1回ペースで作成した (第57号~第68号)。

平成19年

4月10日(火)共同作業2月分記事ファイル(参加7名)

4月18日(水)水曜班「おすすめ新聞美術記事」第57号作成

4月27日(金)共同作業 訃報記事整理、データチェック(参加6名)

5月10日(木)共同作業 3月分記事チェック、ファイル(参加2名)

5月24日(木)木曜班「おすすめ新聞美術記事」第58号作成

5月28日(月)共同作業 訃報記事4月分整理(参加5名)

6月11日 (月) 共同作業 4月分記事整理、ファイル、過去の記事台紙貼り(参加7名)

6月16日(土)土曜班「おすすめ新聞美術記事」第59号作成

6月29日(金)共同作業 訃報記事整理(参加4名)

7月 9日 (月) 月曜班「おすすめ新聞美術記事」第60号作成

7月10日(火)共同作業 過去の記事チェック、台紙貼り(参加9名)

7月27日(金)共同作業 訃報記事チェック、ファイル(参加6名)

7月31日(火)火曜班「おすすめ新聞美術記事」第61号作成

8月31日(金)共同作業 1983年の記事チェック、台紙貼り(参加2名)

9月10日(月)共同作業 7、8月分記事ファイル、読書室配架(参加6名)

9月19日(水)水曜班「おすすめ新聞美術記事」第62号作成

9月28日(金)共同作業 1983年の記事整理、訃報記事整理(参加6名)

10月10日(火)共同作業 1986年の記事整理(参加7名)

10月25日(木)木曜班「おすすめ新聞美術記事」第63号作成

10月26日(金)共同作業 訃報記事台紙貼り(参加2名)

11月24日(土)土曜班「おすすめ新聞美術記事」第64号作成

11月30日(金)共同作業 訃報記事整理(参加5名)

12月10日(金)共同作業 10、11月分記事整理(参加7名)

月曜班「おすすめ新聞美術記事」第65号作成

12月28日 (金) 共同作業 記事ファイル (参加1名)

平成20年

1月10日(水)共同作業 新年ミーティング(参加5名)

1月25日(金)共同作業 訃報記事チェック、台紙貼り(参加7名)

1月29日(火)火曜班「おすすめ新聞美術記事」第66号作成

2月12日(火)共同作業 2007年12月記事ファイル(参加9名)

2月27日 (水) 水曜班「おすすめ新聞美術記事」第67号作成

2月28日 (木) 共同作業 共同作業日決定ミーティング、2月訃報記事整理(参加10名)

3月10日(月)共同作業 1月記事ファイル、過去の記事ファイル(参加9名)

3月13日(木)木曜班「おすすめ新聞美術記事」第68号作成

3月22日(+)共同作業 2月訃報記事ファイル(参加6名)

ボランティア活

·活動日

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行った。

·活動内容

○目録カード整理作業

- ・目録カードに標目を記載する。
- ・分類変更分の各目録カードに分類番号と図書記号を書き込む。
- 目録カードをコピーする。

○パンフレット資料整理作業

・作家や美術館・博物館に関するパンフレット資料への受付印の押 印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。

○広報誌整理作業

・他機関発行の広報誌を綴じる作業および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

○情報誌整理作業

・タウン情報誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。

○雑誌掲載記事索引ファイルの再作成作業

・ 福岡市美術館の所蔵品、施設に関する雑誌掲載記事索引ファイルを再作成する。

○クリッピングファイル整理

- ・資料内容をファイルに表示する。
- ○紀要·年報類の受入作業
- ・ラベルに該当する機関コードを記入し、資料に添付する。
- ○原簿内容変更作業
- ・原簿の記載内容をチェックし変更する。
- ○掲載作家名パソコン入力
- ・図録に掲載されている作家名をパソコンに入力する。
- ○機関別コードチェック作業
- ・各機関毎に設定しているコードと配架されている図書のコードをチェックする。

美術家情報整理ボランティア

平成19年度の登録人数:12人

·活動日

火曜日~木曜日 各曜日で午前と午後に分かれて作業を行う。また、月に1回共同作業日を設け、展覧会案内ハガキを保存する封筒の整理と大きさの切り替えを行っている。

·活動内容

美術館に郵送されてくるDMを分類し、作家名、展覧会名、会期、会場、その他の情報をデータベースに入力。入力と校正の済んだ ハガキはカード資料室に整理して保管する。また、カード資料室でハガキを収納する封筒の大きさを順次小さいものに変更し、収納スペースの確保をはかっている。平成20(2007)年3月末現在、5,686件のDMデータが入力されている。

出版物

■展覧会図録

名称	規格	頁数	編集·発行
美のこころ 東洋の至宝 出光コレクション	A4変形	168	福岡市美術館編集·発行
大竹伸朗展一路上のニュー宇宙	A4変形	303	福岡市美術館編集·大竹伸朗展実行委員会発行
大応国師七百回忌記念特別展 大応国師と崇福寺	23×23cm	240	福岡市美術館編集・大応国師と崇福寺展実行委員会発行
立花実山三百回忌記念展 南方録と茶の心	A4変形	100	福岡市美術館編集·東林寺発行
掌のほとけ インドシナ半島の塼仏	A4変形	144	福岡市美術館編集·発行
第8回21世紀の作家-福岡 和田千秋「障碍の美術X-祈り」	A4変形	64	福岡市美術館編集·発行
第42回福岡市美術展	A4変形	48	福岡市美術展運営委員会編集·発行

■常設展リーフレット

企画展示室リーフレット

展覧会名	規格 頁数	発行日
結成50周年記念 シリーズ「九州派再訪-2」	A4 6	平成19年10月30日

小 作 品 室リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	発行日
256	「大竹伸朗展―路上のニュー宇宙」関連企画 ウォーホルとホックニー	Α4	4	平成19年7月18日
257	草間弥生展-版画、ドローイング、コラージュ	A4	4	平成19年9月4日
258	日記一野田哲也展	A4	4	平成19年10月30日
259	版画で味わう日本の風景	A4	4	平成20年1月5日
260	加納光於の版画	A4	4	平成20年2月19日
261	シリーズ美術の技法! コラージュ	A4	4	平成20年4月1日

古 美 術リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
178	奈良・平安の美	A4	4	松永記念館室	平成19年5月29日
179	太田コレクション展	A4	4	古美術企画展示室	平成19年5月29日
180	本多コレクション ベトナムの陶磁	A4	4	古美術企画展示室	平成19年7月24日
	立花実山三百回忌記念展 南方録と茶の心	A4	8	古美術企画展示室	平成19年7月18日
181	田中丸コレクション陶器名品展 唐津・八代・小代を中心に	A4	4	古美術企画展示室	平成19年10月23日
182	点前座の世界	A4	4	松永記念館室	平成20年2月19日
183	仙厓展 悟りと笑い	A4	4	古美術企画展示室	平成20年3月4日

■夏休みこども美術館 こどもギャラリー ワークシート

名称	規格	頁数	発行日
夏休みこども美術館2007 こどもギャラリー 見てみよう!ひとのかたち	A4	8	平成19年7月18日



■福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
平成18年度 福岡市美術館活動の記録	A4	50	平成20年3月20日

福岡市美術館活動の記録

■美術館ニュース エスプラナード

No.	発行日	内 容	規格	頁数
147	平成19年4月1日	東洋の至宝 出光コレクション 美のこころ/フランス・ビデオアートの先駆者 ロベール・カエン展/常設展示より 東郷青児と二科会の画家たち/平成19年度福岡市美術館 年間スケジュール/福岡市美術館のコレクション 傷ついた過去を取り戻す「自分探し」のコレクション 西本コレクション/所蔵品紹介No.261 飯銅水紀 江月宗玩/福岡市美術館展覧会スケジュール(4月~6月)/他館展覧会案内/美術館からのお知らせ/編集後記	A4	12
148	平成19年7月1日	大竹伸朗展 路上のニュー宇宙/古美術常設企画展 立花実山 三百回忌記念展 南方録と茶の心/夏休みこども美術館2007 こどもギャラリー「見てみよう!ひとのかたち」/福岡市美術館のコレクション 茶に遊び、美を楽しむ志 松永コレクション/所蔵品紹介 近現代美術No.263 コンポジション 坂田一男/学芸員だより 大竹伸朗展 路上のニュー宇宙 果てしなきニュー宇宙 宇和島訪問記/福岡市美術館展覧会スケジュール 7月一9月/福岡市美術館からのお知らせ/編集後記	A4	12
149	平成19年10月1日	大応国師七百回忌記念特別展 大応国師と崇福寺/夏休みこども美術館2007こどもワークショップ あなたのかたち/わたしのかたち 体からかたちを見つけて描こう!/常設展示より 結成50周年記念<シリーズ>九州派再訪2/福岡市美術館のコレクション 美術館によみがえった九州仏像の殿堂 東光院仏教美術資料/所蔵品紹介 古美術No.264 幾何学文様経緯絣更紗/学芸員だより秋の夜長に・・・画家たちの詞花/福岡市美術館展覧会スケジュール10月-12月/福岡市美術館からのお知らせ/編集後記	A4	12
150	平成20年1月1日	安宅コレクション 美の求道者・安宅英一の眼/第8回21世紀の作家一福岡 和田千秋「障碍の美術X-祈り」/てのひらのほとけインドシナ半島の塼仏/所蔵品紹介 近現代美術No.265 春昼 片多徳郎/学芸員だより 新人さん、いらっしゃ~い!/福岡市美術館展覧会スケジュール 1月-3月/他館の展覧会案内/福岡市美術館からのお知らせ/編集後記	A4	12









エスプラナード147~150号▶

フランスにおけるラファエル・コラン資料調査

調査期間: 平成19年8月26日~9月12日、平成20年2月20日~3月6日

本調査は、メトロポリタン東洋美術研究センター、ならびに村田学術振興財団の助成の下に行われた。ラファエル・コランに関し、 フランス国立図書館、フランス国立公文書館、フォントネー=オ=ローズ市公文書室および個人方において、資料調査等を行った。 この画家については、資料を一括で保存している機関は無く、複数の機関を辛抱強く当たるしかない。今回の調査では、それぞ れの調査先から少しずつではあるが有効な資料を発見することができ、未だ不明な点の多いこの画家を知る上で、極めて有意 義なものであった。

冨田溪仙《神庫》の調査

山本 香瑞子

調査期間:平成19年9月21日~24日

調査先:ジョルジュ・ポンピドゥー・センター 国立近代美術館(作品調査)・フランス国立美術史研究所(資料調査)

冨田溪仙の《神庫》(1926年、絹本着色)は、駐日フランス大使で詩人・劇作家であったポール・クローデルの依頼により、パリ のリュクサンブール美術館に寄贈された溪仙の代表作である。にもかかわらず《神庫》は日本で展示されたことがないばかりか、 入手出来る図版もすべてモノクロ画像のみで極端に情報が少ない。今回の調査では、作品を実見して色彩や筆勢などを確認 し、現在の所蔵先に至るまでの来歴に関する情報を収集した。来歴に関しては、ジュ・ド・ポム美術館旧蔵作品のリストに《神庫》 が入っていることを確認した。正確な移管の年代などは分からないものの、リュクサンブール美術館の分館で外国人現存作家を 収蔵していたジュ・ド・ポム美術館の所蔵品として、同館の閉館以降にポンピドゥー・センター国立近代美術館に移管されたもの と推測される。

パリでの調査にあたってはポンピドゥー・センターの所蔵品担当学芸員のフロランス・トゥルネー氏、資料担当学芸員のシルヴィ ア・ロラン氏のお世話になった。また、山地治世氏には、通訳のほか、資料調査にあたってのご指導、ご助言などひとかたならぬ お世話になった。ここに記して感謝いたします。

三菱財団研究助成事業 水墨画の国境-東アジアにおける雪舟-

渡邊 雄二

調査期間:平成19年度

東アジアの水墨画制作のなかに雪舟を置いてみる本研究については、まず、中国にたいして日本と近い位置となる韓国(高 麗・朝鮮)について検討した。それによってこれまで日本の水墨画の背景には語られなかった中国を中心とした東アジアの国家 の絵画観が見出された。すなわち高麗末期より科挙制度の導入により士大夫層、いわば文官の地位が上がり、儒教の盛行を見 る。かれら文人士大夫らは余技としての絵画制作や鑑賞にいそしんだが、自らがそれに耽溺するのを戒めるなど、絵画を支える 背景やその意味について文人士大夫層の考え方が重要であることがわかった。

この士大夫文化による作画の代表作例が天理図書館所蔵の「夢遊桃源図」であろう。今回の研究では、「夢遊桃源図」に跋を 書いた士大夫の詩文集を複写し、検討した。その一人申叔舟は日本では「海東諸国記」の作者としてのみ、よく知られるが、朝 鮮王朝の高官で国の要職を務めながら、儒学、詩文、そして史書に通じ、士大夫を代表的する人物である。

今回の研究の成果としては、日本においてはほとんど手に入れることが出来ない図書・文献を入手することが出来、今後の研 究の資となった。また、韓国絵画史研究者の考え方、意識を知り、絵画研究に儒学や詩文など文芸、それに歴史書などの知識 が必要であることを知った。

そして、雪舟の絵画制作の背景に儒学的な理想を見出すことによって、雪舟画の新しい解釈が導かれるかもしれない。さらに 雪舟が中国に学ぶといいながら、当時の明代の絵画との共通点が少なく、独自であることは、韓国の安堅の画風が宋代の画家 郭熙の画風といいながら、やはり中国画とは離れていることと通じるかもしれない。この中国画とのズレは同じ水墨画の文化圏 でありながら、韓国と日本において別の形で起こっており、水墨画の中国からの派生の中で、それぞれの国によって表現が異な ることも認識することが出来た。



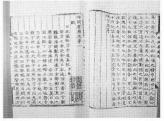
▲湖巌美術館



▲国立中央博物館



▲安堅記念館



▲申叔舟詩文集

美術資料

■美術資料収集件数一覧

近現代美術			古美術			
購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	総計
13件	0件	13件	6件	261件	267件	280件

■近現代美術

州	

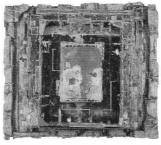
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材·技法	備品受入番号
1-A-552	森山安英	光の表面としての銀色93-38	1993	194.3×130.2	油彩·画布	41901506

日本作家 油彩等

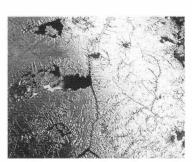
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-A-149	大竹伸朗	WEB	1990-91	263.0×296.0×43.0	素材・技法 油彩、油性ニス、プラスティック、	41901505
					プラスティックパテ、布テープ、印刷物、写真、石	
					膏、ウレタン、鉄、真鍮、麻布、綿布、綿糸、木材	

日本作家 写真

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材·技法	備品受入番号
2-F-434	伊奈英次	In Tokyo 大井町	1981-92	34.5×43.6	ゼラチンシルバープリント・紙	41901483
2-F-436	伊奈英次	In Tokyo 六本木	1984-92	35.5×43.6	ゼラチンシルバープリント・紙	41901482
2-F-438	伊奈英次	In Tokyo 大手町	1984-92	34.5×43.6	ゼラチンシルバープリント・紙	41901481
2-F-440	伊奈英次	ZONE 在日米海軍楚辺通信所	1987-2005	79.5×99.5	クリスタルプリント・紙	41901476
		沖縄県読谷村				
2-F-442	伊奈英次	ZONE 在日米空軍三沢基地姉沼通信所	1987-2005	79.5×99.5	クリスタルプリント・紙	41901480
		青森県三沢市				
2-F-444	伊奈英次	WASTE 廃油の膜、長野県	1997-2002	99.5×124.5	タイプCプリント・紙	41901485
2-F-445	伊奈英次	WASTE 砕かれたハードディスク、長野県	1997-2002	99.5×124.5	タイプCプリント・紙	41901479
2-F-446	伊奈英次	WASTE 廃パソコンの部品、長野県	1997-2002	79.5×99.5	タイプCプリント・紙	41901484
2-F-447	伊奈英次	WASTE 廃パソコンのCPU、千葉県	2000-02	79.6×99.8	タイプCプリント・紙	41901478
2-F-448	伊奈英次	WASTE 破砕された小型スピーカー、千葉県	2000-02	79.5×99.5	タイプCプリント・紙	41901477
2-F-449	伊奈英次	WASTE 細かく裁断されたクレジットカード、埼玉県	2000-02	79.4×99.5	タイプCプリント・紙	41901486



▲大竹伸朗《WEB》1990-91年



▲伊奈英次 《WASTE 廃油の膜、長野県》1997-2002年

購入

一般古美術資料 陶磁器

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-Ha-148	茂山御本茶碗	釜山窯(和館窯)	江戸時代前期	高さ8.8 口径13.1 高台径5.5	陶器	41901492
14-Ha-149	掛分割高台洲浜形茶碗(王印)	高取焼(内ヶ磯窯)	江戸時代初期	高さ7.6 最大径14.8 高台径6.4	陶器	41901491
14-Ha-150	褐釉阿古陀形耳付水指	高取焼(内ヶ磯窯)	江戸時代初期	高さ18.8 底径17.3胴径19.7	陶器	41901493
14-Ha-151	藁灰釉片口	高取焼(内ヶ磯窯)	江戸時代初期	高さ11.3最大幅26.0高台径9.7	陶器	41901489
14-Ha-152	藁灰釉木の葉形向付	高取焼(白旗山窯)	江戸時代前期	最大幅16.5 高さ5.9	陶器	41901494
14-Ha-153	肩衝茶入 銘 藤浪	八代焼	江戸時代前期	高さ8.0 胴径5.2 底径4.2	陶器	41901490

寄贈

一般古美術資料 漆工

所蔵品番号	作品名	制作年	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-Hb-48	芝山象嵌 九貢象唐子文屏風	幕末-明治時代	縦180.5 横182.8 厚さ4.3	木、象牙、貝、貴石ほか	41917157

一般古美術資料 染織

所蔵品番号	作品名	制作年	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-Hd-294	水辺風景文袱紗	江戸時代	86.0×68.0	絹・刺繍	41917155

森田コレクション 彫刻

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量 (cm)	品質	備品受入番号
20-G-1	石造菩薩像龕	パキスタン	3世紀	高さ48.7	石	41914952
20-G-2	石造 苦行像頭部	ガンダーラ地方		縦5.0 横3.0 奥4.3	石	41914962
20-G-3	ストゥッコ 人物形頭部	ガンダーラ地方		縦4.6 横5.2 奥5.2	漆喰	41914930
20-G-4	ストゥッコ 馬頭部	ガンダーラ地方	3-5世紀	縦8.7 横4.3 奥4.3	漆喰	41914949
20-G-5	ストゥッコ 獅子頭部	ガンダーラ地方	3-5世紀	縦5.1 横4.6 奥5.8	漆喰	41914951
20-G-6	ストゥッコ 獣形断片	ガンダーラ地方		縦5.8 横6.7	漆喰	41914975
20-G-7	銅板押出 仏陀坐像	ガンダーラ地方		縦11.4 横8.9	銅板押出	41914950
20-G-8	石造千体仏断片	中国	北魏時代	総高20.7 最大幅25.0 厚さ3.0	石	41914922
20-G-9	石造光背仏断片	中国	北斉時代	総高21.5 最大幅24.0 仏像高さ8.0	石	41914969
20-G-10	石造リンテル (中央部分断片)	カンボジア	11-12世紀	高さ55.0 最大幅48.5	石	41914953
20-G-11	石造アプサラ像頭部	カンボジア	12世紀	高さ27.0 最大幅15.3	石	41914955
20-G-12	石造アプサラ像頭部	カンボジア	12世紀	高さ24.0 最大幅13.4	石	41914977
20-G-13	金銅如来坐像	タイ スコタイ様式	14-15世紀	総高81.3 像高57.0 膝張り36.3 最大幅46.6	鋳銅製	41914976

森田コレクション 陶磁器

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量 (cm)	品質	備品受入番号
20-Ha-1	彩陶魚文大鉢	パキスタン	B.C.2500頃	高さ21.7 口径28.2 底径12.8	土器	41914838
20-Ha-2	彩文土器碗		インダス文明	高さ5.9 口径10.6 高台径4.2	土器	41914787
20-Ha-3	彩文土器碗		インダス文明	高さ7.2 口径11.7 高台径4.9	土器	41914835
20-Ha-4	彩文土器碗		インダス文明	高さ7.4 口径9.9 高台径4.2	土器	41914837
20-Ha-5	彩文土器碗		インダス文明	高さ6.1 口径9.3 高台径3.5	土器	41914849
20-Ha-6	彩文土器壷		インダス文明	高さ5.1 口径5.4 胴径7.2 底径6.5	土器	41915015
20-Ha-7	土偶		インダス文明B.C.4000頃	高さ4.4-11.6	±	41914840
20-Ha-8	彫像各種(人物形8点)		インダス文明	高さ5.2-18.4	±	41915009
20-Ha-9	土製 コブ牛		インダス文明	長さ8.9-10.3	土	41914986
20-Ha-10	土製 コブ牛(2頭組)		インダス文明	高さ6.2 幅8.6 奥8.7	±	41914813
20-Ha-11	馬車		インダス文明	高さ5.7 幅7.8 奥8.5	土	41914988
20-Ha-12	土製 動物		インダス文明	長さ7.7-15.7	±	41914888
20-Ha-13	人面文壺形土器	パキスタン	B.C.1000頃	高さ32.5 口径22.5 胴径20.5 底径7.2	土器	41915013
20-Ha-14	黒陶壷	ペルシャ地方		高さ18.5 口径6.4 胴径12.5 底径5.7	土器	41915012
20-Ha-15	把手付印花文壺	ペルシャ地方		高さ16.5 口径7.4 胴径14.8 底径5.6	土器	41915034
20-Ha-16	把手付刻花幾何学文瓶	ペルシャ地方		高さ18.1 口径8.6 胴径12.2 高台径7.3	土器	41914992
20-Ha-17	幾何学文碗	ペルシャ地方		高さ9.6 口径21.3 底径9.7	土器	41914991

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量 (cm)	品質	備品受入番号
20-Ha-18	青釉花文碗	ペルシャ地方		高さ5.8 口径15.6 底径6.5	土器	41914980
20-Ha-19	彩陶鉢	中国	B.C.3100-B.C.2700	口径31.5 高さ12.5	土器	41914996
20-Ha-20	灰釉壺	中国	新石器時代	高さ37.7 口径27.7 底径18.0	土器	41914997
20-Ha-21	箕形土器	中国	B.C.3200-B.C.2600	長さ12.5 幅11.7	土器	41914826
20-Ha-22	黒陶有蓋壺	中国	B.C.3000-B.C.2400	総高13.0 最大径12.3 胴径10.0 底径5.4	土器	41914874
20-Ha-23	灰陶幾何文双耳壺	中国	新石器時代	高さ13.2 胴径15.2 口径8.5 底径7.0	土器	41915014
20-Ha-24	彩陶壺	中国	B.C.2600-B.C.2300	高さ16.8 胴径17.6 口径7.8 底径6.2	土器	41914990
20-Ha-25	彩陶双耳壺	中国	新石器時代	高さ41.2 口径15.0 胴径38.5 底径10.0	土器	41914852
20-Ha-26	彩陶双耳壺	中国	B.C.2200-B.C.2000	高さ12.0 胴径16.5 口径9.0 底径7.0	土器	41914853
20-Ha-27	彩陶双耳壺	中国	B.C.2200-B.C.2000	高さ39.3 胴径40.0 口径16.9 底径13.7	土器	41914854
20-Ha-28	灰釉耳付小壺	中国	新石器時代	高さ10.5 最大径11.5 底径6.1	土器	41914855
20-Ha-29	紅陶尖底双耳壺	中国	B.C.4800-B.C.4000	高さ49.0 胴径28.0 口径13.8	土器	41914865
20-Ha-30	紅陶鬹	中国	B.C.2500-B.C.1500	高さ12.4 口径8.2	土器	41914857
20-Ha-31	黒陶鬲	中国	B.C.3200-B.C.2600	高さ14.0 口径12.8	土器	41914989
20-Ha-32	紅陶鬲	中国	B.C.2000-B.C.1500	高さ11.1 口径11.0	土器	41914979
20-Ha-33	紅陶鬲	中国	新石器時代	高さ13.3 口径10.3 胴径12.8	土器	41914999
20-Ha-34	黒陶鬲	中国	新石器時代	高さ14.7 口径9.0 胴径11.4	土器	41914846
20-Ha-35	黒陶鬲	中国	B.C.2000-B.C.1500	高さ12.2 口径9.7 胴径11.3	土器	41915000
20-Ha-36	土器鬲	中国	新石器時代	高さ11.8 口径5.8 最大径11.0	土器	41914845
20-Ha-37	紅陶丰	中国	B.C.2500-B.C.1500	高さ32.0 最大幅17.5	土器	41914844
20-Ha-38	土器双耳壺	中国	新石器時代	高さ47.9 口径24.5 胴径35.0 底径15.0 最大幅39.5	土器	41914896
20-Ha-39	白陶鬹	中国	B.C.2500-B.C.1500	高さ25.2 口径9.3 最大径13.0	土器	41914834
20-Ha-40	彩陶双耳壺	中国	新石器時代	高さ37.0 口径15.8 胴径29.5 底径9.0 最大幅34.5	土器	41914937
20-Ha-41	紅陶双耳壺	中国	B.C.2300-B.C.1800	高さ12.0 口径7.4 胴径8.3 底径3.9	土器	41914824
20-Ha-42	灰陶鬲	中国	B.C.2000-B.C.1500	高さ14.9 口径10.5	土器	41914811
20-Ha-43	灰陶鬲	中国	B.C.2000-B.C.1500	高さ20.8 口径10.8	土器	41914856
20-Ha-44	黒陶透文豆	中国	B.C.4000-B.C.2500	高さ13.4 口径13.8 高台径9.8	土器	41914872
20-Ha-45	紅陶觚	中国	B.C.2200-B.C.1200	高さ26.0 口径10.3 底径8.5	土器	41914904
20-Ha-46	灰陶鬲	中国	B.C.2000-B.C.1500	高さ26.8 口径18.3	土器	41914914
20-Ha-47	紅陶双耳壺	中国	B.C.2000-B.C.1500	高さ24.5 胴径14.8 底径5.8	土器	41914898
20-Ha-48	紅陶双耳壺	中国	B.C.2000-B.C.1500	高さ23.8 胴径26.5 口径22.5 底径9.5	土器	41914906
20-Ha-49	黒陶	中国	戦国時代·B.C.5-B.C.3世紀	総高18.1 口径22.5 高台径10.8	陶磁器	41914950
20-Ha-50	灰釉叩き網目文壺	中国	戦国時代	高さ38.5 胴径47.0 口径18.4 底径20.8	陶磁器	41914859
20-Ha-51	印文陶壺	中国	戦国時代	高さ11.0 口径11.8 胴径17.5 底径13.5	陶磁器	41914860
20-Ha-52	灰釉刻花文鎮 2口	中国	戦国時代	高さ7.3 底径7.8	陶磁器	41914861
20-Ha-53	灰陶印文壺	中国	戦国時代	高さ31.8 胴径25.5 口径13.5 底径12.5	陶磁器	41914862
20-Ha-54	貯蔵容器俑	中国	戦国時代	高さ15.4 長さ17.5 奥行き9.2	陶磁器	41914863
20-Ha-55	黒陶双耳壺	中国	前漢時代	高さ22.5 最大径23.3 底径9.4	陶磁器	41914864
20-Ha-56	黒陶手付杯	中国	漢時代	高さ11.4 口径11.5 底径5.9	陶磁器	41914839
20-Ha-57	灰釉鼎	中国	前漢時代·B.C.2世紀	総高18.3 最大幅20.3	陶磁器	41914913
20-Ha-58	灰釉透文香炉	中国	漢時代	口径12.3 総高16.0 最大径14.9	陶磁器	41914796
20-Ha-59	灰釉双耳壺	中国	前漢時代	高さ29.0 口径8.2 胴径30.0 底径17.0	陶磁器	41914900
20-Ha-60	灰釉双耳長頚壺	中国	前漢時代	高さ29.5 口径10.6	陶磁器	41914901
20-Ha-61	灰釉双耳長頚壺	中国	前漢時代	高さ40.0 口径14.0 胴径38.7 高台径15.8	陶磁器	41914797
20-Ha-62	灰釉蓋付双耳壺	中国	前漢末-後漢初期	総高21.7 身高20.0 胴径25.5	陶磁器	41914798
20-Ha-63	陶製 男子座像俑	中国	漢時代	高さ24.2 底径11.0	陶磁器	41914799
20-Ha-64	家形俑	中国	漢時代	高さ28.0 長さ42.5 奥行き27.0	陶磁器	41914819
20-Ha-65	豚舎形俑	中国	漢時代	高さ20.0 長さ33.0 奥行き22.5	陶磁器	41914810

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量 (cm)	品質	備品受入番号
20-Ha-66	家形俑	中国	漢時代	高さ20.6 長さ18.5 奥行き12.5	陶磁器	41914836
20-Ha-67	緑釉望楼俑	中国	後漢時代	高さ66.5 (盤)口径43.5	陶磁器	41914885
20-Ha-68	緑釉倉形俑	中国	後漢時代	高さ53.3 最大幅43.3 奥行き24.0	陶磁器	41914909
20-Ha-69	獣形俑(犬)	中国	漢時代	長さ30.9 高さ19.3 幅8.8	陶磁器	41914879
20-Ha-70	獣形俑(豚)	中国	漢時代	長さ27.5 高さ15.6 幅9.9	陶磁器	41914911
20-Ha-71	獣形俑(鴨)	中国	漢時代	長さ22.1 高さ15.4 幅10.7	陶磁器	41914912
20-Ha-72	獣形俑(鶏)	中国	漢時代	長さ15.5 高さ14.3 胴径11.3	陶磁器	41914890
20-Ha-73	獣形俑(鶏)	中国	漢時代	長さ12.8 高さ11.9 幅5.7	陶磁器	41914907
20-Ha-74	獣形俑(獅子)	中国	漢時代	高さ11.2 底径6.7	陶磁器	41914905
20-Ha-75	青磁印文壺	中国	後漢時代·1-3世紀	高さ28.0 胴径24.0 口径20.9 底径15.3	陶磁器	41914883
20-Ha-76	灰釉長頸壺	中国	漢時代	高さ18.5 胴径12.7 高台径9.0	陶磁器	41914908
20-Ha-77	緑釉獣環鐘	中国	後漢時代	高さ34.5 口径13.5 胴径27.5 底径14.7	陶磁器	41914858
20-Ha-78	緑釉獣環鐘	中国	後漢時代	高さ41.0 口径19.8 胴径30.8	陶磁器	41914880
20-Ha-79	緑釉博山温酒尊	中国	後漢時代	総高29.0 身高18.0 径24.0	陶磁器	41914910
20-Ha-80	緑釉 形壺	中国	後漢時代·1-3世紀	高さ24.8 最大径18.3	陶磁器	41914786
20-Ha-81	緑釉母子座像形燭台	中国	後漢時代	高さ21.9 底径10.5	陶磁器	41914802
20-Ha-82	緑釉耳杯 2口	中国	後漢時代	長径10.4 短径8.0 高さ3.7 底径5.9	陶磁器	41914894
20-Ha-83	灰陶ペガサス文揺銭樹台	中国	後漢時代	総高39.5 底径24.8	陶磁器	41914812
20-Ha-84	加彩蛋形壺	中国	後漢時代	高さ25.5 口径9.2 最大径27.0 底径9.2	陶磁器	41914884
20-Ha-85	青磁高脚鳥紐香炉	中国	漢-西晋時代	総高11.0 口径11.4 底径4.9	陶磁器	41915006
20-Ha-86	青磁神亭壺	中国	三国-西晋時代・3世紀	高さ47.5 胴径26.3 底径14.9	陶磁器	41915024
20-Ha-87	灰釉子持瓢形瓶	中国	三国-晋時代·3世紀	高さ24.5 胴径18.2 底径11.8	陶磁器	41915025
20-Ha-88	青磁盤	中国	晋時代·3-4世紀	高さ7.9 口径31.5	陶磁器	41915004
20-Ha-89	青磁印花带文盤口四耳壺	中国	西晋時代	高さ14.5 胴径16.3 口径10.0 底径10.7	陶磁器	41914929
20-Ha-90	青磁盤口四耳壺	中国	東晋時代·4世紀	高さ32.4 口径17.1	陶磁器	41914932
20-Ha-91	青磁鉄斑文龍頭把手鉢	中国	東晋時代·4世紀	高さ6.6 口径16.6 底径10.8	陶磁器	41914933
20-Ha-92	青磁天鶏壺	中国	東晋時代	高さ24.9 胴径20.8 口径11.0 底径11.8	陶磁器	41914934
20-Ha-93	陶製 武人俑	中国	北魏時代	高さ21.0	陶磁器	41914935
20-Ha-94	青磁天鶏壺	中国	南朝時代	高さ28.1 胴径16.6 口径9.9 底径13.2	陶磁器	41914936
20-Ha-95	青磁蓋付四耳壺	中国	南朝時代	総高16.0 高さ14.1 胴径17.1 口径7.5 底径11.8	陶磁器	41915016
20-Ha-96	青磁盤口唾壺	中国	六朝時代	高さ14.4 胴径16.8 口径10.8 底径12.8	陶磁器	41915020
20-Ha-97	青磁蓮華文灯明皿	中国	六朝時代	高さ10.6 最大径7.9 底径4.5	陶磁器	41915011
20-Ha-98	青磁四管挿器	中国	六朝(南朝)時代	高さ7.8 底径6.1	陶磁器	41915018
20-Ha-99	青磁碗	中国	六朝時代	口径10.2 高さ7.0 底径5.1	陶磁器	41915026
20-Ha-100	素焼水瓶	中国	北斉時代	高さ25.5 胴径16.1 口径6.5 高台径8.6	陶磁器	41914944
20-Ha-101	陶製 文官俑	中国	北斉時代	高さ26.8	陶磁器	41915023
20-Ha-102	陶製 文官俑	中国	北斉時代	高さ26.9	陶磁器	41915036
20-Ha-103	青磁貼花文四耳壺	中国	隋時代·6-7世紀	高さ21.0 口径10.2 胴径21.5 底径10.0	陶磁器	41914800
20-Ha-104	白磁四耳壺	中国	隋時代・7世紀	高さ19.6 胴径17.5 口径8.0 底径8.0	陶磁器	41914814
20-Ha-105	三彩貼花文耳付小壺	中国	唐時代・8世紀	高さ5.0 胴径3.8 底径1.9	陶磁器	41914848
20-Ha-106	三彩蓮葉雲雁文三足盤	中国	唐時代・8世紀	口径28.6 高さ6.3	陶磁器	41914815
20-Ha-107	三彩駱駝俑	中国	唐時代	高さ40.2	陶磁器	41914816
	三彩鎮墓獣	中国	唐時代	高さ67.0	陶磁器	41914795
	彩陶天部形俑	中国	唐時代	高さ62.8	陶磁器	41914792
	青磁広口壺	中国	唐時代	高さ9.5 胴径13.5 口径14.1 底径11.3	陶磁器	41914809
	白釉緑釉流し瓜形手付水注	中国	唐時代	高さ10.8 胴径12.5 底径7.5	陶磁器	41914788
	白釉緑彩水注	中国	唐時代	高さ8.8 口径9.0 底径6.6	陶磁器	41914789
	白釉万年壺	中国	唐時代	高さ18.0 口径14.2 胴径22.0	陶磁器	41914790

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量(cm)	品質	備品受入番号
20-Ha-114	白釉盤口瓶 (唾壺)	中国	唐時代・7世紀	高さ15.4 口径9.3 胴径14.0 高台径11.0	陶磁器	41914791
20-Ha-115	風字瓦硯	中国	唐時代	長さ13.4 最大幅9.4 高さ3.4	陶磁器	41914801
20-Ha-116	黒褐釉唾壺	中国	唐時代	口径16.3 高さ11.9 底径7.3	陶磁器	41914793
20-Ha-117	白磁碗	中国	唐時代	口径15.0 高さ5.0 高台径6.8	陶磁器	41914842
20-Ha-118	絞胎刻花文合子	中国	唐時代	径12.8 高さ4.4	陶磁器	41914808
20-Ha-119	陶製俑·十二生肖像(十二支) 7躯	中国	唐時代	高さ20~21	陶磁器	41914794
20-Ha-120	小像 3種	中国	唐時代	高さ(亀4.5 鳥3.6 人5.0)	陶磁器	41914887
20-Ha-121	白釉面取合子	中国	唐時代	高さ3.9 径5.5 底径3.1	陶磁器	41914897
20-Ha-122	青磁鉄絵丸文耳付壺	中国	唐-五代時代	高さ19.1 口径9.2 胴径13.5 底径7.2	陶磁器	41914889
20-Ha-123	茶葉末釉瓜形水注	中国	五代時代·10世紀	高さ24.6 胴径15.8 口径9.7 底径7.1	陶磁器	41914882
20-Ha-124	白磁壺 2口	中国	五代-北宋時代	高さ(大壺5.5 小壺3.8)	陶磁器	41914891
20-Ha-125	白磁瓶	中国	宋時代	高さ6.4	陶磁器	41914892
20-Ha-126	白釉黒彩碗	中国	五代-北宋時代	口径13.4 高さ3.8 高台径5.2	陶磁器	41914893
20-Ha-127	黒釉白堆文双耳壺	中国	北宋-金時代·12世紀	高さ19.3 口径16.8 胴径21.8 高台径11.0	陶磁器	41914817
20-Ha-128	白釉劃花蓮華文鉢	中国	宋-金時代·11-12世紀	高さ9.8 口径21.7 高台径7.1	陶磁器	41914895
20-Ha-129	白釉鉢	中国	宋時代	高さ8.5 口径14.3 高台径6.7	陶磁器	41914886
20-Ha-130	白釉瓜形広口壺	中国	北宋時代	高さ7.5 口径10.2 高台径5.7	陶磁器	41914899
20-Ha-131	白釉水注	中国	北宋時代·11-12世紀	高さ31.8 胴径18.3 口径10.0 高台径7.8	陶磁器	41914851
20-Ha-132	青白磁獅子紐水注·承盤	中国	北宋時代·11世紀	総高24.2 水注高16.4 胴径7.8 高台径8.0	陶磁器	41914803
20-Ha-133	青白磁瓜形水注	中国	北宋時代·11世紀末-12世紀初	高さ25.0 胴径12.5 底径7.4	陶磁器	41914804
20-Ha-134	青白磁輪花小皿 5枚	中国	北宋時代·11-12世紀	高さ1.7 口径8.8 底径3.5	陶磁器	41914805
20-Ha-135	青白磁稜花皿	中国	北宋時代·11-12世紀	高さ1.6 口径10.0 底径4.0	陶磁器	41914806
20-Ha-136	青白磁菊花形小皿	中国	宋時代	高さ1.2 口径7.7 底径5.4	陶磁器	41914807
20-Ha-137	青白磁南瓜形水滴	中国	北宋時代	高さ4.1 径6.3 底径5.0	陶磁器	41914847
20-Ha-138	青白磁輪花碗 承盤付	中国	北宋時代	口径10.7 高さ4.5 高台径3.3	陶磁器	41915007
20-Ha-139	白磁鉢	中国	宋時代	口径22.0 高さ10.5 底径8.2	陶磁器	41915010
20-Ha-140	青磁印花花文鉢	中国	北宋-金時代·12世紀	高さ4.3 口径17.2 高台径4.9	陶磁器	41914995
20-Ha-141	青磁碗	中国	北宋時代·11世紀	高さ4.8 口径13.3 高台径3.8	陶磁器	41914942
20-Ha-142	青磁碗	中国	北宋時代	高さ5.2 口径11.5 高台径2.9	陶磁器	41915005
20-Ha-143	青磁碗	中国	北宋時代	高さ4.9 口径11.1 高台径3.3	陶磁器	41915021
20-Ha-144	青磁印花牡丹唐草文鉢	中国	北宋時代·12世紀	口径21.1 高さ8.5 高台径6.0	陶磁器	41914963
20-Ha-145	青磁印花牡丹唐草文小碗	中国	北宋時代·12世紀	口径11.1 高さ5.0 高台径3.0	陶磁器	41914972
20-Ha-146	月白釉蓋付鉢	中国	金時代・12世紀	総高11.4 口径12.8 高さ7.8 高台径5.7	陶磁器	41914970
20-Ha-147	青磁刻花牡丹文鉢	中国	金時代	口径19.7 高さ6.9 高台径5.9	陶磁器	41914920
20-Ha-148	青磁刻花蓮華文多嘴壺	中国	北宋-南宋時代·12世紀	高さ22.6 胴径14.4 口径7.5 高台径9.2	陶磁器	41914974
20-Ha-149	三彩鉢	中国	遼時代	高さ13.4 口径16.7 高台径8.7	陶磁器	41914945
20-Ha-150	黄褐釉唾壺	中国	遼時代·11世紀	高さ11.2 口径17.4 高台径6.0	陶磁器	41914785
20-Ha-151	黄褐釉鶏環皮嚢壺	中国	遼時代·11世紀	高さ11.2 口径17.4 高台径6.0	陶磁器	41914940
20-Ha-152	三彩印花牡丹蝶文長盤	中国	遼時代·11世紀後半	長径26.6 短径16.2 高さ2.2	陶磁器	41914931
20-Ha-153	三彩池に蓮台文長盤	中国	遼時代·11世紀後半	長径26.2 短径14.9 高さ2.4	陶磁器	41914919
20-Ha-154	青磁手付水注·蓋付	中国	北宋時代	高さ15.4 胴径12.4 口径7.5 高台径7.1	陶磁器	41914918
20-Ha-155	白釉瓶	中国	宋-金時代・12世紀	高さ19.4 胴径7.5 口径4.2 高台径5.5	陶磁器	41914917
20-Ha-156	影青刻花蓮華文輪花鉢	中国	宋時代	高さ7.7 口径19.2 高台径5.8	陶磁器	41915002
20-Ha-157	影青刻花蓮華文鉢	中国	宋時代	高さ6.1 口径17.3 高台径5.4	陶磁器	41914841
20-Ha-158	白磁刻花花文輪花皿	中国	宋時代	高さ4.3 口径17.2 高台径4.9	陶磁器	41914921
20-Ha-159	青白磁印花陽刻月に梅花文碗	中国	宋時代	高さ5.4 口径14.0 底径2.1	陶磁器	41914938
20-Ha-160	青白磁刻花花文輪花鉢	中国	宋時代	高さ4.2 口径17.5 高台径5.0	陶磁器	41914971
20-Ha-161	白磁小碗	中国	宋時代	高さ4.0 口径8.5 高台径3.5	陶磁器	41914943

所蔵品番号 作品名	産地	制作年	法量(cm)	品質	備品受入番号
20-Ha-162 青白磁刻花文鉢	中国	宋時代	口径19.8 高さ5.8 高台径5.5	陶磁器	41914941
20-Ha-163 影青鎬文蓋付小壺	中国	宋時代	高さ9.6 総高10.7	陶磁器	41914973
20-Ha-164 青磁刻花牡丹文筒鉢	中国	宋時代	高さ15.1 径17.8 高台径11.1	陶磁器	41915022
20-Ha-165 青白磁蓋付碗	中国	宋時代	総高8.2 高さ6.4 口径7.3 高台径4.6	陶磁器	41914821
20-Ha-166 青白磁刻花文深鉢	中国	宋時代	口径16.2 高さ15.4 高台径14.8 最大径18.7	陶磁器	41915031
20-Ha-167 黒釉鉄絵花文鉢	中国	宋時代	高さ7.4 口径20.1 高台径6.8	陶磁器	41915030
20-Ha-168 黒釉褐彩梅花文碗	中国	南宋時代·12-13世紀	高さ5.3 口径14.3 高台径3.5	陶磁器	41915029
20-Ha-169 白磁唐草文合子	中国	南宋時代	高さ5.5 口径12.5 底径9.5	陶磁器	41915003
20-Ha-170 青磁刻花蓮弁文蓋付壺	中国	南宋時代	総高24.9 身高19.0 胴径11.5 口径5.5 高台径6.3	陶磁器	41915042
20-Ha-171 青磁刻花櫛目文碗(珠光青磁)	中国	南宋時代	高さ6.0 口径15.2 高台径5.1	陶磁器	41914993
20-Ha-172 青磁刻花櫛目文碗	中国	南宋時代	高さ6.3 口径13.9 高台径4.9	陶磁器	41915017
20-Ha-173 青磁刻花蓮弁文碗	中国	南宋時代	口径10.3 高さ4.2 高台径2.9	陶磁器	41915028
20-Ha-174 青白印花蓮華文菊花形合子	中国	南宋時代・12世紀	高さ3.4 径6.8 底径4.9	陶磁器	41914998
20-Ha-175 玳玻天目	中国	南宋時代・12-13世紀	口径11.7 高さ6.0 高台径3.9	陶磁器	41914985
20-Ha-176 禾目天目	中国	南宋時代・12-13世紀	口径12.8 高さ4.5 高台径3.8	陶磁器	41915001
20-Ha-177 三彩刻花花文耳付壺	中国	金時代·12世紀	高さ14.5 胴径17.8 口径11.4 高台径8.5	陶磁器	41914981
20-Ha-178 三彩刻花花文鉢	中国	金時代·12-13世紀	口径12.6 高さ4.3 高台径6.2	陶磁器	41914982
20-Ha-179 澱青釉鉢	中国	金-元時代	高さ8.4 口径20.5 高台径5.8	陶磁器	41914983
20-Ha-180 白地鉄絵牡丹文枕	中国	金時代・12-13世紀	最大径28.8 高さ12.0	陶磁器	41914984
20-Ha-181 白地鉄絵牡丹文枕	中国	金時代・12-13世紀	最大径22.7 高さ11.3	陶磁器	41915033
20-Ha-182 白釉線刻波文枕	中国	金時代・12-13世紀	最大径26.1 高さ11.4	陶磁器	41915041
20-Ha-183 緑釉牡丹文枕	中国	金時代・12-13世紀	最大径30.0 高さ10.1	陶磁器	41914994
20-Ha-184 白釉牡丹文碗	中国	金-元時代·13-14世紀	高さ4.3 口径9.8 高台径3.3	陶磁器	41914923
20-Ha-185 白地鉄絵唐子文壺	中国	元時代・13世紀	高さ22.7 口径17.0 胴径24.5 底径10.2	陶磁器	41914946
20-Ha-186 青花神仙人物麒麟文瓶	中国	元時代・14世紀	高さ26.7 口径8.1 胴径14.3 高台径8.4	陶磁器	41915040
20-Ha-187 青花手付角瓶	中国	元時代・14世紀	高さ5.5 径5.4×5.2	陶磁器	41915039
20-Ha-188 青磁三足香炉	中国	元時代	高さ5.8 径18.2 底径3.4	陶磁器	41915038
20-Ha-189 白磁鉄斑文合子	中国	元時代	径9.3 高さ3.5	陶磁器	41915037
20-Ha-190 黒釉鐔縁壺	中国	元時代	高さ20.3 胴径15.4 口径8.0 底径9.2	陶磁器	41915027
20-Ha-191 赤絵人形 3種	中国	元-明時代·14-15世紀	高さ(女性12.1 男性10.6 子供8.2)	陶磁器	41915035
20-Ha-192 鉄絵花文小壺	中国	元-明時代	高さ9.8 胴径8.4 高台径4.8	陶磁器	41915043
20-Ha-193 三彩蓮池水禽文皿	中国	明時代末期·17世紀初期	高さ2.8 口径17.2 高台径8.8	陶磁器	41914820
20-Ha-194 青磁三脚香炉	中国	明時代	高さ10.5 口径12.5	陶磁器	41914831
20-Ha-195 青磁刻花蓮弁文碗(嘉靖丁未銘)	中国	明時代・15世紀	口径15.0 高さ7.2 高台径6.0	陶磁器	41915032
20-Ha-196 青磁刻花牡丹唐草文大香炉	中国	明時代	高さ18.0 最大径25.5	陶磁器	41914829
20-Ha-197 青花蓮池水禽文盤(芙蓉手)	中国	明時代末期	口径39.4 高さ7.8 高台径19.8	陶磁器	41914828
20-Ha-198 青花麒麟文稜花盤(芙蓉手)	中国	明時代·萬曆-崇禎年	高さ6.0 口径29.3 高台径18.0	陶磁器	41914827
20-Ha-199 古染付馬文皿 5枚	中国	明時代末期·17世紀初期	径16.9 高さ2.7 高台径7.1	陶磁器	41914818
20-Ha-200 五彩蓬莱文盤(呉須赤絵)	中国	明時代末期	口径37.1 高さ8.7 高台径18.3	陶磁器	41914825
20-Ha-201 青花線香立て	中国	清時代	高さ10.3 底径8.7×9.5 穴径0.9	陶磁器	41914823
20-Ha-202 青花線香立て	中国	明-清時代	高さ10.8 底径7.3×7.8 穴径0.9	陶磁器	41914833
20-Ha-203 五彩柘榴文陰刻龍文盤	中国	清時代	高さ4.6 口径25.7 高台径16.8	陶磁器	41914822
20-Ha-204 青花雲龍文碗	中国	清時代·道光年間(1821-1850)	口径14.2 高さ6.9 高台径5.9	陶磁器	41915019
20-Ha-205 青花玉取龍文四耳壺	中国	清時代	高さ36.0 口径11.5 胴径28.0 底径18.0	陶磁器	41914830
20-Ha-206 黒唐津船徳利	中国	17世紀初期	高さ24.3 胴径25.3 底径20.5	陶磁器	41914832
20-Ha-207 壺形土器	朝鮮	伽倻文化·5世紀	口径15.5 高さ28.2 胴径30.0	土器	41915008
20-Ha-208 笛			長さ7.2	陶磁器	41914987

森田コレクション 金工

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量(cm)	品質	備品受入番号
20-Hc-1	青銅製 腕釧		インダス文明	径6.1 (各)	青銅	41914956
20-Hc-2	青銅製 鹿		インダス文明	長さ9.3 高さ8.1	青銅	41914947
20-Hc-3	青銅製 人物形		インダス文明	高さ10.3	青銅	41914924
20-Hc-4	青銅製 獅子像	バクトリア		長さ(大8.1 小4.6) 高さ(大6.7 小4.3)	青銅	41914925
20-Hc-5	青銅製 封泥印	バクトリア		径3.5-5.4	青銅	41914915
20-Hc-6	金銀貨		クシャーン朝	径1.9-2.2	金、銀	41914926
20-Hc-7	青銅製 柄杓·匙	アフガニスタン		柄杓:長22.8、匙:長24.8	青銅	41914927
20-Hc-8	青銅製 鈴	アフガニスタン	5-7世紀	高さ8.8 口径6.8	青銅	41914928
20-Hc-9	青銅製 碗	ペルシャ	ササン朝	口径14.5 高さ3.9	青銅	41914948
20-Hc-10	青銅製 香油瓶	ペルシャ地方		高さ7.3-14.2	青銅	41914916
20-Hc-11	青銅製刀銭	中国	戦国時代	長さ17.6	青銅	41914939
20-Hc-12	青銅製帛銭	中国	戦国時代	長さ6.8 幅3.6	青銅	41914964
20-Hc-13	青銅製夫人座像	中国	前漢時代	高さ10.5 最大幅7.7	青銅	41914965
20-Hc-14	青銅製帯鉤 2種	中国	戦国-前漢時代	長さ(大15.9 小10.8)	青銅	41914966
20-Hc-15	青銅製獣環耳鈁 2口	中国《	漢時代	高さ6.1 径3.3(各)	青銅	41914978
20-Hc-16	青銅牛形装飾	中国	漢時代	高さ14.5 最大幅18.5	青銅	41914954
20-Hc-17	青銅博山香炉	中国	漢時代	高さ13.1 径7.3 底径6.5	青銅	41914957
20-Hc-18	鍍金鉤付柱頭金具	中国	漢時代か	長さ20.6 柱径1.6	青銅	41914967
20-Hc-19	青銅鍍金透彫龍文帯金具 9個	中国	西晋時代·3世紀後半	最大長6-7cm(各)	青銅	41914968
20-Hc-20	銀製鍍金双鳥文蹴彫かんざし	中国	唐時代	長さ28.0	銀	41914843
20-Hc-21	青銅製柄香炉	中国	唐時代	高さ9.5 最大長36.5 口径14.2 底径9.0	青銅	41914961
20-Hc-22	青銅高脚杯	中国	唐時代	高さ7.0 口径5.3 底径2.6	青銅	41914960
20-Hc-23	金銅蝶形蝶番	中国	唐時代	最大径5.9 高さ3.7 厚さ0.2 足の高さ0.6	青銅	41914959
20-Hc-24	金銅製鈴	中国	五代時代か	高さ7.8 径6.3	青銅	41914958

森田コレクション その他

所蔵品番号	号 作品名	産地	制作年	法量(cm)	品質	備品受入番号
20-Hf-1	アラバスター灯火台	アフガニスタン	B.C.3000-B.C.2000	高さ30.0 口径12.2 底径7.6 胴径12.4	石	41914866
20-Hf-2	アラバスター縞文碗	アフガニスタン	B.C.3000-B.C.2000	口径15.3 高さ8.7 底径4.2	石	41914878
20-Hf-3	石製品	バクトリア		長さ21.1 幅13.2 厚さ3.7	石	41914873
20-Hf-4	石製品	バクトリア		最大長11.1 高さ3.8	石	41914902
20-Hf-5	石製品	バクトリア		最大長9.2 高さ2.7	石	41914903
20-Hf-6	石製品 (柄香炉) 蓋付	バクトリア		最大長11.9 幅7.6 高さ4.6	石	41914867
20-Hf-7	石製品	バクトリア		高さ4.8 径2.6×2.5	石	41914868
20-Hf-8	石製品	バクトリア		縦4.4 横3.7 高さ1.9	石	41914869
20-Hf-9	石製品	バクトリア		高さ9.6 口径11.7	石	41914870
20-Hf-10	石製品	バクトリア		口径5.5 胴径5.8 高さ4.2	石	41914871
20-Hf-11	ガラス製 鼠		インダス文明	長さ8.9 高さ4.1	ガラス	41914877
20-Hf-12	ガラス製 腕釧	シリア地方		径4.6-9.3	ガラス	41914881
20-Hf-13	レース飾りガラス瓶	シリア	1世紀	高さ37.1 口径8.7 高台径18.3	ガラス	41914875
20-Hf-14	木製三鈷杵残欠		鎌倉時代	長さ19.5 幅14.8	木	41914876



▲釜山窯 茂山御本茶碗 江戸時代



▲三彩蓮葉雲雁文三足盤 唐時代

図書·映像資料

図書		
	69	26
図録	10	9
年報·紀要	1	0
図書	122	24
図録	488	24
年報·紀要	227	2
製本資料	0	0
雑誌	385	112
	1,302	197
		1,499
	年報·紀要 図書 図録 年報·紀要 製本資料	年報·紀要 1 図書 122 図録 488 年報·紀要 227 製本資料 0 雑誌 385

映像資料関係	受入状況	
	ビデオ	0
Ott 3	レーザーディスク	0
購入	コンパクトディスク	0
	DVD	1
	マイクロフィルム	0
	ビデオ	0
	レーザーディスク	9
寄贈	コンパクトディスク	0
	DVD	4
	マイクロフィルム	0
合計		14
		34 /4· / J

美術資料の修復

■近現代美術

種別	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材·技法	数量	所蔵品番号
油彩等	田崎広助	鮎の静物	1954	91.0×65.1	油彩·画布	1点	1-A-58
油彩等	坂 宗一	野火(蟻)	1969	162.5×130.8	油彩·画布	1点	1-A-430
油彩等	イヴ・クライン	人体測定 (ANT 157)	1961	147.0×195.0	油彩・紙(画布の裏打ち)	1点	3-A-43

■古美術

種別	作品名	作者名	制作年	寸法(cm)	品質	数量	所蔵品番号
書跡 重文	古林清茂墨蹟(幽禅人送別偈)	古林清茂	元時代·泰定3年(1326年)	縦 34.0 横 68.1	紙本墨書	一幅	6-1-4
書跡 重文	月江正印墨蹟(七言絶句)	月江正印	元時代·至正10年(1350年)	縦 34.8 横 83.6	紙本墨書	一幅	6-1-5
絵画	あくび布袋図	仙厓義梵	江戸時代	縦 40.9 横 53.0	紙本墨書	一幅	9-B-5
刀剣	太刀	長船則光	室町時代·文安6年	刀長67.5 反り1.7	鉄		14-He-10

美術資料の貸出

■近現代美術

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油彩	マルク・シャガール	空飛ぶアトラージュ	3-A-87	シャガール展	宇都宮美術館 三重県立美術館 千葉市美術館	平成19年2月10日-4月8日 平成19年4月14日-6月3日 平成19年6月9日-7月29日
写写写写写写写写真真真真真真真真真真真真真真真真真真	マン・レイマン・レイマン・レイマン・レイマン・レイマン・レイマン・レイマン・レイ	アンリ・マチス ジョルジュ・ブラック マン・レイ アルベルト・ジャコメッティ フェルナン・レジェ ジョアン・ミロ マルセル・デュシャン キキ・ド・モンパルナス	3-F-39 3-F-41 3-F-46 3-F-53 3-F-54 3-F-55 3-F-78 3-F-79	Paris est une fête -les années1920 ヘミングウェイが愛した街	美術館「えき」KYOTO ひろしま美術館 日本橋高島屋 金沢21世紀美術館 (広島・金沢会場のみ貸出)	平成19年2月9日-3月25日 平成19年3月31日-5月6日 平成19年5月16日-6月4日 平成19年7月21日-8月19日
油彩	ポール・デルヴォー	夜の通り (散歩する女たちと学者)	3-A-46	澁澤龍彦—幻想美術館	埼玉県立近代美術館 札幌芸術の森美術館 横須賀美術館 (埼玉会場のみ貸出)	平成19年4月7日-5月20日 平成19年8月10日-9月30日 平成19年10月6日-11月11日
油彩	佐伯祐三	街	2-A-29	パリのエスプリ 佐伯祐三と佐野繁次郎展	神奈川県立近代美術館葉山	平成19年4月7日-5月20日
油彩	鶴岡政男	夜の祭典	2-A-36	生誕100年 鶴岡政男展	群馬県立館林美術館 神奈川県立近代美術館鎌倉	平成19年4月14日-6月17日 平成19年6月30日-9月2日
油彩	ジョアン・ミロ	ゴシック聖堂でオルガン 演奏を聞いている踊り子	3-A-10	シュルレアリスムと美術 イメージとリアリティをめぐって	宇都宮美術館 豊田市美術館 横浜美術館 (豊田会場のみ貸出)	平成19年4月21日-6月17日 平成19年7月3日-9月17日 平成19年9月29日-12月9日
油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油	木光光光光光光光亮光光大大大字安安全上安安野安安人内内,将浩浩浩浩浩连行行茂士士士活活建行行茂士士士士	みや 「 冬年 (スキー) 明日 花鏡 蒙夏 高原 石 教会と信者たち 無大字物 隅 巴里の街角	1-A-36 1-A-153 1-A-154 1-A-155 1-A-159 1-A-207 1-A-224 1-A-225 1-A-238 1-A-245 1-A-250 1-A-270 1-A-271 1-A-272	第60回記念示現会展	福岡市美術館	平成19年5月22日-5月27日

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油油	大内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内内下	湘南風景 山湖 椿路 卓上 室内の一隅 初秋卓上 猫のいる部屋 蝉凧と木靴 (室内の一隅) [風景]	1-A-273 1-A-274 1-A-275 1-A-276 1-A-277 1-A-278 1-A-327 1-A-328 1-A-569			
油彩油彩	海老原喜之助 松本竣介	白い鳥・黒い鳥 彫刻と女	1-A-289 2-A-39	日本近代画家の絶筆	兵庫県立美術館 松本市美術館 富山県水墨美術館	平成19年5月29日-7月8日 平成19年7月13日-8月19日 平成19年8月24日-9月30日
油彩油彩油彩油彩	児島善三郎 児島善三郎 児島善三郎 児島善三郎	福岡市展望 鏡 春待つ田圃 上高地	1-A-39 1-A-40 1-A-204 1-A-322	田園の輝き一児島善三郎	府中市美術館 北九州市立美術館	平成19年6月2日-7月16日 平成19年7月22日-8月26日
油彩	ニコラ・ドニスタール	黄と緑の長方形	3-A-12	ニコラ・ド=スタール展	スペイン La Pedrera (カタロニア・カイシャ財団)	平成19年6月18日-9月24日
日本画	堅山南風	新涼の客	1-B-182	親子でみる美術展「熊本偉人列伝」	熊本県立美術館	平成19年7月12日-9月2日
油彩 油彩 油彩 油彩 油彩	山喜多二郎太 山喜多二郎太 山喜多二郎太 山喜多二郎太 山喜多二郎太 山喜多二郎太	画室にて むすめ キモ/少女 田を耕す 残雪 収穫	1-A-162 1-A-163 1-A-164 1-A-165 1-A-166 1-B-71	アートにであう夏vol.9 「墨で描いても!油で描いても! 山喜多二郎大」	福岡県立美術館	平成19年7月14日-8月31日
油彩	長谷川利行	ハーゲンベックのサー カス	2-A-38	解き放たれたイメージ サーカス展	損保ジャパン東郷青児美術館 MOA美術館	平成19年7月14日-9月2日 平成19年10月6日-12月5日
油版版版版版版版	田崎広助 吉田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	朝やけの大山 帆船 朝 (瀬戸内海集) 帆船 午前(瀬戸内海集) 帆船 寮 (瀬戸内海集) 帆船 夜 (瀬戸内海集) 五比賣命	1-A-60 1-E-64 1-E-65 1-E-67 1-E-69 1-G-11	日展100年	国立新美術館 宮城県美術館 広島県立美術館 富山県立近代美術館	平成19年7月25日-9月3日 平成19年9月23日-11月4日 平成20年2月19日-3月30日 平成20年4月12日-5月18日
油彩日本画	吉田 博麻田鷹司	雲叡深秋 宗像杜沖島	1-A-464 2-B-9	水のかたち展	茨城県立近代美術館	平成19年7月28日-9月24日
油彩	藤島武二	イタリア婦人像	1-A-243	藤島武二と小磯良平展 -洋画アカデミズムを狙った師弟-	神戸市立小磯記念美術館	平成19年9月15日-11月18日
油彩油彩	松本英一郎 松本英一郎	よう壁のある風景 平均的肥満体02	1-A-230 1-A-507	退屈な風景 松本英一郎展	石橋美術館	平成19年9月24日—11月25日
油彩	坂田一男	コンポジション	2-A-30	坂田一男展一前衛精神の軌跡一	岡山県立美術館	平成19年9月28日-11月6日
油彩油彩油油彩油油彩油油彩	田崎広助田崎広広広の田崎崎広広広の田崎崎広広の田崎崎広広町田崎崎広広町田崎崎広町田崎広広町田崎広	巴里娘 早春晴日 松と朝顔 焼阿蘇の晩秋(阿蘇山と根子岳) 由布岳 桜島 焼かれたる三笠の山 早春の阿蘇山	1-A-48 1-A-52 1-A-53 1-A-61 1-A-63 1-A-67 1-A-70 1-A-72	「名作誕生―巨匠たちのアトリエ」展	練馬区立美術館	平成19年10月27日—12月16日
日本画日本画	冨田溪仙 冨田溪仙	沖縄三題 沖縄三題	1-B-65 1-B-158	美術館開館記念展 一沖縄文化の軌跡1872-2007	沖縄県立博物館·美術館	平成19年11月1日- 平成20年2月24日
油版版版版版版版版	菊畑茂久馬 菊畑茂久馬 菊畑茂久馬 菊畑茂久馬 菊畑茂久馬 菊畑茂久馬 菊畑茂久馬	ルーレットNo.1 ハートから涙(ハートの重み) 卵形の夢(一) 卵形の夢(二)(卵形カブセル) 林檎の吟味 歓喜の家	1-A-197 1-E-284 1-E-289 1-E-290 1-E-293 1-E-296	菊畑茂久馬と<物>語るオブジェ	福岡県立美術館	平成19年11月3日—平成20年 1月14日
日本画	小山 硬	洗礼	1-B-62	悠久のロマン 小山硬	名都美術館	平成20年3月11日-5月6日

■古美術

種別	作品名	作者名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
陶磁器	染付山水文大皿 鍋島染付桃果文大皿	有田焼鍋島様式 有田焼鍋島様式	14-Ha-30 14-Ha-118	将軍家への献上 鍋島 -日本磁器の最高峰-	佐賀県立九州陶磁文化館 MOA美術館 大阪市立東洋陶磁美術館 福島県立美術館	平成18年9月30日-11月12日 平成18年12月2日-平成19年1月23日 平成19年2月10日-3月25日 平成19年4月7日-5月20日
絵画 絵画 絵画	阿蘭陀絵帖 犬図 虎図	宋紫山筆 仙厓義梵 仙厓義梵	4-B-105 9-B-7 9-B-46	動物絵画の100年 1751-1850	府中市美術館	平成19年3月17日-4月22日
絵画	五祖荷鋤図布袋図	伝·牧谿筆 樵隠悟逸賛 伝·胡直夫筆 偃谿広聞賛	6-B-2 6-B-3	悟りの世界:中世日本における 禅宗の人物および説話画	ジャパンソサエティ・ギャ ラリー (ニューヨーク)	平成19年3月28日-6月17日
絵画 重文	地獄草紙断簡・勘当 の鬼		6-B-12	未来への贈りもの―中国泰山 石経と浄土教美術	九州国立博物館	平成19年4月10日-6月10日
陶磁器 陶磁器 陶磁器 陶磁器	志野あやめ絵鉢 黒楽茶碗 銘「次郎坊」 黒織部筒茶碗 銘「さわらび」 鉄砂草花文壺 (九州国 立博物館のみ)		6-Ha-46 6-Ha-62 6-Ha-66 6-Ha-150	日本のやきもの 一選び抜かれた名宝120点ー	九州国立博物館 ポルトガル・ソアレス・ド ス・レイス国立美術館	平成19年7月7日-8月26日 平成19年9月20日-12月2日
絵画 重文	泰西風俗図屛風		4-B-98	BIOMBO/屏風 日本の美	サントリー美術館 大阪市立美術館 (東京会場のみ9月17日まで展示)	平成19年9月1日-10月21日 平成19年10月30日-12月1
金工	蓋鋺	佐波理製	6-Hc-148	古代の博多ー鴻臚館とその時代ー	福岡市博物館	平成19年9月14日-10月28日
絵画 重文 染織 染織	泰西風俗図屛風 (11月30日より展示) 着背長(小札の陣羽織) 金襴軍袍 (亀甲地文牡丹唐草金襴)		4-B-98 4-Hd-180 4-Hd-181	八代の歴史と文化17 小西行長 —Don Agostinho—	八代市立博物館未来の 森ミュージアム	平成19年10月19日—11月25日
金工 金工 金工 重美	芦屋釜下絵図卷 芦屋浜松舟地文釜 芦屋香炉釜	伝·土佐光信	6-B-42 6-Hc-102 6-Hc-105	茶の湯の至巧 芦屋釜の名品	五島美術館 細見美術館	平成19年10月27日-12月2日 平成20年1月2日-2月11日
絵画 重文 絵画 絵画	花籠図(4週間のみ展示) 茄子図 柳図	尾形乾山 尾形乾山 尾形乾山	6-B-36 6-B-37 6-B-38	乾山の芸術と光琳	出光美術館 MOA美術館 京都文化博物館	平成19年11月3日-12月16日 平成20年1月18日-2月26日 平成20年3月8日-4月13日
陶磁器	薩摩肩衝茶入 銘「九重」	薩摩焼	4-Ha-11	薩摩焼パリ伝統美展	フランス国立陶磁器美術館 (セーブル美術館)	平成19年11月20日- 平成20年2月18日
陶磁器 陶磁器 陶磁器	唐物肩衝茶入 銘「松永」 志野筒茶碗 銘「露香」 瓢形耳付水指	高取焼 (内ヶ磯窯)	6-Ha-51 6-Ha-65 14-Ha-161	平瀬露香-なにわ人物誌 没後100年 最後の粋人	大阪歴史博物館	平成20年1月19日-3月10日
漆陶陶陶陶陶陶金そそ 書工磁磁磁磁磁磁磁磁工のの跡	青漆内赤鸡 網物整碗 石斯 原 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一	上野焼 釜/口窯 千宗旦 千利休	4-Hb-199 6-Ha-49 6-Ha-52 6-Ha-58 6-Ha-87 6-Ha-94 6-Ha-110 6-Hc-104 6-Hf-79 6-Hf-91	九州・山口の茶文化 〜松永耳庵展〜	表千家九州茶道館	平成20年2月16日—2月17日

展

市民による施設の利用

展示室

平成19年

▶写真展「日本の自然」

4月3日(火)-4月8日(日)

特別展示室B

日数=6日/観覧者数=1,930人

全日本写真連盟が主催する「日本の自然」写真展。

▶濱田隆志個展 スペイン「弧岩シリーズ」

4月3日(火)-4月8日(日)

市民ギャラリーA

日数=6日/観覧者数=605人

油彩画約9点を展示。

▶悦蘭会墨彩画展

4月3日(火)-4月8日(日)

市民ギャラリーB

日数=6日/観覧者数=1,352人

ハガキ絵、色紙、短冊、掛軸、扇面などの墨彩画163

▶第13回画帖会展

4月3日(火)-4月8日(日)

市民ギャラリーC

日数=6日/観覧者数=859人

油彩画、鉛筆画、写真305点を展示。

▶墨・和のモダン

4月3日(火)-4月8日(日)

市民ギャラリーD

日数=6日/観覧者数=1,393人

自然をテーマにした書作品51点を展示。

▶内村紀子展

4月10日(火)-4月15日(日)

特別展示室B

日数=6日/観覧者数=1,326人

油絵、デッサン等約60点を展示。

▶第2回「なんばショット倶楽部」写真発表会

4月10日(火)-4月15日(日)

市民ギャラリーA

日数=6日/観覧者数=789人

風景、花などを題材にした写真72点を展示。

▶現代水墨 雅象会

4月10日(火)-4月15日(日)

市民ギャラリーB

日数=6日/観覧者数=891人

現代水墨画33点を展示。

▶安継承書象道(中国現代書道)

4月10日(火)-4月15日(日)

市民ギャラリーC

日数=6日/観覧者数=536人

書作品53点を展示。

▶第5回 福岡工業大学エクステンションセンター 絵画制作「匠の会」展

4月10日(火)-4月15日(日)

市民ギャラリーD

日数=6日/観覧者数=752人

油彩画、水彩画、デッサン等51点を展示。

▶高巣典子展

4月17日(火)-4月22日(日)

特別展示室B

日数=6日/観覧者数=2,500人

染色、油彩、版画等56点を展示。

▶蘆洲会書展

4月17日(火)-4月22日(日)

市民ギャラリーA

日数=6日/観覧者数=1,034人

額装、色紙額、扇子、習作などの書作品94点を展示。

▶日中書画芸術交流展

(第12回曹亜鋼水墨芸術学院作品展)

4月17日(火)-4月22日(日)

市民ギャラリーB・C

日数=6日/観覧者数=1,271人

日中の水墨・墨彩画217点を展示。

▶中村吉之助写真塾11周年記念写真展

4月17日(火)-4月22日(日)

市民ギャラリーD

日数=6日/観覧者数=1,217人

カラー写真を中心とした全紙パネル張り54点を展示。

▶庄島なをと写真展「現代福岡考」

4月24日(火)-4月30日(月·祝)

特別展示室B

日数=7日/観覧者数=2,792人

建築家の視点から撮影した福岡の写真展。

モノクロ写真124点を展示。

▶五人展

4月24日(火)-4月30日(月·祝)

市民ギャラリーA

日数=7日/観覧者数=1,225人

うたかた書道同好会の書作品48点を展示。

▶新生起美術春季発表展

4月24日(火)-4月30日(月·祝)

市民ギャラリーB

日数=7日/観覧者数=1,239人

油彩画、水彩画、日本画、水墨画45点を展示。

▶日本原色押花協会 第12回 日本地区合同展 「日本の花」

4月24日(火)-4月30日(月·祝)

市民ギャラリーC

日数=7日/観覧者数=1.647人

屏風、額装、軸装、小物など押花約200点を展示。

▶創作手丁芸作品コンクール第13回 「創作手工芸」九州地区作品展

4月24日(火)-4月30日(月·祝)

市民ギャラリーD

日数=7日/観覧者数=1,634人

服飾、インテリアなどコンクール各賞・入賞作品など約

▶傘寿記念 画業50年 納富賢智日本画展 「藍に魅せられて」

5月2日(水)-5月6日(日)

特別展示室B

日数=5日/観覧者数=4,378人

日本画60点による個展。

▶ふくおか植物画会ボタニカルアート展

5月2日(水)-5月6日(日)

市民ギャラリーA

日数=5日/観覧者数=1,003人

水彩画44点を展示。

▶古賀幸雄~心象 II ~写真展

5月2日(水)-5月6日(日)

市民ギャラリーB

日数=5日/観覧者数=974人

心象風景を表現した作品40点を展示。

▶蒼土の会

5月2日(水)-5月6日(日)

市民ギャラリーC

日数=5日/観覧者数=1,278人

写真、書、絵画、陶芸作品等149点を展示。

▶黄志峯個展「月光花」

5月2日(水)-5月6日(日)

市民ギャラリーD

日数=5日/観覧者数=1,170人

西洋画と日本画の折衷作品28点を展示。

▶′07玄展

5月8日(火)-5月13日(日)

特別展示室B

日数=6日/観覧者数=5,341人

彫刻と絵画30点を展示。

▶甃の会第10回記念展

5月8日(火)-5月13日(日)

市民ギャラリーA

日数=6日/観覧者数=1,181人

ペーパースクリーン版画70点を展示。

▶墨心会水墨画展

5月8日(火)-5月13日(日)

市民ギャラリーB

日数=6日/観覧者数=1,183人

水墨画52点を展示。

▶グループわらべ 第25回 水彩・パステル画展

5月8日(火)-5月13日(日)

市民ギャラリーC

日数=6日/観覧者数=1,432人 静物画、人物画、写実的作品。水彩・パステル画67点

を展示。

►MA VIE展

5月8日(火)-5月13日(日) 市民ギャラリーD

日数=6日/観覧者数=1,386人

油彩画55点を展示。

▶現代アート「梅崎弘の世界」 5月15日(火)-5月20日(日)

特別展示室B

日数=6日/観覧者数=705人 アクリル画163点を展示。

▶アトリエ・エトルリア生徒作品展

5月15日(火)-5月20日(日)

市民ギャラリーA

日数=6日/観覧者数=1.479人

ステンドグラス、彫金、銅クラフト357点を展示。

▶第7回 博水会展

5月15日(火)-5月20日(日) 市民ギャラリーB 日数=6日/観覧者数=1,179人 水彩画68点を展示。

▶早良区・西区公民館水墨画サークル合同作品展

5月15日(火)-5月20日(日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=1,171 水墨画約100点を展示。

▶松田朴伝社中展〈言葉と姿の書〉

5月15日(火)-5月20日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=1,342人 書作品74点を展示。

▶第59回 示現会展

5月22日(火)-5月27日(日) 特別展示室A·B 観覧料=一般700円、高大生400円、小中生無料日数=6日/観覧者数=9,772人 油彩画、水彩画167点を展示。

▶佐藤せつ福岡教室和紙ちぎり絵展

5月22日(火)-5月27日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=1,175人 和紙ちぎり絵61点を展示。

▶第1回作勝会水墨画展

5月22日(火)-5月27日(日) 市民ギャラリーB 日数=6日/観覧者数=1,008人 額装作品14点、軸装作品49点を展示。

▶第25回 天真会展

5月22日(火)-5月27日(日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=1,028人 漢字を主とする書56点を展示。

▶第6回「風2007」三公民館合同写真展

5月22日(火)-5月27日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=1,219人 風景、スナップ、花などの作品68点を展示。

▶第23回 西部朝日書道展

5月29日(火)-6月3日(日) 特別展示室A、市民ギャラリーA・B 日数=6日/観覧者数=3,334人 漢字、かな、篆刻の公募作品1,257点を展示。

▶第4回 九州·山口·沖縄代表書作家展

5月29日(火) -6月3日(日) 特別展示室B 日数=6日/観覧者数=2,282人 漢字、かな、篆刻作家40人の作品80点を展示。

▶聖の会「三つのわ 彩り」

5月29日(火)-6月3日(日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=838人 書52点を展示。

▶第4回 水彩画加呂教室作品展

5月29日(火)-6月3日(日) 市民ギャラリーD 日数-6日/観覧者数=870人 水彩画82点を展示。

▶第57回 モダンアート福岡展 6月5日(火)-6月10日(日)

特別展示室A 観覧料=一般800円、高・大生500円、小・中生200円 日数=6日/観覧者数=905人 絵画・彫刻・版画・写真・デザイン・スペースアート120点

▶第59回 三軌展20周年記念 三軌会写真部九州展

6月5日(火)-6月10日(日) 特展示室B 日数=6日/観覧者数=1,130人 東京展および九州関係者の作品165点を展示。

▶10周年記念 めだかの会写真展

6月5日(火)-6月10日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=708人 写真44点を展示。

▶2007MANDARA 鬼子根龍彦展

6月5日(火)-6月10日(日) 市民ギャラリーB 日数=6日/観覧者数=657人 絵画27点を展示。

▶第20回エコールド・レン展

6月5日(火)-6月10日(日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=1,206人 水彩画、油彩画を主に約80点を展示。

▶一字の書

6月5日(火)-6月10日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=785人 漢字-文字の書100点を展示。

▶第38回 日展

6月16日(土) -7月8日(日) 特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D 観覧料=一般1,100円、高・大生700円、小・中生400円 日数=20日/観覧者数=19,990人

日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書約450点を展示。 ▶第2回 福岡、広州、釜山、三地三国友好交流写真展

7月10日(火)-7月16日(月・祝) 特別展示室B 日数=6日/観覧者数=683人 写真作品148点を展示。

▶Sensitivity 写真展

7月10日(火)-7月16日(月・祝) 市民ギャラリーA 日数=7日/観覧者数=698人 写真作品100点を展示。

▶火曜日の仲間展

7月10日(火)-7月16日(月・祝)市民ギャラリーB 日数=7日/観覧者数=808人油彩画38点を展示。

▶第21回 江墨会水墨画展

7月10日(火)-7月16日(月・祝) 市民ギャラリーC 日数=7日/観覧者数=920人 額装・軸装作品68点を展示。

▶ART PARTY一福岡・台北現代美術交流展

7月10日(火)-7月16日(月・祝) 市民ギャラリーD 日数=7日/観覧者数=547人 福岡教育大学、台北芸術大学学生による交流展。日本は立体を中心に、台湾は平面を中心に12点を展示。

▶野中吟雪書展一新潟大学教授退任記念 福岡展

7月18日(水)-7月22日(日) 特別展示室B 日数=5日/観覧者数=1,298人 屏風、額、軸、扇面等の作品40点を展示。

▶第18回 グループひまわり展

7月18日(水)-7月22日(日) 市民ギャラリーA 日数=5日/観覧者数=430人 油彩39点を展示。

▶2007 ビジュアルパフォーマンス展

7月18日(水)-7月22日(日) 市民ギャラリーB 日数=5日/観覧者数=348人 東明大学大学院視覚デザイン学科同窓展。作品30点を展示。

▶趙東來写真展

7月18日(水)-7月22日(日) 市民ギャラリーC 日数=5日/観覧者数=463人 写真作品30点を展示。

▶夜の蜃気楼 (Night Mirage)

7月18日(水)-7月22日(日) 市民ギャラリーD 日数=5日/観覧者数=459人 パチンコ屋というテーマで日本の戦後の社会を考える。カラー写真18点を展示。

▶ガブリエーレ・クールシュトルンク展

7月24日(火)-7月29日(日) 特別展示室B 日数=6日/観覧者数=1,227人 主に花をモチーフとしたアクリル画、水彩画等を約70 点展示。

▶只玄会会員展

7月24日(火)-7月29日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=563人 額装、軸装、茶掛、折帖、巻子等の作品50点を展示。

▶第29回 朝日学生書道展

7月24日(火) -7月29日(日) 市民ギャラリーB・C 日数=6日/観覧者数=1,052人 九州、山口、沖縄各県の小中高生による書 604 点を 展示。

展

▶ホアヂャ会松岡教室展覧会

7月24日(火)-7月29日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=1,387人 油彩画24点を展示。

▶第21回 工芸美術知新会展

7月31日(火)-8月5日(日) 特別展示室B

日数=6日/観覧者数=1.055人

陶磁器、染色、人形、木竹、七宝、金工、皮革、漆作品 60点を展示。

▶第20回 エルサバド展

7月31日 (火) -8月5日 (日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=553人 ももちパレス土曜絵画教室による油彩作品37点を展示。

▶2007 日中国交正常化35年 九州・日中民間文化交流協会10周年記念 日中子ども絵画公募展

7月31日(火)-8月5日(日) 市民ギャラリーB·C 日数=6日/観覧者数=875人 絵画、書など約300点を展示。

▶第47回 西日本フォトコンテスト入賞作品巡回展

7月31日(火)-8月5日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=756人 写真作品116点を展示。

▶第31回 グループ青彫刻展

8月7日(火)-8月12日(日)

特別展示室B

日数=6日/観覧者数=574人

日展出品者を中心に7名による彫刻31点、水彩画10点 を展示。

▶志村孝甫絵画展「生命の力」

8月7日 (火) -8月12日 (日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=422人 絵画作品を展示。

▶九州玄筆会書展

8月7日(火)-8月12日(日) 市民ギャラリーB・C 日数=6日/観覧者数=1,133人 書作品38点、博多人形3点を展示。

▶第24回 観生会展

8月7日 (火) -8月12日 (日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=581人 古典に基礎をおいた書作品32点を展示。

▶Art Tours Project 一面面の由来一

8月14日(火)-8月19日(日) 特別展示室B 日数=6日/観覧者数=1,191人 4名の作家によるインスタレーション7点を展示。

▶九州FOTOグループ展

8月14日(火)-8月19日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=690人 写真作品50点を展示。

▶姉妹展

8月14日(火)-8月19日(日) 市民ギャラリーB 日数=6日/観覧者数=720人 油彩、陶芸、染色作品57点を展示。

▶花の会福岡支部展 第2回写真展

8月14日(火)-8月19日(日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=855人 花および花のある風景の写真作品50点を展示。

▶石原文香 Cutting Art展

8月14日(火)-8月19日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=784人 切り絵とグラフィックの融合作品31点を展示。

► Atelier Tashiro Exhibition V

8月21日 (火) -8月26日 (日) 特別展示室B 日数=6日/観覧者数=1,258人 アクリル、オブジェ等約100点を展示。

▶第5回「SHAKE」展

8月21日(火)-8月26日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=634人 絵画、彫刻、陶芸、写真等52点を展示。

▶WORKS'07展

8月21日(火)-8月26日(日) 市民ギャラリーB 日数=6日/観覧者数=582人 写真作品109点を展示。

▶瀧山和子個展

8月21日(火)-8月26日(日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=599人 油彩画、水彩画約23点を展示。

▶第2回 リベルテ113絵画展

8月21日(火)-8月26日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=793人 油彩、アクリル、デッサン86点を展示。

▶視点Ⅱ

8月28日(火)-9月2日(日) 特別展示室B 日数=6日/観覧者数=573人 平面作品20点を展示。

▶「つながり」展

8月28日(火)-9月2日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=516人 写真作品214点を展示。

▶第76回 国際写真サロン展

8月28日(火)-9月2日(日) 市民ギャラリーB 日数=6日/観覧者数=540人 海外、国内の選抜写真130点を展示。

▶グループ「テオ」展

8月28日(火)-9月2日(日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=598人 油彩、彫刻、版画、デザイン等71点を展示。

▶第23回 紫彩展

8月28日 (火) -9月2日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=566人 油彩画、日本画、陶芸等約100点を展示。

▶第66回 創元会福岡巡回展・創元会西日本美術展

9月4日(火)-9月9日(日) 特別展示室A・B 観覧料=一般600円、高・大生300円、小・中生無料 日数=6日/観覧者数=3,716人 全国巡回選抜作品及び地元作家の作品175点、創

▶第19回 サムホール公募展

9月4日(火)-9月9日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=2,060人 油彩、水彩、パステル等の作品406点を展示。

元会西日本美術展入選作品48点を展示。

▶第13回 博美会展

9月4日(火)-9月9日(日) 市民ギャラリーB 日数=6日/観覧者数=1,521人 油彩作品37点を展示。

▶第5回 グループ「藍」日本画教室展

9月4日(火)-9月9日(日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=1,257人 日本画80点を展示。

▶ボタニカルアート・創作絵本展

9月4日 (火) -9月9日 (日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=1,302人 ボタニカルアート、創作絵本、フローラル・ペイントあわせて72点を展示。

▶第103回 太平洋展·第42回 西日本公募展

特別展示室A·B 観覧料=一般800円、高·大生600円、小·中生無料 日数=7日/観覧者数=4,259人 絵画、染色、版画、彫刻作品302点を展示。

▶野中広幸 昆虫画の世界

9月11日(火)-9月17日(月·祝)

9月11日(火)-9月17日(月・祝) 市民ギャラリーA 日数=7日/観覧者数=1,466人 昆虫、植物、風景の水彩画60点を展示。

▶第37回 世界児童画展 福岡·佐賀展

9月11日(火)-9月17日(月·祝) 市民ギャラリーB・C 日数=7日/観覧者数=2,919人 水彩画、クレヨン画等の絵画作品686点を展示。

▶銀・ギラ・Ag写真展2007

9月11日(火)-9月17日(月·祝) 市民ギャラリーD 日数=7日/観覧者数=1,041人 写真作品98点を展示。

▶第12回 福岡市美術連盟展

9月19日(火)-9月24日(月·休)

9月19日(火)-9月24日(月·休) 特別展示室A 日数=6日/観覧者数=2,409人 絵画、工芸、写真、グラフィックデザイン等180点を展示。

▶第5回九州地区 多摩美術大学校友会展

特別展示室B 日数=6日/観覧者数=1,218人 洋画、彫刻、デザイン、陶芸、染色、写真等約180点を 展示。

▶福岡県人書作展

9月19日(火)-9月24日(月·休) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=620人 書作品21点を展示。

▶第4回 福岡女流陶芸展

9月19日(火)-9月24日(月·休) 市民ギャラリーB 日数=6日/観覧者数=1,099人 花入、鉢、オブジェ、人形、茶器、皿他約200点を展示。

▶第40回 青像グループ写真展

9月19日(火)-9月24日(月·休) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=614人 写真作品34点を展示。

▶第4回 泉津会水墨画展

9月19日(火)-9月24日(月・休) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=1,134人 掛軸、屏風等の水墨画76点を展示。

▶第32回 視点 福岡展

9月26日(水)-9月30日(日) 特別展示室B 日数=6日/観覧者数=509人

全国公募写真展。入賞、入選選抜作品318点を展示。

▶はじめての日本画

9月26日(水)-9月30日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=452人 日本画25点を展示。

▶第2回 CoWa展

9月26日(水)-9月30日(日) 市民ギャラリーB 日数=6日/観覧者数=476人 写真作品57点を展示。

▶第5回 小さなまちのアーティスト展

9月26日(水)-9月30日(日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=487人 13名で500点の作品を展示。

▶この消えゆくもの

一有明海の漁師、そして農耕馬装蹄師一

9月26日(水)-9月30日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=383人 写真と文78点を展示。

▶DOT現代彫刻展

10月2日火)-10月8日(月·祝) 特別展示室B 日数=7日/観覧者数=920人 彫刻作品15点を展示。

▶第1回 博新会展

10月2日火)-10月8日(月·祝) 市民ギャラリーA 日数=7日/観覧者数=1,092人 油彩画・水彩画あわせて63点を展示。

▶さくら会水彩画展

10月2日火)-10月8日(月·祝) 市民ギャラリーB 日数=7日/観覧者数=954人 水彩画62点を展示。

▶アート&クラフトDUO作品展

10月2日火)-10月8日(月·祝) 市民ギャラリーC 日数=7日/観覧者数=694人 水彩画、絵手紙、トールペイント等を展示。

▶第17回 鎮西フォトクラブ福岡写真展

10月2日火)-10月8日(月·祝) 市民ギャラリーD 日数=7日/観覧者数=1,487人 風物、風景写真54点を展示。

▶卒業50周年記念 アート展

10月10日(水)-10月14日(日) 日数=5日/観覧者数=1,080人 修猷二三会の作品展。油彩、水彩、写真、書、工芸、洋

▶第4回 福岡文化連盟祭り美術展

10月10日(水)-10月14日(日) 市民ギャラリーA・B・C 日数=5日/観覧者数=1,005人 洋画、日本画、写真、彫刻、書、工芸等100~150点

▶突風2007

10月10日(水)-10月14日(日) 市民ギャラリーD 日数=5日/観覧者数=651人 福岡教育大学美術科OB展。油彩、水彩、版画、CG、デ ザイン、写真、彫刻等35点を展示。

▶柴田善二彫刻展

10月16日(火)-10月21日(日) 特別展示室B 日数=5日/観覧者数=1.630人 人間と動物の木彫作品約40点を展示。

▶第37回 福岡市高齢者美術展

10月16日(火)-10月21日(日) 市民ギャラリーA・B・C 日数=6日/観覧者数=1,691人 洋画、日本画、写真、書、工芸の5部門で200点を展示。

▶空の会

10月16日(火)-10月21日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=1,210人 油彩画50点を展示。

▶第2回 お守り短刀展

10月24日(水)-11月4日(日) 特別展示室B 日数=11日/観覧者数=4,858人 拵付き短刀75振を展示。

▶第29回 福岡きりえ会

10月23日(火)-10月28日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=1,327人 テーマ作品「郷土福岡」、自由作品、ジュニア作品を展示。

▶第81回 チャーチル会博多絵画展

10月23日(火)-10月28日(日) 市民ギャラリーB 日数=6日/観覧者数=1.416人 油絵、日本画、パステル、デッサン等46点を展示。

▶第11回 九州由源書展

10月23日(火)-10月28日(日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=1,046人 書作品61点を展示。

▶四季の中から生まれたキルトたち アメリカンパッチワークキルト展

10月23日(火)-10月28日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=1,661人 ベッドカバー、タペストリー、ブランケット、ドールキルト等 194点を展示。

▶第13回 福岡市獣医師会 学校飼育動物スケッチコンクール

10月30日(火)-11月4日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=739人 動物画43点を展示。

▶第23回 城南区市民アート展

10月30日(火)-11月4日(日) 市民ギャラリーB・C 日数=6日/観覧者数=1,144人 中学生以上の城南区居住者、あるいは通勤・通学し ている人を対象とした公募展。絵画、グラフィックデザ イン、書、工芸等123点を展示。

▶唐津焼 見湖展

10月30日(火)-11月4日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=814人 唐津焼陶器等270点を展示。

展

▶竹岡羊子個展

11月6日(火)-11月11日(日) 特別展示室B 日数=6日/観覧者数=921人 油彩画35点を展示。

▶NHK文化センター楽しい水彩画教室展

11月6日(火)-11月11日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=679人 水彩画作品展。

▶第5回 布の花と粘土工芸展

11月6日(火)-11月11日(日) 市民ギャラリーB 日数=6日/観覧者数=761人 布花作品30点、粘土工芸作品50点を展示。

▶第11回 立花会油絵展

11月6日(火)-11月11日(日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=635人 油彩画49点を展示。

▶第11回 新作能面展

11月6日(火)-11月11日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=698人 博多能面会の作品展。能面43面等を展示。

▶第39回 九州かな書道協会展

11月13日(火)-11月18日(日) 特別展示室A 日数=6日/観覧者数=1,164人 仮名および調和体額装、軸装作品355点を展示。

▶彫刻家の家具展

11月13日(火)-11月18日(日) 特別展示室B 日数=6日/観覧者数=697人 テーブル、椅子、ベンチ、彫刻作品等23点を展示。

▶福岡水彩画同好会展

11月13日(火)-11月18日(日)市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=884人 水彩画60点を展示。

▶第28回 中央区市民文化祭美術作品展

11月13日(火)-11月18日(日) 市民ギャラリーB・C 日数=6日/観覧者数=1,292人 中央区の居住者もしくは通勤・通学している人の公 募展。洋画、日本画、写真、書、手工芸の5部門の作 品を展示。

▶第30回 福岡市退職小学校長会作品展

11月13日(火)-11月18日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=1,410人 絵画、書、工芸、写真等86点を展示。

▶第24回 読売書法展 九州展

11月20日(火)-11月25日(日) 特別展示室A·B、市民ギャラリーA·B·C·D 観覧料=一般500円、高・大生300円、小・中生無料 日数=6日/観覧者数=2,630人 漢字、かな、調和体、篆刻等の書作品約2,000点を展示。

▶第58回 毎日書道展 九州展

11月27日(火)-12月2日(日) 特別展示室A・B 観覧料=一般500円、高・大生以下無料 日数=6日/観覧者数=4,145人 漢字、かな、近代誌文書、大字書、篆刻、刻字、前衛書 の7部門の書作品1,059点を展示。

▶第16回 翠峰会展

11月27日(火)-12月2日(日)市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=531人書、水墨画等78点を展示。

▶第34回游展

11月27日(火)-12月2日(日)市民ギャラリーB 日数=6日/観覧者数=758人油彩画の作品展。

▶ステンドグラス末積アート 工房ひまわり生徒展

11月27日 (火) -12月2日 (日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=1,874人 ステンドグラス作品164点を展示。

▶第7回 ロータリー・ジュニア美術展

11月27日(火)-12月2日(日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=645人 水彩画、パステル画等150点を展示。

▶第33回 西日本書美術展 12月4日 (火) −12月9日 (日)

特別展示室A・B 日数=6日/観覧者数=2,831人 代表作家、嘱託作家、推薦作家ならびに一般公募で 入賞した作品953点を展示。

▶第27回 南区美術展

12月4日(火)-12月9日(日) 市民ギャラリーA・B・C 日数=6日/観覧者数=1,185人 南区に在住、通勤、通学の16歳以上の市民の公募作品および南区美術協会員の作品(絵画・彫刻・書・工芸・写真・グラフィックデザイン)あわせて164点を展示。

▶ダネラ福岡支部展

12月4日(火)-12月9日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=1,134人 デンマーク生まれの手創り絨毯、タベストリー等約50 点を展示。

▶西日本新聞書道之友展

12月11日(火)-12月16日(日)特別展示室A 日数=6日/観覧者数=2,718人書作品1,024点を展示。

▶Art Tours Project 首藤マヤ展

12月11日(火)-12月16日(日) 特別展示室B 日数=6日/観覧者数=644人 インスタレーション作品2点を展示。

▶西日本写真協会福岡支部「フォトニ水会」 第11回作品展

12月11日 (火) -12月16日 (日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=793人 写真作品40点を展示。

▶第3回 福岡市立 障がい者フレンドホーム合同美術祭

12月11日(火)-12月16日(日) 市民ギャラリーB・C 日数=6日/観覧者数=818人 書道、絵画、陶芸等149点を展示。

▶第7回 こぶし会日本画展

12月11日(火)-12月16日(日)市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=981人日本画54点を展示。

▶行動美術展

12月18日(火)-12月24日(月·祝) 特別展示室A·B 観覧料=一般800円、高・大生600円、小・中生無料日数=6日/観覧者数=2,541人 全国公募巡回展。絵画196点、彫刻5点を展示。

▶第10回 福岡風雲会書作展

12月18日 (火) -12月24日 (月・祝) 市民ギャラリーA 日数=7日/観覧者数=816人 額装、軸装、パネル、短冊の書作品42点を展示。

▶平成19年度福岡大学書道部展

12月18日 (火) -12月24日 (月・祝) 市民ギャラリーB 日数=7日/観覧者数=549人 行書、叢書、隷書、楷書等の作品38点を展示。

▶みづたまの会

12月18日 (火) -12月24日 (月・祝) 市民ギャラリーC 日数=7日/観覧者数=880人 水彩画63点を展示。

▶水墨·墨彩画 越智円玉穂展

12月18日 (火) -12月24日 (月・祝) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=1,138人 水墨画・墨彩画47点を展示。

平成20年

▶第56回 福岡県小学校児童画展

1月5日(土)-1月6日(日) 市民ギャラリーA·B·C·D 日数=2日/観覧者数=9,961人 特選入賞者の絵画作品834点を展示。

▶第8回「上野彦馬賞」 九州産業大学フォトコンテスト受賞作品展

1月8日(金)-1月14日(月・祝) 特別展示室B 日数=7日/観覧者数=1,422人 入賞した101点の作品と古写真56点を展示。

▶雲南紀行写真展展

1月8日(金)-1月14日(月・祝) 市民ギャラリーA 日数=7日/観覧者数=979人 写真作品38点を展示。

▶第51回 福岡県医師会文化祭 美術展

1月8日(金)-1月14日(月・祝) 市民ギャラリーB 日数=7日/観覧者数=1,027人 絵画、写真、水墨画、陶芸37点を展示。

▶水墨画 喜寿三人展

1月8日(金)-1月14日(月・祝)市民ギャラリーC 日数=7日/観覧者数=1,199人水墨画、墨彩画60点を展示。

▶第31回 青濤展

1月8日(金)-1月14日(月・祝) 市民ギャラリーD 日数=7日/観覧者数=932人 かな作品を中心とした書作品35点を展示。

▶山本喜代子染めの世界 ニューヨーク帰国展

特別展示室B 日数=5日/観覧者数=1,101人 着物、タベストリー、額装作品あわせて65点を展示。

▶「賛華会」第4回写真展

1月16日(水)-1月20日(日)

1月16日(水)-1月20日(日) 市民ギャラリーA 日数=5日/観覧者数=772人 写真作品38点を展示。

▶木彫とかな 高丘常喜 裕美 父娘展

1月16日(水)-1月20日(日) 市民ギャラリーB 日数=5日/観覧者数=598人 木彫、書等104点を展示。

▶包一会(福岡展)ー春を謳う一かな書展

1月16日(水)-1月20日(日) 市民ギャラリーC 日数=5日/観覧者数=731人 かなを扇面に書く作品120点を展示。

▶榊カメラ散歩の会作品展

1月16日(水)-1月20日(日) 市民ギャラリーD 日数=5日/観覧者数=830人 会員20名が風景写真を中心に36点を展示。

▶武田総章展一身体論·主体論一

1月22日(火)-1月27日(日) 特別展示室B 日数-6日/観覧者数-429人 平面作品20点を展示。

▶ファインアート展

1月22日(火)-1月27日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=1,380人 福岡市内の特別支援学級生徒の1年間の作品展。 絵画、工芸等1,080点を展示。

▶第56回 福岡市中学校書作品展

1月22日(火)-1月27日(日) 市民ギャラリ-B・C 日数=6日/観覧者数=1,768人 学校で書いた書作品780点を展示。

▶九輝展

1月22日(火)-1月27日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=1,587人 油絵、日本画、染色、押花絵、写真、能面等47点を展示。

▶第21回 蘭亭書道展

1月29日(火)-2月3日(日) 特別展示室B 日数=6日/観覧者数=3,438人 漢字、かななど調和体を色紙や短冊に表現。1,038点 を展示。

▶第51回 西日本読書感想画コンクール優秀作品展

1月29日(火)-2月3日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=1,255人

読書感想画の最優秀、優秀、優良作品77点を展示。

▶「日中友好錦社書法展」併設 「幕末から明治・大正へ文人書画展」

1月29日(火)-2月3日(日) 市民ギャラリーB・C 日数=6日/観覧者数=1,254人 書、水墨画日中あわせて146点を展示。

▶日本書学館福岡地区作品展

1月29日(火)-2月3日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=941人 漢字、かなの書作品45点を展示。

▶九州産業大学芸術学部卒業制作展

2月5日(火)-2月11日(月・祝) 特別展示室B・市民ギャラリーA・B・C・D 日数=12日/観覧者数=5,027人 日本画、洋画、デザイン、写真、工芸、彫刻の作品340 点を展示。

▶九州産業大学大学院芸術研究科修了制作展

2月13日(水)-2月17日(日) 特別展示室B 日数=5日/観覧者数=1,469人 絵画、写真等47点を展示。

▶第57回 福岡市中学校美術展

2月13日(水)-2月17日(日) 市民ギャラリーA・B・C・D 日数=5日/観覧者数=3,652人 絵画、デザイン、彫刻、工芸、陶芸、立体作品を展示。

▶滄桑の会展

2月19日(火)-2月24日(日) 特別展示室B 日数=6日/観覧者数=613人 洋画、日本画等29点を展示。

▶福岡市書道協会展

2月19日(火)-2月24日(日) 市民ギャラリーA・B・C・D 日数=6日/観覧者数=1,319人 漢字、かな調和体の作品214点を展示。

▶第92回 二科福岡展

2月26日 (火) -3月2日 (日) 特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D 観覧料=一般800円、高・大生600円、小・中生無料 日数=6日/観覧者数=7,056人 絵画、彫刻、デザイン、写真あわせて601点を展示。

▶第61回 二紀展

3月18日(火)-3月23日(日) 特別展示室A・B 観覧料=一般800円、高・大生600円、小・中生無料 日数=6日/観覧者数=2,933人 二紀東京展より全国に巡回。その福岡展で絵画、彫 刻あわせて2,141点を展示。

▶第6回 つくし押花倶楽部押花展

3月18日(火)-3月23日(日) 市民ギャラリーA 日数=6日/観覧者数=1,070人 押花を額装した作品71点を展示。

▶水彩画加呂教室作品展

3月18日(火)-3月23日(日) 市民ギャラリーB 日数=6日/観覧者数=836人 ももちパレス水彩画教室の作品73点を展示。

▶山岳画2人展 中山利彦 松本康司

3月18日(火)-3月23日(日) 市民ギャラリーC 日数=6日/観覧者数=1,013人 油彩画54点を展示。

▶福岡市釜山市姉妹都市締結一周年記念 木苑許翠作品展

3月18日(火)-3月23日(日) 市民ギャラリーD 日数=6日/観覧者数=1,148人 釜山百景画、水彩画、水墨画、写真を展示。

▶第30回日展

3月29日(土) -4月20日(日) 特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D 観覧料=一般1,100円、高・大生700円、小・中生400円 日数=20日/観覧者数=24,319人 全国巡回の基本作品と九州・山口・沖縄の地元出品 作品を合わせて、日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書 の5部門517点を展示。

講堂

講座·講演会名	期日	講師	主催者	参加人数(人)
	平成19年			
福岡市中学校美術教育研究会総会·研修会	4月11日(水)		福岡市教育委員会	57
シアトル貿易開発協議会講演	5月15日(火)		福岡市経済振興局国際経済課	_
第38回日展 解説	6月16日(土)		西日本新聞社、テレビ西日本、日展、福岡県、福岡市	
第8回写真公募展公開審査	7月16日(月)		二科会写真部福岡支部	200
野中吟雪書展 記念講演「富岡鐵齋の書」	7月20日(金)		野中吟雪書展実行委員会、ふくおか東筑会	
第29回朝日学生書道展 表彰式	7月24日(火)		朝日新聞社、西部朝日書道会	300
平成19年度小学校教育課程実施状況連絡協議会	7月25日(水)		福岡市教育委員会	292
「ロンリープラネット」上映会リハーサル	8月31日(金)		映画に関する12ヶ月のワークショップ	3
「ロンリープラネット」上映会	9月1日(土)			_
第12回福岡市美術連盟展 記念講演会	9月23日(日)	村田真(美術ジャーナリスト)	福岡市美術連盟	120
「福岡市美術展」写真部門講習会	9月24日(月)	福岡市美術連盟写真部会員	福岡市美術展運営委員会	115
第51回福岡県中学校美術教育研究大会 準備	10月9日(火)		福岡市中学校美術教育研究会	12
第51回福岡県中学校美術教育研究大会	10月10日(水)			191
第2回NHK福岡俳句ウォーク大会	10月13日(土)		N-K福岡放送局、N-K福岡文化センター、福岡県俳句協会	
	10月14日(日)			-
第37回福岡市高齢者美術展 表彰式	10月19日(金)		福岡市老人クラブ	
第2回お守り短刀展 授賞式	10月23日(日)		全日本刀匠会、長船刀剣博物館、瀬戸内市	_
会議	11月1日(木)		NHK福岡放送局	150
第13回学校飼育動物スケッチコンクール 表彰式	11月4日(日)		福岡市獣医師会	_
第23回城南区市民アート展 表彰式	11月4日(日)		福岡市城南区役所、ふれあい城南運営委員会	
福岡シネマフェスティバル2007	11月24日(土)		九州産業大学映画研究部	41
	11月25日(日)			40
会議	12月1日(土)		NHK福岡放送局	150
FCC審査会	12月7日(金)		福岡コピーライターズクラブ	- -
	12月8日 (土)			_
第27回南区美術展 表彰式	12月9日(日)		南区市民の祭り運営委員会、南区美術協会、南区役所	
西日本新聞書道之友展2007 表彰式	12月16日(日)		西日本新聞社、西日本新聞書道会	100
	平成20年			
福岡県児童画展 特選児童表彰式	1月5日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究委員会	730
太平洋美術会研修会	2月23日(土)		太平洋美術会	85
	2月24日(日)			85
講演会「福岡城に天守閣を!」	3月1日(土)	佐藤正彦、丸山雍成	NPO法人鴻臚館・福岡城跡歴史・観光・市民の会	_
			読売新聞西部本社	
第39回日展 日本画講演会	3月29日(土)		西日本新聞社、テレビ西日本、日展、福岡県、福岡市	- N -
映画に関する12ヶ月のワークショップ	3月29日(土)		花野孝史	30

(講師敬称略)

教養講座室

講座·講演会名	期日	主催者	参加人数(人)
ANALISSE CONTROL OF THE CONTROL OF T	平成19年		
FCCラボネットワーク写真勉強会	4月1日(日)	フジクロームクラブラボネットワーク	
映画に関する12ヶ月のワークショップ	4月3日(火)	花野孝史	3
	4月7日(火)		13
俳句吟行会	4月8日(日)	福岡中央俳句会	20
映画に関する12ヶ月のワークショップ	4月14日(土)	映画に関する12ヶ月のワークショップ	12
創元会例会	4月15日(日)	創元会福岡北支部	43
写真講座	4月21日(土)	中村吉之介写真塾九州	_
映画に関する12ヶ月のワークショップ	4月28日(土)	花野孝史	9

講座·講演会名	期日	主催者	参加人数(人)
FCCラボネットワーク写真講評会	4月29日(日)	フジクロームクラブラボネットワーク	13
福岡市中学校美術部顧問者会	5月2日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	27
平成19年度福岡市美術連盟通常総会	5月6日(日)	福岡市美術連盟	71
2007日韓現代美術展 会議	5月13日(日)	福岡日韓現代絵画交流協会	40
福岡開成館美術校外学習	5月23日(水)	つくば開成高等学校福岡開成館	20
映画に関する12ヶ月のワークショップ	5月26日(土)	花野孝史	11
武蔵野美術大学校友会福岡支部総会	5月27日(日)	武蔵野美術大学校友会福岡支部	10
美術修復について	5月29日(火)	一華会	5
福岡開成館美術校外学習	5月31日(木)	つくば開成高等学校福岡開成館	40
FCCjp福岡 作品講評会	6月1日(金)	フジクロームクラブjp福岡	20
2007日韓現代美術展 会議	6月3日(日)	福岡日韓現代絵画交流協会	30
美術修復について	6月5日(火)	一華会	5
三軌会写真部九州支部総会	6月9日(土)	三軌会写真部九州支部	25
造形教育九州学会 総会·研究発表	6月10日(日)	造形教育九州学会	20
平成19年度福岡市中学校美術教育研究会 会議	6月13日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	16
パーチメントクラフト講習会	6月14日(木)	パーチメントクラフト	24
福岡市小学校図画工作研究会 6月総会·講演会	6月16日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	59
第38回日展 工芸美術ワークショップ	6月24日(日)	西日本新聞社、テレビ西日本、日展、福岡県、福岡市	
福岡市中学校美術教育研究会 会議	6月27日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	20
第38回日展 書ワークショップ	6月30日(土)	西日本新聞社、テレビ西日本、日展、福岡県、福岡市	
福岡俳人協会 吟行句会	6月30日(土)	福岡俳人協会	16
FCCラボネットワーク 写真講評会	7月1日(日)	フジクロームクラブラボネットワーク	
美術修復について	7月3日(火)	一華会	10
FCCip福岡 作品講評会	7月6日(金)	フジクロームクラブjp福岡	15
太平洋美術会西日本支部 役員会	7月7日(土)	太平洋美術会西日本支部	20
ひまわりプロジェクト説明会	7月8日(日)	大濠·西公園管理事務所	30
アートセラピーワークショップ	7月28日(土)	光の虹	6
太平洋美術会西日本支部 役員会	7月29日(日)	太平洋美術会西日本支部	
映画に関する12ヶ月のワークショップ	8月4日(土)	花野孝史	14
第21回工芸美術知新会展 表彰式	8月5日(日)	知新会、読売新聞西部本社、FBS福岡放送	
FCCjp福岡 作品講評会	8月10日(金)	フジクロームクラブjp福岡	30
九州玄筆会 研修会	8月12日(日)	九州玄筆会	
映画に関する12ヶ月のワークショップ	8月18日(土)	花野孝史	15
創元会総会·作品研究会	8月19日(日)	創元会福岡北支部	53
映画に関する12ヶ月のワークショップ	8月25日(土)	花野孝史	16
美術修復について	9月4日(火)	一華会	5
映画に関する12ヶ月のワークショップ	9月8日(土)	花野孝史	13
太平洋展第42回西日本公募展 表彰式	9月11日(火)	太平洋美術会西日本支部	
FCCラボネットワーク 写真講評会	9月12日(水)	フジクロームクラブラボネットワーク	
福岡市中学校美術研究会部活動委員会	9月12日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	23
FCCip福岡 作品講評会	9月14日(金)	フジクロームクラブjp福岡	18
映画に関する12ヶ月のワークショップ	9月15日(土)	花野孝史	11
	9月22日(土)		10
福岡市中学校美術教育研究大会 準備委員会	9月26日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	18
FCCjp福岡 作品講評会	10月5日(金)	フジクロームクラブjp福岡	26
第51回福岡県中学校美術教育研究大会 準備	10月9日 (火)	福岡市中学校美術教育研究会	12
第51回福岡県中学校美術教育研究大会	10月10日(水)		191
映画に関する12ヶ月のワークショップ	10月13日(土)	花野孝史	11
博多・南フレンドホーム合同絵画教室	10月17日(水)	福岡市立博多障がい者フレンドホーム、	-
		福岡市立南障がい者フレンドホーム	

講座·講演会名	期日	主催者	参加人数(人)
美術修復について	10月19日(金)	一華会	10
第2回お守り短刀展 出品者会議	10月24日 (水)	全日本刀匠会	
映画に関する12ヶ月のワークショップ	10月27日(土)	花野孝史	7
第23回城南区市民アート展 会議	10月29日(木)	福岡市城南区役所、ふれあい城南運営委員会	
FCCjp福岡 作品講評会	11月1日(木)	フジクロームクラブjp福岡	15
第41回各流合同茶会 準備	11月2日(金)	福岡茶道文化連盟	15
第41回各流合同茶会	11月3日(土)		600
福岡市中学校美術教育研究会 第2回常任委員会	11月7日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	10
映画に関する12ヶ月のワークショップ	11月10日(土)	花野孝史	13
美術修復について	11月16日(金)	一華会	10
福岡市小学校図画工作研究会 11月定例会	11月17日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	27
第28回中央市民文化祭美術作品展 表彰式	11月18日(日)	中央区市民の祭り運営委員会、中央区役所	_
第24回読売書法展九州展 会議	11月19日(月)	読売新聞西部本社、読書書法会	
第59回毎日書道展九州展 準備	11月26日(月)	毎日新聞西部本社	_
映画に関する12ヶ月のワークショップ	12月1日 (土)	花野孝史	12
第7回ロータリージュニア美術展 表彰式	12月2日(日)	福岡中央ロータリークラブ	_
福岡市中学校美術教育研究会 常任委員会	12月5日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	
FCC審査会	12月7日(金)	福岡コピーライターズクラブ	_
	12月8日(土)		-
第3回福岡市立障がい者フレンドホーム合同美術祭 表彰式	12月11日(火)	福岡市立障がい者フレンドホーム合同美術祭実行委員会	70
FCCjp福岡 作品講評会	12月13日(木)	フジクロームクラブjp福岡	18
太平洋美術会西日本支部絵画部総会	12月16日(日)	太平洋美術会絵画部	32
映画に関する12ヶ月のワークショップ	12月22日(土)	花野孝史	14
行動美術展 会議	12月24日(日)	西日本新聞社、行動美術協会	
美術修復について	12月27日 (木)	一華会	10
	平成20年		
FCCラボネットワーク 写真講評会	1月10日(木)	フジクロームクラブラボネットワーク	-
映画に関する12ヶ月のワークショップ	1月12日(土)	花野孝史	10
造形教育九州学会	1月13日(日)	造形教育九州学会	13
美術修復について	1月18日(金)	一華会	10
ケーアールケープロデュース勉強会	1月23日(水)	ケーアールケープロデュース(株)	26
FCCjp福岡 作品講評会	1月25日(金)	フジクロームクラブjp福岡	22
福岡市小学校図画工作研究会 1月定例会	1月26日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	36
第43回定時総会役員会	1月27日(日)	太平洋美術会西日本支部	52
九州産業大学芸術学部 卒業研究発表会	2月5日(火)	九州産業大学芸術学部	50
	2月6日(水)		50
	2月7日(木)		60
	2月8日(金)		50
美術修復について	2月15日(金)	一華会	10
福岡市小学校図画工作研究会 2月定例会	2月16日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	44
教育普及研究部会 第32会合	2月28日(木)	全国美術館会議	_
	2月29日(金)		_
映画に関する12ヶ月のワークショップ	3月1日(土)	花野孝史	9
福岡市中学校美術教育研究会 常任委員会	3月5日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	9
FCCラボネットワーク 写真講評会	3月11日(火)	フジクロームクラブラボネットワーク	
美術修復について	3月21日(金)	一華会	10

実技講座室

講座名	期日	主催者	加人数(人
	平成19年		
石膏デッサン	4月11日(水)	グループ形象	-
デッサングループ	4月15日(日)	瀬戸葉子	10
石膏デッサン	4月18日(水)	グループ形象	
絵画研究会	4月18日(水)	日洋会福岡	11
映画に関する12ヶ月のワークショップ	4月21日(土)	花野孝史	12
デッサン研究	4月22日(日)	ラ・リベルテ113	10
クロッキー会	4月24日 (火)	森 信也	25
上野の森美術館友の会 絵画実技講座	4月25日(火)	上野の森美術館	13
	4月26日(水)		13
デッサングループ	5月6日(日)	瀬戸葉子	10
石膏デッサン	5月9日(水)	グループ形象	_
ムービングクロッキー	5月13日(日)	福岡二紀会	35
石膏デッサン	5月23日(水)	グループ形象	
デッサン研究	5月27日(日)	ラ・リベルテ113	9
勉強会(デッサン)	6月3日(日)	太平洋美術会絵画部	23
石膏デッサン	6月6日(水)	グループ形象	
勉強会(デッサン)	6月10日(日)	太平洋美術会絵画部	25
美術校外学習授業	6月14日(木)	つくば開成高等学校福岡開成館	36
勉強会(デッサン)	6月17日(日)	太平洋美術会絵画部	19
第38回日展 日本画ワークショップ	6月23日(土)	西日本新聞社、テレビ西日本、日展、福岡県、福岡市	
デッサングループ	6月24日(日)	瀬戸葉子	10
クロッキー会	6月26日 (火)	森 信也	23
石膏デッサン	6月27日 (水)	グループ形象	_
第38回日展 洋画ワークショップ	7月1日(日)	西日本新聞社、テレビ西日本、日展、福岡県、福岡市	
石膏デッサン	7月4日(水)	グループ形象	_
第38回日展 彫刻ワークショップ	7月7日(土)	西日本新聞社、テレビ西日本、日展、福岡県、福岡市	
デッサングループ	7月8日(日)	瀬戸葉子	8
デッサン発表会準備	7月15日(日)	ラ・リベルテ113	12
創元会作品研究会	7月22日(日)	創元会	41
石膏デッサン	7月25日(水)	グループ形象	-
美術修復について	7月31日 (火)	一華会	5
クロッキー会	8月21日 (火)	森信也	30
	8月22日(水)		22
	8月23日(木)		18
	8月24日(金)		23
福岡市中学校美術教育研究会 県大会準備委員会	8月31日 (金)	福岡市中学校美術教育研究会	7
石膏デッサン	9月5日(水)	グループ形象	157
デッサン研究	9月9日(日)	ラ・リベルテ113	10
福岡市小学校図画工作研究会 9月定例会	9月15日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	54
日洋会福岡 作品研究会	9月19日(水)	日洋会福岡	8
デッサングループ	9月23日(日)	瀬戸葉子	10
石膏デッサン	9月26日 (水)	グループ形象	_
第32回視点福岡展 講評	9月30日(日)	日本リアリズム写真集団 福岡支部	
石膏デッサン	10月3日(水)	グループ形象	
デッサングループ	10月7日(日)	瀬戸葉子	10
第51回福岡県中学校美術教育研究大会 準備	10月9日(火)	福岡市中学校美術教育研究会	12
第51回福岡県中学校美術教育研究大会	10月10日(水)		191
第2回NHK福岡俳句ウォーク大会	10月13日(土)	NHK福岡放送局、NHK福岡文化センター、福岡県俳句協会	
	10月14日(日)		

講座名	期日	主催者	参加人数(人)
デッサン研究	10月21日(日)	ラ・リベルテ113	7
石膏デッサン	10月24日 (水)	グループ形象	
俳句吟行会	10月26日(金)	福岡毎日文化センター	8
創元会作品研究会	10月27日(土)	創元会	38
第23回城南区市民アート展 作品搬入・保管	10月28日(日)	福岡市城南区役所、ふれあい城南運営委員会	_
	10月29日(月)		_
クロッキー会	10月31日(水)	森 信也	28
第23回城南区市民アート展 審査員控室	11月4日(火)	福岡市城南区役所、ふれあい城南運営委員会	_
石膏デッサン	11月7日(水)	グループ形象	7 - 3-
ムービングクロッキー	11月11日(日)	福岡二紀会	30
デッサン研究	11月18日(日)	ラ・リベルテ113	7
創元会福岡支部作品研究会	11月24日(土)	創元会福岡支部	43
コスチュームデッサン会	11月25日(日)	瀬戸葉子	7
石膏デッサン	11月28日 (水)	グループ形象	_
石膏デッサン	12月5日(水)	グループ形象	
FCC審査会	12月7日(金)	福岡コピーライターズクラブ	_
	12月8日(土)		_
デッサン研究	12月9日(日)	ラ・リベルテ113	6
日本の自然を描く展友の会講座	12月11日 (火)	(財) 日本美術協会、上野の森美術館	_
	12月12日(水)		_
デッサングループ	12月15日(土)	瀬戸葉子	10
第3回福岡市立障がい者フレンドホーム合同美術祭	12月16日(日)	第3回福岡市障がい者フレンドホーム合同美術祭実	23
ワークショップ「水絵を体験しょう」		行委員会	
創元会福岡支部作品研究会	12月23日(日)	創元会福岡支部	32
	平成20年		
デッサン研究	1月20日(日)	ラ・リベルテ113	8
モモチ油絵同好会	1月22日(火)	モモチ油絵同好会	8
石膏デッサン	1月23日(水)	グループ形象	<u> </u>
クロッキー会	1月24日(木)	森 信也	20
モモチ油絵同好会	1月29日(火)	モモチ油絵同好会	7
石膏デッサン	2月6日(水)	グループ形象	— — — — — — — — — — — — — — — — — — —
デッサングループ	2月10日(火)	瀬戸葉子	10
モモチ油絵同好会	2月13日(火)	モモチ油絵同好会	7
デッサン会	2月17日(日)	ラ・リベルテ113	7
モモチ油絵同好会	2月26日(火)	モモチ油絵同好会	7
石膏デッサン	2月27日(水)	グループ形象	
創元会作品研究会	3月2日(日)	創元会福岡支部	35
石膏デッサン	3月5日(水)	グループ形象	
石膏デッサン	3月7日(金)	木村良子はがき絵教室	10
福岡二紀会 学習会	3月9日(日)	福岡二紀会	10
福岡市中学校美術教育研究会 役員会	3月11日(火)	福岡市中学校美術教育研究会	6
モモチ油絵同好会	3月12日(水)	モモチ油絵同好会	7
コスチュームデッサン会	3月16日(日)	瀬戸葉子	6
デッサン研究	3月23日(日)	ラ・リベルテ113	6
クロッキー会	3月25日(火)	森信也	25
石膏デッサン	3月26日(水)	グループ形象	
モモチ油絵同好会	3月26日(水)	モモチ油絵同好会	4
日洋会絵画研究会	3月29日(土)	日洋会福岡	35
第38回日展 日本画ワークショップ	3月30日(日)	西日本新聞社、テレビ西日本、日展、福岡県、福岡市	

版画印刷工房

講座名	期日	主催者	参加人数(人)
	平成19年		
版画制作	4月10日(火)	巌佐鈴菜	
版画制作	4月12日(木)	古賀そのみ	2
北九州版画教室	4月21日(土)	北九州版画教室	2
	4月25日(水)		1
版画制作	4月30日(月)	古賀そのみ	2
	5月5日(土)		2
版画制作	5月20日(日)	久佐高子	3
北九州版画教室	5月20日(日)	北九州版画教室	1
版画制作	5月24日(木)	古賀そのみ	2
	6月1日(金)		2
版画制作	6月3日(火)	久佐高子	3
版画制作	6月10日(日)	古賀そのみ	2
北九州版画教室	6月12日(火)	北九州版画教室	1
	7月3日(火)		1
版画制作	7月16日(月)	伊藤聖子	3
版画制作	7月19日(木)	久佐高子	3
北九州版画教室	7月24日 (火)	北九州版画教室	1
版画制作	8月4日(土)	久佐高子	3
版画制作	8月7日(火)	古賀そのみ	2
	8月21日(火)		2
銅版画実習	8月25日(土)	フィオーレ	10
版画制作	8月28日 (火)	古賀そのみ	2
北九州版画教室	8月29日(水)	北九州版画教室	1
版画制作	8月30日(木)	古賀そのみ	2
銅版画実習	9月1日(土)	フィオーレ	9
版画研究	9月8日 (土)	伊藤聖子	3.
版画制作	9月9日(日)	古賀そのみ	2
北九州版画教室	9月11日 (火)	北九州版画教室	1
版画制作	9月30日(日)	古賀そのみ	2
第51回福岡県中学校美術教育研究大会 準備	10月9日(火)	福岡市中学校美術教育研究会	12
第51回福岡県中学校美術教育研究大会	10月10日(水)		191
版画制作	10月11日(木)	久佐高子	3
版画制作	10月12日(金)	古賀そのみ	2
	10月21日(日)		2
リトグラフ印刷	10月25日(木)	森 信也	1
	10月26日(金)		1
小会	11月4日(日)	森 信也	3
版画制作	11月8日(木)	久佐高子	3
版画制作	11月11日(日)	古賀そのみ	2
北九州版画教室	11月16日(金)	北九州版画教室	1
版画制作	11月22日(木)	古賀そのみ	2
リト会	11月29日(木)	森 信也	1
版画制作	12月2日(日)	古賀そのみ	2
版画研究会	12月6日(木)	伊藤聖子	3
エッチング印刷	12月20日(木)	池邉 教	2
	12月21日(金)		2
	12月22日(土)		2
北九州版画教室	12月24日(月)	北九州版画教室	1

講座名	期日	主催者	参加人数(人)
版画制作	12月27日(木)	古賀そのみ	2
	平成20年		
北九州版画教室	1月22日(火)	北九州版画教室	1
版画制作	1月24日(木)	久佐高子	2
版画制作	2月14日(木)	久佐高子	3
北九州版画教室	2月19日(火)	北九州版画教室	1
銅版画印刷	3月5日(水)	中島白翔	1
北九州版画教室	3月6日(木)	北九州版画教室	1
版画制作	3月27日(木)	久佐高子	3

展覧会観覧者数

■特別企画展等観覧者数

展覧会名	一般			団体			招待	合計
	個人	高·大生	小・中生	一 般	高·大生	小・中生		
美のこころ 東洋の至宝 出光コレクション	14,455	768	624	13,240	1,094	293	12,703	43,177
大竹伸朗展ー路上のニュー宇宙	3,873	977		170	77	-	2,234	7,331
大応国師と崇福寺	5,883	120	₩.	1,266	2	ž.	2,416	9,687
美の求道者 安宅英一の眼 安宅コレクション	9,409	354	108	2,303	85	-	4,784	17,043
第42回福岡市美術展	3,949	152	<u> </u>	-	=	=	2,954	7,055

■常設展年間観覧者数

個人			団体		老人等	合計	
一般	高·大生	小・中生	一般	高·大生	小・中生		
17,709	2,078	15,358	5,670	1,503	_	28,009	70,327

注) 老人等とは、福岡市美術館条例に基づき観覧料の免除を受けた、市内居住の65歳以上の者および障がい者。

■年度別観覧者数

年度	常設展		特別企画展		貸館展		総数	
	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)
54	94	70,234	1	86,194	18	128,642	19	285,070
55	306	127,584	3	45,666	91	467,240	94	640,490
56	307	99,287	5	35,372	139	686,602	144	821,261
57	306	93,883	3	24,453	161	563,586	164	681,922
58	307	96,723	3	137,402	183	592,022	186	826,147
59	306	105,537	3	68,172	176	721,050	179	894,759
60	305	102,115	2	116,531	171	781,973	173	1,000,619
61	306	97,962	4	147,682	184	608,150	188	853,794
62	308	96,088	3	73,478	215	609,570	218	779,136
63	306	95,550	3	77,223	207	611,398	210	784,171
1	306	94,044	2	121,795	174	437,776	176	653,615
2	306	91,584	3	64,216	216	526,516	219	682,316
3	306	88,929	4	134,771	216	491,771	220	715,471
4	307	102,301	5	103,004	235	565,751	240	771,056
5	306	81,142	3	87,242	225	565,280	228	733,664
6	248	61,022	1	23,192	147	538,275	148	622,489
7	307	68,221	3	136,406	209	500,231	212	704,858
8	305	79,077	3	65,171	206	422,735	209	566,983
9	304	63,976	4	290,151	207	464,723	211	818,850
10	306	67,859	4	62,981	189	439,040	193	569,880
11	307	58,030	4	284,403	212	451,619	216	794,052
12	305	41,584	4	106,730	204	341,378	208	489,692
13	307	49,243	4	58,028	195	290,399	199	397,670
14	304	52,912	4	75,472	203	308,245	207	436,629
15	307	57,449	4	330,467	214	351,668	218	739,584
16	306	47,998	3	437,739	207	373,377	210	859,114
17	306	80,109	4	197,258	208	296,472	212	573,839
18	306	95,579	4	245,463	193	328,743	197	669,795
19	306	70,327	4	77,238	188	283,587	192	431,152
累計	8,597	2,336,349	97	3,713,900	5,393	13,747,819	5,298	19,811,133

読書室利用者数

月	月総数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)	年累計(人)	総累計(人)
4	444	26	17	444	366,140
5	580	26	22	1024	366,720
6	532	26	20	1556	367,252
7	674	36	25	2230	367,926
8	887	27	32	3117	368,813
9	613	26	23	3730	369,426
10	623	26	23	4353	370,049
11	501	26	19	4854	370,550
12	382	23	16	5236	370,932
1	557	23	24	5793	371,489
2	607	25	24	6400	372,096
3	606	26	23	7006	372,702
年総数	7,006	306	22		

小数点以下切捨

■美術館協議会委員

(50音順・敬称略・肩書きは平成19年度のもの)

会長 錦織亮介 北九州市立大学教授 副会長 濱砂圭子 育児情報誌編集長 学校教育関係者 古川勝敏 愛宕小学校長 荒木敏男 松崎中学校長

岡本幸夫 博多工業高等学校長

社会教育関係者 小林俊子 福岡市青少年団体連絡会議理事

> 大田夏美 福岡市PTA協議会副会長 佐々木静子 福岡市社会教育委員

福岡市老人クラブ連合会理事 藤本昌代

財団法人福岡文化財団専務理事 学識経験者 石川正知

九州大学教授 後小路雅弘 京谷啓徳 九州大学准教授 後藤新治 西南学院大学教授

社団法人福岡県美術協会理事長 古野靖弘 松尾孝司 株式会社西日本新聞社文化部 山田 彰 福岡市美術展運営委員

龍 秀美 秀巧社印刷(株)外国語チームチーフディレクター

■収集審査委員

(50音順・敬称略・肩書きは平成19年度のもの)

近現代美術 乾 由明 兵庫陶芸美術館館長

> 中村英樹 名古屋造形大学教授 古川智次 福岡大学教授

大橋康二 佐賀県立九州陶磁文化館館長 古美術

> 河上繁樹 関西学院大学教授 九州産業大学教授 菊竹淳一 西岡康宏 東京国立博物館副館長 京都府立大学教授 吉田宏志

■職員

館長

副館長(事業管理部長事務代理) 事業管理部長

管理課長

管理係長

管理係

展覧会等運営調整選任主査

生田征生

入江準男

谷村健治(平成19年12月31日まで)

徳永寛樹 (平成20年1月1日より)

大沢正敏 江原加代子

藤岡雅明 西 邦彦

稲永幸一

学芸課長 尾崎直人 学芸係長 渡邊雄二

主任学芸主事

学芸員

三谷理華 山本香瑞子 鬼本佳代子

後藤 恒

岩永悦子 山口洋三

正路佐知子(平成19年10月1日より)

嘱託員 川原大二郎

ギャレット三宅万里子

中原千代子 中務美紀

平成19年度 福岡市美術館活動の記録

編集·発行 福岡市美術館

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

TEL: 092-714-6051

デザイン **SOL** DESIGN INC.

印 刷 株式会社宣技堂

発行年月日 2009年3月16日

© 福岡市美術館 2009年







福岡市美術館

FUKUOKA ART MUSEUM